



[ホーム](#) > [お知らせ](#) > [プレスリリース](#) > [プレスリリース \(2019年\)](#)

プレスリリース (2019年)

プレスリリースに掲載されている製品の価格、仕様、サービス内容などは発表日現在のものです。その後予告なしに変更されることがありますので、あらかじめご了承ください。

2019年

2019年12月26日

イベント・セミナー

SCIGRESS V2 無料体験ワークショップを開催

2019年12月4日

イベント・セミナー

第33回分子シミュレーション討論会に計算化学統合プラットフォーム「SCIGRESS」を出展

2019年12月4日

イベント・セミナー

解析ソリューション体験セミナー

2019年11月27日

イベント・セミナー

日本薬物動態学会に薬物相互作用シミュレーションソフトを出展

2019年11月20日

サービス

ヒートポンプ式給湯機を活用した電気料金節約サービス（SaaS）の提供を開始

2019年11月20日

イベント・セミナー

日本臨床薬理学会に薬物相互作用シミュレーションソフトを出展

2019年11月18日

イベント・セミナー

福岡で3次元設計事例セミナーを実施

2019年11月14日

サービス

「ツナガル+」がLINEと連携し、さらに使いやすく！

2019年11月8日

ソリューション

スマート工場ソリューション「DREMAQ」を発売開始

2019年10月23日

イベント・セミナー

日本医療薬学会へ薬物相互作用シミュレーションソフトを出展

2019年10月17日

導入事例

「iCAD SX」をベースに自動設計システムを構築 効率化により設計スピードが格段に向上

2019年10月15日

ソリューション

創薬支援インフォマティクスシステム構築事業成果の商用化について

2019年10月10日

イベント・セミナー

CBI学会へ薬理活性・薬物動態・毒性スクリーニング統合Webシステムを出展

2019年10月1日

ソリューション

メディア業界向け財務・管理会計、人事・給与システム「@MEDIA II」リリース

2019年10月1日

イベント・セミナー

緑十字展2019にスマート安全帯ソリューションを共同出展

2019年9月30日

導入事例

「ICAD/SML」が歩留まりを高め、使いやすさ、豊富な機能、スピードで生産性を向上

2019年9月4日

イベント・セミナー

第80回応用物理学会秋季学術講演会へ分子シミュレーションソフトを出展

2019年9月4日

イベント・セミナー

ケミカルマテリアルJapan 2019へクラウド型SDS作成支援サービス「ezSDS」を出展

2019年9月2日

サービス

スポーツスクール事業者様向けクラウドサービス「スマホdeコーチ」新サービスメニューを提供開始

2019年8月28日

導入事例

クラウド型スマホアプリの導入でスクール運営の課題を解決

2019年8月27日

イベント・セミナー

WeWork Ginza Sixでミートアップイベント開催！共創活動を積極推進

2019年8月6日

サービス

富士通九州システムズのセキュリティサービスが「情報セキュリティサービス基準適合サービスリスト」に登録

2019年8月1日

ソリューション

BIツール「Naviイントラエース」に機能追加し、販売開始

2019年7月26日

サービス

決済中継サービスで加盟店におけるカード情報非保持化に対応した新サービスを提供開始

2019年7月10日

ソリューション

アナログメーター認識システムに機能追加し販売開始

2019年6月28日

サービス

消費税率の引上げに向けたホテルシステム製品・サービスのエンハンス機能リリース

2019年6月27日

経営・人事

(株)富士通九州システムズ 役員人事について

2019年6月19日

イベント・セミナー

解析ソリューション体験セミナーを開催

2019年6月13日

イベント・セミナー

日本毒性学会へ毒性・薬物動態予測ソフトを出展

2019年6月10日

イベント・セミナー

DDI Simulator V2.6 新バージョン体験セミナー開催のご案内

2019年6月5日

導入事例

業務効率化や安全運転支援に寄与する新型運行管理システムを導入

2019年5月15日

イベント・セミナー

日本TDM学会へ薬物相互作用予測ソフトを出展

2019年5月10日

イベント・セミナー

JECA FAIR 2019 ～第67回電設工業展～に「スマート安全帯ソリューション」を出展

2019年4月1日

経営・人事

(株)富士通九州システムズ 役員人事について

2019年3月29日

導入事例

最新のサイバー犯罪に対応する人材を育成

2019年3月28日

導入事例

放送業界の特殊な会計処理と多様な業務フローにフィットする新システム・ATLASを構築

2019年3月26日

サービス

JEMS国内工場での導入実践に基づく、プリント基板実装ラインのM 2 Mシステム導入サービスを開始

2019年3月26日

導入事例

「Autodesk CFD」で空気や熱など、目に見えない対象の動きを解析

2019年3月25日

ソリューション

データ利活用サービス構築基盤「ShunPlatform」を販売開始

2019年3月25日

サービス

システム更改におけるデータ移行支援サービスを提供開始

2019年3月22日

導入事例

ウインチで国内トップ企業の製品開発と海外展開を「iCAD SX」が支える

2019年3月18日

ソリューション

創薬支援インフォマティクスシステム構築事業成果の商用化について

2019年3月15日

サービス

富士通決済サービス、キャッシュレス決済を強化し「WeChatPay」「LINE Pay」に対応

2019年3月13日

導入事例

富士通の新拠点にIoTの実践ソリューション「Internet of toilet」を導入

2019年3月11日

イベント・セミナー

日本薬学会へ薬物相互作用予測ソフトを出展

2019年1月21日

サービス

デバイス／クラウドセキュリティMcAfee「MVISION」を販売開始

2019年1月18日

ソリューション

Android端末で動作する「Analog Meter Recognizer Edge」を発売

2019年1月11日

イベント・セミナー

ENEX2019第43回地球環境とエネルギーの調和展に、ヒートポンプ式給湯機制御システムを出展

プレスリリース（年別）

- プレスリリース（2021年）
- プレスリリース（2020年）
- プレスリリース（2019年）

- [プレスリリース（2018年）](#)
- [プレスリリース（2017年）](#)
- [プレスリリース（2016年）](#)
- [プレスリリース（2015年）](#)
- [プレスリリース（2014年）](#)
- [プレスリリース（2013年）](#)
- [プレスリリース（2012年）](#)
- [プレスリリース（2011年）](#)
- [プレスリリース（2010年）](#)
- [プレスリリース（2009年）](#)

プレスリリース（カテゴリ別）

- [プレスリリース（経営・人事）](#)
- [プレスリリース（ソリューション・サービス）](#)
- [プレスリリース（導入事例）](#)
- [プレスリリース（イベント・セミナー）](#)

[コンテンツ利用条件](#)

[個人情報保護ポリシーについて](#)

[商標について](#)

[お問い合わせ](#)

[富士通ホームへ](#)



[ホーム](#) > [お知らせ](#) > [プレスリリース](#) > [プレスリリース（2019年）](#) > **SCIGRESS V2 無料体験ワークショップを開催**

PRESS RELEASE

2019年12月26日
株式会社富士通九州システムズ

SCIGRESS V2 無料体験ワークショップを開催

当社は、2020年1月15日（水曜日）と1月28日（火曜日）に、分子シミュレーションソフトの無料体験ワークショップを開催いたします。

本ワークショップでは、計算化学統合プラットフォーム「SCIGRESS V2」の基本的な使用方法を実習形式でご説明します。入力データの作成から計算の実行、結果の解析までを実習することで、製品の使用方法を効率よく習得いただけます。


分子シミュレーションに興味がある方や導入を検討されている方は、是非この機会をご利用ください。多くの方のご参加をお待ちしております。

日時・場所

福岡会場

- 日時：2020年1月15日（水曜日）13時00分～17時00分
- 場所：富士通株式会社 九州支社 2階 カンファレンスルーム1
会場地図：[富士通株式会社 九州支社ご案内・地図（富士通サイト）](#)

大阪会場

- 日時：2020年1月28日（火曜日）13時30分～17時00分
- 場所：グランフロント大阪北館タワーC8階 ナレッジキャピタルカンファレンスルームタワーC RoomC07
会場地図：[カンファレンスルーム](#) | [アクセスマップ](#) | [ナレッジキャピタル](#)（グランフロント大阪内）

定員

- 各10名（参加費無料）

スケジュール

福岡会場

13時00分～13時10分

新バージョンV2.9.1ご紹介

13時10分～15時00分

分子軌道編

15時00分～17時00分

分子動力学編

大阪会場

13時30分～13時40分

新バージョンV2.9.1ご紹介

13時40分～15時15分

分子軌道編

15時15分～17時00分

分子動力学編

お申し込み方法

参加希望の方は、以下のフォームからお申し込みください。

- 申込URL：[SCIGRESSセミナーお申込み](#) 

関連リンク

➤ [FUJITSU Technical Computing Solution 「SCIGRESS（サイグレス）」](#)

本件に関するお問い合わせ

お問い合わせ

富士通株式会社 ソーシャルデザイン事業本部 デジタルラボ事業部



お電話・メールでのお問合せ（富士通サイトへ）

プレスリリースに記載された製品の価格、仕様、サービス内容などは、発表日現在のものです。その後予告なしに変更されることがあります。あらかじめご了承ください。

[コンテンツ利用条件](#)

[個人情報保護ポリシーについて](#)

[商標について](#)

[お問い合わせ](#)

[富士通ホームへ](#)

Copyright 1994 - 2021 FUJITSU



ホーム > お知らせ > プレスリリース > プレスリリース (2019年) >

第33回分子シミュレーション討論会へ計算化学統合プラットフォームSCIGRESSを出展

PRESS RELEASE

2019年12月4日

株式会社富士通九州システムズ

第33回分子シミュレーション討論会に計算化学統合プラットフォーム「SCIGRESS」を出展

当社は、12月9日（月曜日）から12月11日（水曜日）にかけて開催される第33回分子シミュレーション討論会に出展します。


当社ブースでは、計算化学統合プラットフォーム「SCIGRESS」を出展します。

「SCIGRESS」は、原子・分子レベルの微細な挙動や性質を解析するシミュレーション・ソフトウェアです。低分子、高分子、結晶、アモルファス^(注1)など多岐にわたるモデリング機能や、分子軌道法^(注2)、分子動力学法^(注3)、密度汎関数法^(注4)など様々な計算化学の手法を搭載し、新材料、新素材の研究開発を支援します。

プレスリリースを見て事前にご連絡いただいた方には、個別相談会も実施しております。是非、当社ブースまでご来臨賜りますよう、お願い申し上げます。

第33回分子シミュレーション討論会


- 期間：2019年12月9日（月曜日）～ 12月11日（水曜日）

- URL：[第33回 分子シミュレーション討論会サイト](#) 

当社出展期間

- 12月9日（月曜日）10時～18時
- 12月10日（火曜日）9時～18時
- 12月11日（水曜日）9時～17時

会場

- 名古屋市公会堂 4階ホール ロビー
〒466-0064 名古屋市昭和区鶴舞一丁目1番3号
- URL：[交通アクセス | 名古屋市公会堂 \[愛知県名古屋市のイベントホール\]](#) 

当社出展ソリューション

- 計算化学統合プラットフォーム「**SCIGRESS**」
「SCIGRESS」は、容易な分子モデリング機能、多様な計算機能、強力な解析機能を、操作性の高いGUI環境から操作できる分子シミュレーションソフトです。多くの計算手法（分子力学法、分子動力学法、分子軌道法、密度汎関数法）や解析機能を包含し、幅広い研究に活用いただけます。
「GAMESS」、「LAMMPS」、「QUANTUM ESPRESSO」、「PHASE/0」、「Gaussian」といった富士通製以外のアプリケーションとも共通のGUIを介して円滑な連携が可能です。

商標について

- 記載されている製品名などの固有名詞は、各社の商標または登録商標です。

用語説明

注1 アモルファス:

原子配列が不規則で結晶構造を持たない物質の状態。

注2 分子軌道法:

分子の中の電子状態を解明するのに用いられる手法。

注3 分子動力学法:

ゆらいでいる分子の動きを追跡することで物質の性質を求める手法。

注4 密度汎関数法:

電子系のエネルギーなどの物性を電子密度から計算する理論に基づく電子状態計算法。

関連リンク

➤ [FUJITSU Technical Computing Solution SCIGRESS（サイグレス）](#)

本件に関するお問い合わせ

お問い合わせ

富士通株式会社 ソーシャルデザイン事業本部 デジタルラボ事業部



お電話・メールでのお問合せ（富士通サイトへ）

プレスリリースに記載された製品の価格、仕様、サービス内容などは、発表日現在のものです。その後予告なしに変更されることがあります。あらかじめご了承ください。

[コンテンツ利用条件](#)

[個人情報保護ポリシーについて](#)

[商標について](#)

[お問い合わせ](#)

[富士通ホームへ](#)

Copyright 1994 - 2021 FUJITSU



ホーム > お知らせ > プレスリリース > プレスリリース（2019年） > 解析ソリューション体験セミナー

PRESS RELEASE

2019年12月4日

株式会社富士通九州システムズ

解析ソリューション体験セミナー ～設計者が簡単に使える解析ソリューションのご提案～

当社は、12月10日（火曜日）から20日（金曜日）にかけて、解析ソリューション体験セミナーを開催いたします。

本セミナーでは、構造・流体・樹脂流動の解析ソリューションを無料で体験することができます。構造・熱解析ソフトウェア「Jupiter-Designer for iCAD」、熱流体解析ソフトウェア「Autodesk CFD」、樹脂流動解析ソフトウェア「Autodesk Moldflow」は、いずれも設計者が容易に短時間で結果を得られるツールとなっています。

是非この機会にご体験いただき、設計および生産業務の高度化の参考にさせていただければと存じます。

解析ソリューション体験セミナー

- 樹脂流動解析ソフトウェア「Autodesk Moldflow」

日時：2019年12月10日（火曜日）13時30分～17時

会場：富士通九州システムズ 東京オフィス 応接会議室1（東京）

- 熱流体解析ソフトウェア「Autodesk CFD」
日時：2019年12月12日（木曜日） 13時30分～17時
会場：富士通九州システムズ 東京オフィス 応接会議室 1（東京）
- 構造・熱解析ソフトウェア「Jupiter-Designer for iCAD」
日時：2019年12月13日（金曜日） 13時30分～17時
会場：富士通九州システムズ 東京オフィス 応接会議室 1（東京）
日時：2019年12月20日（金曜日） 13時30分～17時
会場：富士通関西システムラボラトリ 第5応接会議室（大阪）

定員

- 5名（先着順、無料）

対象

- 特に前提条件はありません。

お申し込み

本セミナーは、予約制になっております。参加を希望される場合は、次のURLから申込みください。
URL：[解析ソリューション体験セミナーのご案内](#)


商標について

- 記載されている製品名などの固有名詞は、各社の商標または登録商標です。

本件に関するお問い合わせ

お電話によるお問い合わせ

エンジニアリングソリューション本部 HPCソリューション部 吉野、永栄

 092-260-6224

受付時間 9時～17時（土曜・日曜・祝日・当社指定の休業日を除く）

メールでのお問い合わせ

CAE関連ソリューションに関するお問い合わせ

 fjqs-cae-sales@cs.jp.fujitsu.com

当社はセキュリティ保護の観点からSSL技術を使用しております

プレスリリースに記載された製品の価格、仕様、サービス内容などは、発表日現在のものです。その後予告なしに変更されることがあります。あらかじめご了承ください。

[コンテンツ利用条件](#)

[個人情報保護ポリシーについて](#)

[商標について](#)

[お問い合わせ](#)

[富士通ホームへ](#)



[ホーム](#) > [お知らせ](#) > [プレスリリース](#) > [プレスリリース \(2019年\)](#) >

[日本薬物動態学会に薬物相互作用シミュレーションソフトを出展](#)

PRESS RELEASE

2019年11月27日

株式会社富士通九州システムズ


日本薬物動態学会に薬物相互作用シミュレーションソフトを出展

当社は、12月9日（月曜日）から12月12日（木曜日）にかけて開催される日本薬物動態学会第34回年会 つくば に薬物相互作用シミュレーションソフトを出展します。

本会では、「科学技術の交差点～生体模倣による薬物反応システムの解明と再生医療技術の応用～」をテーマに、講演、シンポジウム、ワークショップ、ポスター発表などが開催されます。

当社ブースでは、薬物併用時の薬物代謝酵素や、薬物トランスポーターを介した薬物相互作用を予測する「DDI Simulator」、薬の毒性・薬物動態予測をおこなう「ADMEWORKSシリーズ」のほか、薬物代謝酵素・薬物トランスポーター・薬物相互作用情報を文献から収載した「ADME Database」を出展します。プレスリリースを見て事前にご連絡いただいた方には、個別相談会も実施しております。是非、当社ブースまでご来臨賜りますよう、お願い申し上げます。

日本薬物動態学会 第34回年会 つくば

- 期間：2019年12月9日（月曜日）～12月12日（木曜日）
- URL：<https://www.jssx34.org/> 

会場

- つくば国際会議場 ブースNo.4
〒305-0032 茨城県つくば市竹園2丁目20-3
- URL：<https://www.epochal.or.jp/access/>

当社出展期間

- 12月 10日（火曜日） 9時30分～18時30分
- 12月 11日（水曜日） 9時30分～18時30分
- 12月 12日（木曜日） 9時30分～15時45分

当社出展ソリューション

1. 薬物相互作用シミュレーションソフト「DDI Simulator」

「DDI Simulator」は、医薬品開発過程において必要とされる薬物の併用投与時に薬効・副作用発現の変動を引き起こしうる薬物動態学的相互作用の程度を、薬物動態パラメータの情報に基づき予測するためのソフトウェアです。被相互作用薬の挙動を、生理学的薬物速度論（PBPK）モデルを用いたシミュレーションにより定量的かつ高精度に予測します。薬物相互作用の影響を考慮した投与スケジュールの最適化にもご利用いただけます。

2. 薬理活性・薬物動態・毒性スクリーニング統合Webシステム「ADMEWORKSシリーズ」

「ADMEWORKSシリーズ」は、化学物質や薬物などの安全性と体内における変化を、コンピュータ上で評価するためのシステムです。製薬企業における新薬開発にだけ用いられるのではなく、動物実験代替法への関心が高まっていることもあり、化学メーカーや化粧品メーカーでもご利用いただいております。インハウスデータを使用した予測モデルの構築も可能です。

3. 薬物代謝酵素P450/トランスポーターに関するデータベース「ADME Database」

「ADME Database」は、クロアチアのレンディック博士^(注1)が、文献から収集したヒトの薬物動態

関連たんぱく質・薬物の情報^(注2)データベースです。薬物の吸収、分布、代謝、排泄に関わるチトクロームP450^(注3)、その他の薬物代謝酵素と薬物、トランスポーター^(注4)情報を収載しています。

商標について

- 記載されている製品名などの固有名詞は、各社の商標または登録商標です。

用語説明

注1 レンディック博士:

レンディック博士は、薬物動態分野の著名な研究者です。

注2 薬物動態関連たんぱく質・薬物の情報:

投与された薬物が作用発現部位に到達する過程における、吸収、分布、代謝、排泄などに関連するたんぱく質情報です。

注3 チトクロームP450:

薬物を体外に排泄されやすい形に代謝する酵素です。

注4 トランスポータ:

薬物を輸送するタンパク質です。

関連リンク

- 薬物相互作用シミュレーションソフト「DDI Simulator」
- 薬理活性・薬物動態・毒性スクリーニング統合Webシステム「ADMEWORKSシリーズ」
- 薬物代謝酵素P450/トランスポーターに関するデータベース「ADME Database」

本件に関するお問い合わせ

お問い合わせ

富士通株式会社 ソーシャルデザイン事業本部 デジタルラボ事業部



お電話・メールでのお問合せ（富士通サイトへ）

プレスリリースに記載された製品の価格、仕様、サービス内容などは、発表日現在のものです。その後予告なしに変更されることがあります。あらかじめご了承ください。

[コンテンツ利用条件](#)

[個人情報保護ポリシーについて](#)

[商標について](#)

[お問い合わせ](#)

[富士通ホームへ](#)

Copyright 1994 - 2021 FUJITSU



[ホーム](#) > [お知らせ](#) > [プレスリリース](#) > [プレスリリース（2019年）](#) >

[ヒートポンプ式給湯機を活用した電気料金節約サービス（SaaS）の提供を開始](#)

PRESS RELEASE

2019年11月20日

株式会社富士通九州システムズ

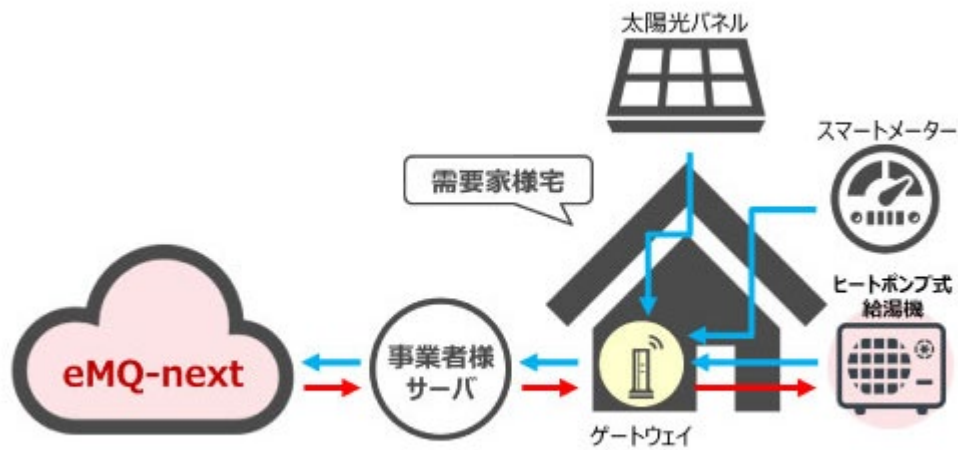
ヒートポンプ式給湯機を活用した電気料金節約サービス（SaaS）の提供を開始

当社は、11月からヒートポンプ式給湯機を活用した電気料金節約サービス（SaaS）「eMQ-next」の提供を開始します。

本サービスは、固定価格買取制度（FIT）の期限が満了になった需要家様（電気利用者：ご家庭）へ、自家消費サービスの提供を検討されている事業者様向けのサービスです。太陽光発電を活用したヒートポンプ式給湯機の日中の沸き上げ時刻を算出し、事業者様のサーバへ連携します。

電力データの実績値を基にした沸き上げ時刻を使用して需要家様のヒートポンプ式給湯機を制御することで、電気料金の節約と事業者様に対する需要家様の顧客満足度向上に寄与します。

また、本サービスの導入は再生可能エネルギーの効果的な活用を実現するため、事業者様のSDGsにおける取組みに貢献します。



「eMQ-next」は、事業者様より受領した需要家様の電力量データを使用し、ご家庭のヒートポンプ式給湯機について、日中の適切な沸き上げ時間を算出し、事業者様のサーバ(注1)へ連携するサービスです。

固定価格買取期限が満了になった後の売電価格が割安になった太陽光発電を効率的に使用してお湯を沸き上げることで、電気料金の節約が可能になります。

また、電力量データの実績値を使用し、沸き上げ中の電気料金を監視しながら沸き上げを制御するため、天候の変動等によるご家庭の電気料金の高騰を防ぐことができます。

需要家様にわかりやすい仕組みを用いることで、事業者様に安心してご利用いただける自家消費サービスをご提供します。

注1 需要家様の電力値データを収集し、当社へお送りいただくこと。また、当社からの沸き上げ時刻を受領し、需要家様宅のヒートポンプ式給湯機へ制御指令を出すシステムが必要となります。

サービス概要

基本サービス

電気料金節約サービス

電気料金節約機能を利用する事業者のためのサービス（月額契約）

※制御する機器数100台まで

費用対効果確認サービス

電気料金節約サービスを契約する前に、検証環境を使用して節約金額の検証を実施するお試しサービス（1か月限定）

その他サービス

初期設定サービス

初期セットアップ、環境構築を行うサービス
【電気料金節約サービス契約時必須】

QAサポートサービス

QA対応サービス（年間契約）
【電気料金節約サービス契約時必須】

制御機器追加サービス

電気料金節約サービスのご利用にあたり、制御対象の機器数に合わせて追加で契約するオプションサービス
※1契約／100台分追加

※ ご利用条件により価格に変更が発生する場合がありますので、まずはお問合せ下さい。

※ クラウドサーバの利用料は基本サービスに含みます。

eMQ-nextの特長

1. 実績値を使用した制御

本サービスでは、需要家様宅の電力量（実績）を使用して沸き上げ時刻を算出するため、天候などの外的予測が外れることで沸き上げのチャンスを逃す、発電量の不足時に沸き上げるなどのリスクを防ぎます。

2. リアルタイムに電気料金を算出

日中の沸き上げ中にリアルタイムに電気料金を算出し、見える化します。事業者様はパソコンで、需要家様はスマートフォンで、沸き上げの効果をいつでもご確認いただけます。

3. 電気料金の監視

電気料金をリアルタイムに監視し、自家消費による節約金額の保持が期待できます。
天候変動により、太陽光発電が落ち込んできた場合などには、節約金額の監視した結果を以て沸き上げ停止時刻を連携することで、自動的に日中の高い電気の買いすぎを防止し、ご家庭の電気料金の高騰を防ぐことができます。

出荷時期

- 2019年11月

関連リンク

- ヒートポンプ式給湯機を活用した 電気料金節約（自家消費）サービス eMQ-next SaaS

商標について

- 記載されている製品名などの固有名詞は、各社の商標または登録商標です。

本件に関するお問い合わせ

メールでのお問い合わせ

eMQ-next SaaSに関するお問い合わせ

✉ fjqs-emq-next@cs.jp.fujitsu.com

プレスリリースに記載された製品の価格、仕様、サービス内容などは、発表日現在のものです。その後予告なしに変更されることがあります。あらかじめご了承ください。

[コンテンツ利用条件](#)

[個人情報保護ポリシーについて](#)

[商標について](#)

[お問い合わせ](#)

[富士通ホームへ](#)



[ホーム](#) > [お知らせ](#) > [プレスリリース](#) > [プレスリリース（2019年）](#) >

[日本臨床薬理学会に薬物相互作用シミュレーションソフトを出展](#)

PRESS RELEASE

2019年11月20日

株式会社富士通九州システムズ

日本臨床薬理学会に薬物相互作用シミュレーションソフトを出展

当社は、12月4日（水曜日）から12月6日（金曜日）にかけて開催される第40回日本臨床薬理学会学術総会に薬物相互作用シミュレーションソフトを出展します。


本会では、「臨床薬理学の輝ける明日を求めて」をテーマに、講演、シンポジウム、ワークショップ、ポスター発表などが開催されます。

当社ブースでは、薬物治療の最適化技術の一つとして、薬物併用時の薬物代謝酵素や、薬物トランスポーターを介した薬物相互作用を予測する「DDI Simulator」、薬物代謝酵素・薬物トランスポーター・薬物の相互作用情報を文献から収載した「ADME Database」のほか、薬の毒性・薬物動態予測をおこなう「ADMEWORKSシリーズ」を出展します。プレスリリースを見て事前にご連絡いただいた方には、個別相談会も実施しております。是非、当社ブースまでご来臨賜りますよう、お願い申し上げます。

第40回日本臨床薬理学会学術総会

- 期間：2019年12月4日（水曜日）～12月6日（金曜日）
- URL：<https://www.c-linkage.co.jp/jscpt40/> 

会場

- 京王プラザホテル 4F 錦・錦ホワイエ ブースNo.16
〒160-0023 東京都新宿区西新宿2丁目2-1
- URL：[アクセス案内](#) | [京王プラザホテル](#) 

当社出展期間

- 12月4日（水曜日） 10時～18時
- 12月5日（木曜日） 8時～17時50分
- 12月6日（金曜日） 7時30分～14時

当社出展ソリューション

1. 薬物相互作用シミュレーションソフト「DDI Simulator」

「DDI Simulator」は、薬物の併用投与時に薬効・副作用発現の変動を引き起こしうる薬物動態学的相互作用の程度を、薬物動態パラメータの情報に基づき予測するためのソフトウェアです。被相互作用薬の挙動を、生理学的薬物速度論（PBPK）モデルを用いたシミュレーションにより定量的かつ高精度に予測します。薬物相互作用の評価や、相互作用の影響の少ない投与量・投与間隔の検討にご利用いただけます。

2. 薬物代謝酵素P450/トランスポーターに関するデータベース「ADME Database」

「ADME Database」は、クロアチアのレンディック博士^(注1)が、文献から収集したヒトの薬物動態関連たんぱく質・薬物の情報^(注2)データベースです。薬物の吸収、分布、代謝、排泄に関わるチトクロームP450^(注3)、その他の薬物代謝酵素と薬物、トランスポーター^(注4)情報を収載しています。

3. 薬理活性・薬物動態・毒性スクリーニング統合Webシステム「ADMEWORKSシリーズ」

「ADMEWORKSシリーズ」は、化学物質や薬物などの安全性と体内における変化を、コンピュータ上で評価するためのシステムです。製薬企業における新薬開発にだけ用いられるのではなく、動

物実験代替法への関心が高まっていることもあり、化学メーカーや化粧品メーカーでもご利用いただいております。

商標について

- 記載されている製品名などの固有名詞は、各社の商標または登録商標です。

用語説明

注1 レンディック博士:

レンディック博士は、薬物動態分野の著名な研究者です。

注2 薬物動態関連たんぱく質・薬物の情報:

投与された薬物が作用発現部位に到達する過程における、吸収、分布、代謝、排泄などに関連するたんぱく質情報です。

注3 チトクロームP450:

薬物を体外に排泄されやすい形に代謝する酵素です。

注4 トランスポーター:

薬物を輸送するタンパク質です。

関連リンク

- 薬物相互作用シミュレーションソフト「DDI Simulator」
- 薬物代謝酵素P450/トランスポーターに関するデータベース「ADME Database」
- 薬理活性・薬物動態・毒性スクリーニング統合Webシステム「ADMEWORKSシリーズ」

本件に関するお問い合わせ

お問い合わせ

富士通株式会社 ソーシャルデザイン事業本部 デジタルラボ事業部



お電話・メールでのお問合せ（富士通サイトへ）

プレスリリースに記載された製品の価格、仕様、サービス内容などは、発表日現在のものです。その後予告なしに変更されることがあります。あらかじめご了承ください。

[コンテンツ利用条件](#)

[個人情報保護ポリシーについて](#)

[商標について](#)

[お問い合わせ](#)

[富士通ホームへ](#)

Copyright 1994 - 2021 FUJITSU



[ホーム](#) > [お知らせ](#) > [プレスリリース](#) > [プレスリリース（2019年）](#) > [福岡で3次元設計事例セミナーを実施](#)

PRESS RELEASE

2019年11月18日

株式会社富士通九州システムズ

福岡で3次元設計事例セミナーを実施 ～モノづくりとITの融合セミナー～

当社は、「モノづくりとITの融合セミナー（福岡）」に協賛し、3次元設計を支援するソリューションを紹介します。

本セミナーは、「機械設計におけるデジタルプロセス化」をテーマにした機械装置メーカー様における3次元設計事例セミナーです。事例講演や各種ソリューションの展示・個別デモンストレーションのほか、3D設計立上げ支援サービス、設計業務効率化ツールについてもご紹介いたします。

是非この機会にご参加いただき、設計および生産業務の効率化のご参考にしていただければと存じます。

モノづくりとITの融合セミナー

日時

2019年11月29日（金曜日）13:30～17:00 （受付 13:00）

会場

富士通株式会社 九州支社2階
福岡市博多区東比恵3-1-2 東比恵ビジネスセンター I

内容

事例講演

- 東レエンジニアリング株式会社様
「3次元設計の導入・定着と業務効率化の取り組み」
 - iCAD株式会社
「機械装置の開発に求められる3次元CADとは」
 - 株式会社富士通九州システムズ
「3D設計立上げ支援サービス」、「設計業務効率化ツール for iCAD」のご紹介
-

主催

富士通株式会社、株式会社富士通マーケティング、iCAD株式会社

協賛

株式会社富士通九州システムズ

参加費

- 無料

対象

- 前提条件は特にありません。

お申し込み

本セミナーは、予約制になっております。参加を希望される場合は、次のURLから申込みください。

モノづくりとITの融合セミナー（福岡）のご案内


商標について

- 記載されている製品名などの固有名詞は、各社の商標または登録商標です。

本件に関するお問い合わせ

お電話によるお問い合わせ

エンジニアリングソリューション本部
エンジニアリングDX推進部

 092-260-6229

受付時間 9時～17時（土曜・日曜・祝日・当社指定の休業日を除く）

メールでのお問い合わせ

PLMソリューションに関するお問い合わせ

 入力フォーム

当社はセキュリティ保護の観点からSSL技術を使用しております

プレスリリースに記載された製品の価格、仕様、サービス内容などは、発表日現在のものです。その

後予告なしに変更されることがあります。あらかじめご了承ください。

コンテンツ利用条件

個人情報保護ポリシーについて

商標について

お問い合わせ

富士通ホームへ



ホーム > お知らせ > プレスリリース > プレスリリース (2019年) >

「ツナガル+」が**LINE**と連携し、さらに使いやすく！

PRESS RELEASE

2019年11月14日

株式会社富士通九州システムズ

「ツナガル+」が**LINE**と連携し、さらに使いやすく！

～福岡市**LINE**公式アカウントとの連携も～

当社が提供している防災アプリケーションの「ツナガル+(プラス)」は、**LINE**アカウントによるソーシャルログインを追加し、簡単に会員登録やログインができるようになりました。また福岡市**LINE**公式アカウントからも「ツナガル+」のダウンロードや起動ができるようになり、より簡単に利用できるようになりました。

さらに便利になった「ツナガル+」を平常時から活用し、災害時への備えにお役立てください。

「ツナガル+」は、平常時はPTAや自治会などの地域のコミュニケーションや周囲との情報交換に活用でき、地震や大雨、台風などの災害が発生すると災害モードに切り替わり、避難所内でのコミュニケーションツールとして使えるアプリケーションです。平常時と災害時の使い方が同じであるため、普段から「ツナガル+」を活用いただくことで、災害時への備えに役立てることができます。

このたび「ツナガル+」は、**LINE**アカウントによるソーシャルログインが利用できるようになりました。これにより、**LINE**のアカウント情報を用いて簡単に会員登録やログインができるため、より便利に「ツナガル+」をお使いいただけます。

「ツナガル+」ログイン画面

「ツナガル+」登録画面

「ツナガル+」コミュニティ画面

また、福岡市LINE公式アカウントからも「ツナガル+」をダウンロードや起動ができるようになりました。LINEアカウントによるソーシャルログインによって、LINEと「ツナガル+」の2つのアプリケーションを簡単にご利用いただけます。

なお、行政の指定避難所が利用できない、移動できないといった場合に、「ツナガル+」を使って指定外避難所の情報を発信することで福岡市が指定外避難所を把握できるとともに、避難所グループ内で情報共有が可能です。（福岡市に在住・滞在している方限定）

福岡市LINE公式アカウント内 避難行動支援機能トップ画面

福岡市LINE公式アカウント内 避難行動支援機能避難所検索

福岡市公式サイト内「ツナガル+」紹介ページ

ツナガル+

ユーザID、メールアドレス

パスワード

ログイン

ログイン情報を忘れてしまった場合は、こちら

Log in with LINE

アカウントをお持ちでない場合は、登録はこちら



「ツナガル+」アプリ内ログイン画面

プロフィール設定

上記アイコンをタップしてプロフィール画像を設定しましょう。
今はスキップして後から変更することも可能です。

姓 名

防災 太郎

2/16 2/16

ニックネーム (半角英数字)

fukuokabousai

13/16

✓ ツナガル+の利用規約に同意します。

決定



「ツナガル+」アプリ内登録画面

動作環境

Android版OS

iOS版OS

その他

バージョン5.0以降

バージョン10.2以上

インターネットが利用できる環境であること

関連リンク

➤ 「ツナガル+」紹介サイト

➤ 福岡市サイト

商標について

- 記載されている製品名などの固有名詞は、各社の商標または登録商標です。

本件に関するお問い合わせ

メールでのお問い合わせ

未来社会ソリューション本部クラウドネットワークサービス部 担当：島田

 [入力フォーム](#)

プレスリリースに記載された製品の価格、仕様、サービス内容などは、発表日現在のものです。その後予告なしに変更されることがあります。あらかじめご了承ください。

[コンテンツ利用条件](#)

[個人情報保護ポリシーについて](#)

[商標について](#)

[お問い合わせ](#)



[ホーム](#) > [お知らせ](#) > [プレスリリース](#) > [プレスリリース（2019年）](#) >

[スマート工場ソリューション「DREMAQ」を発売開始](#)

PRESS RELEASE

2019年11月8日

株式会社富士通九州システムズ

スマート工場ソリューション「DREMAQ」を発売 開始

～ 生産順序計画の「最適化」と生産工程の「見える化」で製造業の
ものづくり力強化に貢献～

当社は、生産順序計画の「最適化」と生産工程の「見える化」を実現するソリューション「DREMAQ（ドリマック）」の販売を開始しました。

生産順序計画の「最適化」サービスDREMAQ OPS(Optimization Simulator)は、生産の初期計画や再計画の際、最適化エンジン「OPTEMILIS」^(注1)により生産順序を自動で並べ替え、生産リードタイム・稼働率・段替回数などを多目的に最適化します。また、生産工程の「見える化」サービスDREMAQ FFV(Factory Flow Viewer)は、現場の実績データを集計し、数値化・グラフ化することで現場管理者や作業者の業務効率化を実現します。「DREMAQ」は、富士通ものづくりデジタルプレイス「COLMINA」と連携^(注2)し、お客様のスマートファクトリーの実現に貢献します。

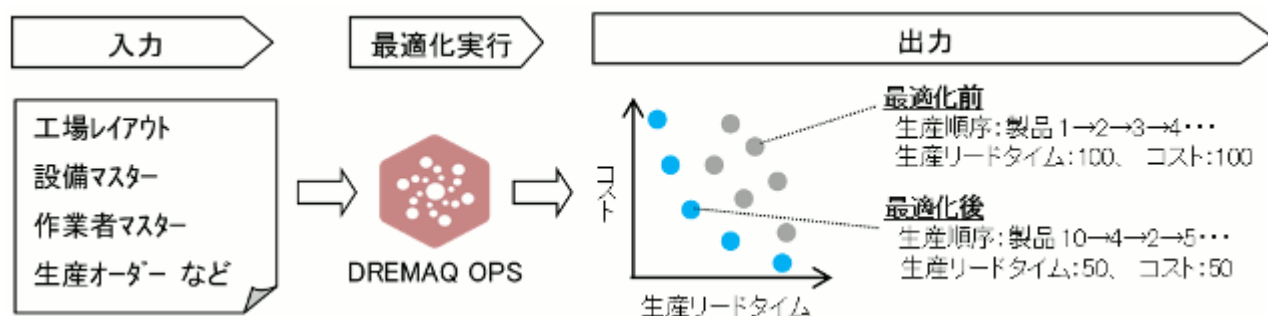
製造現場では、市場の多品種少量生産のニーズや、人手不足や働き方改革による労働時間の制約に対応するため、より一層の生産性の向上が求められています。

「DREMAQ OPS」では、生産順序を複数の目的（指標）に対し最適化することで、生産性の高い計画の策定を支援します。また、工場・ラインの新設や改善の際には、必要な設備数や人員などの条件を論理的に決定することができます。これによって、人による計画精度のバラつきをなくすとともに、生産能力の最大化を実現します。「DREMAQ FFV」では、工場における生産目標の達成状況や設備の稼働状況を、現場に行かなくても事務所から把握することができます。これによって、新たな注文に対する生産ラインのキャパシティやどの設備から保全に着手するべきかの判断を効率よく行うことができます。

さらに、これらの生産データを蓄積していくことで、データから価値を生み出す新たなソリューションの提供にも取り組んでまいります。

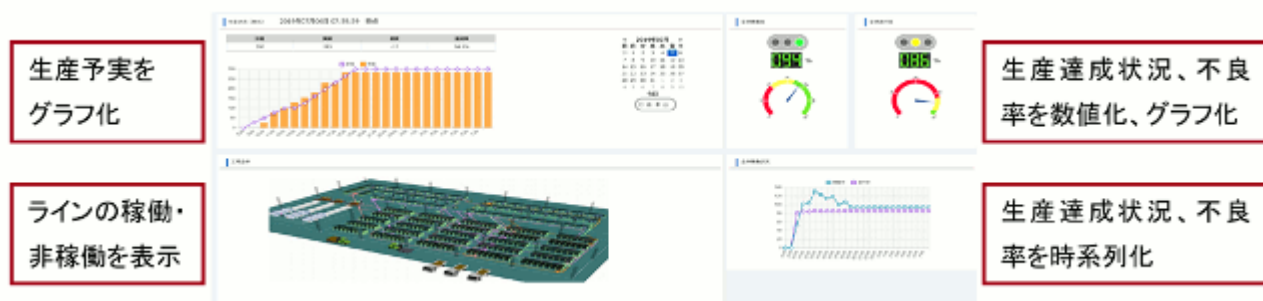
「DREMAQ OPS」機能イメージ

データ入力から出力までの主な流れの例。出力例は一例であり、最適化指標は複数選択が可能です。



「DREMAQ FFV」機能イメージ


工場全体を俯瞰する見える化の例。その他、ライン起点・製品起点の見える化の画面もあります。



DREMAQの特長

1. 「DREMAQ OPS」で生産順序計画の多目的「最適化」を実現します。
生産リードタイム、稼働率、段替回数・時間、コスト、納期の中でトレードオフにある複数の指標を最適化し、生産順序計画を決定することができます。
2. 「DREMAQ FFV」で工場全体の生産状況を手軽に「見える化」します。
生産目標達成率、稼働状況、生産能力をリアルタイムに把握し、早期対策の実現や改善の気づきを得ることができます。クラウドでのサービス提供であり、お客様への導入費用やメンテナンスの負荷を最小化します。



エンドースメント

ジャパン・イーエム・ソリューションズ株式会社様（略名：JEMS） 

当社はお客様の立場で、EngineeringからManufacturingまでMade in JapanによるワンストップのSolutionをご提供します。2019年4月にプリント基板実装ライン保有企業のスマートファクトリー化の実現に向けたJEMS国内工場での導入実践に基づく、M2Mシステム導入サービスを開始しました。本サービス内でDREMAQは生産性のボトルネック探索と可視化の役割を担っています。当社工場での導入実践を更に進化させるべく、今後も共同開発を進めると共に、ユーザの立場としてもDREMAQを最大限に活用して行きたいと考えております。

ジャパン・イーエム・ソリューションズ株式会社 代表取締役社長 高橋 英明

関連リンク

- [ものづくりデジタルプレイスCOLMINA（富士通サイト）](#) 
- [JEMS国内工場での導入実践に基づく、プリント基板実装ラインのM2Mシステム導入サービスを開始（過去のプレスリリース）](#)
- [COLMINA Sequence Planning Optimization（富士通サイト）](#) 

<https://www.fujitsu.com/jp/solutions/industry/manufacturing/monozukuri-total-support/solutions/ffv/>

注釈

注1 **OPTEMILIS**（オプティマイリス）：

OPTEMILISは、株式会社富士通研究所（本社 神奈川県川崎市、代表取締役社長 原裕貴）が開発した計画最適化エンジンで、生産現場の稼動実績からモデル化し、装置故障などの突発事象が発生したときに、即座にシミュレーションを行い、ヒト・モノ・装置の最適オペレーション計画を提供します。

注2 **COLMINA**と**DREMAQ**の連携：

COLMINA V2シナリオ生産影響最小化の最適化エンジンとして「DREMAQ OPS」を提供しています。


商標について

- 記載されている製品名などの固有名詞は、各社の商標または登録商標です。

本件に関するお問い合わせ

お電話によるお問い合わせ

エンジニアリングソリューション本部 デジタルシミュレーション部

 092-260-6225

受付時間 9時～17時（土曜・日曜・祝日・当社指定の休業日を除く）

メールでのお問い合わせ

DREMAQソリューションに関するお問い合わせ

 [入力フォーム](#)

当社はセキュリティ保護の観点からSSL技術を使用しております

プレスリリースに記載された製品の価格、仕様、サービス内容などは、発表日現在のものです。その

後予告なしに変更されることがあります。あらかじめご了承ください。

コンテンツ利用条件

個人情報保護ポリシーについて

商標について

お問い合わせ

富士通ホームへ



[ホーム](#) > [お知らせ](#) > [プレスリリース](#) > [プレスリリース \(2019年\)](#) >

[日本医療薬学会へ薬物相互作用シミュレーションソフトを出展](#)

PRESS RELEASE

2019年10月23日

株式会社富士通九州システムズ

日本医療薬学会へ薬物相互作用シミュレーションソフトを出展

当社は、11月2日（土曜日）から11月4日（月曜日）にかけて開催される第29回日本医療薬学会年会に薬物相互作用シミュレーションソフトを出展します。

本会は、「新しい時代を担う 医療薬学のこれから～薬学の英知の結集～」をテーマに、講演、シンポジウム、ワークショップ、ポスター発表などが開催されます。

当社ブースでは、薬物治療の最適化技術の一つとして、薬物併用時の薬物相互作用を予測する「DDI Simulator」、薬物代謝酵素・トランスポーター・薬物の相互作用情報を文献から収載した「ADME Database」のほか、薬の毒性・薬物動態予測をおこなう「ADMEWORKSシリーズ」を出展します。プレスリリースを見て事前にご連絡いただいた方には、個別相談会も実施しております。是非、当社ブースまでご来臨賜りますよう、お願い申し上げます。

第29回日本医療薬学会年会


- 期間：2019年11月2日（土曜日）～11月4日（月曜日）

- URL：[第29回日本医療薬学会年会](#) 

当社出展期間

- 11月2日（土曜日）9時～18時30分
- 11月3日（日曜日）8時30分～18時30分
- 11月4日（月曜日）9時～15時

会場

- マリンメッセ福岡1F アリーナ ブースNo.16
〒812-0031 福岡市博多区沖浜町791
- URL：[交通アクセス | FUKUOKA CONVENTION CENTER【マリンメッセ福岡】](#) 

当社出展ソリューション

1. 薬物相互作用シミュレーションソフト「DDI Simulator」

「DDI Simulator」は、薬物の併用投与時に薬効・副作用発現の変動を引き起こしうる薬物動態学的相互作用の程度を、薬物動態パラメータの情報に基づき予測するためのソフトウェアです。被相互作用薬の挙動を、生理学的薬物速度論モデルを用いたシミュレーションにより定量的かつ高精度に予測します。薬物相互作用の評価や、相互作用の影響の少ない投与量・投与間隔の検討にご利用いただけます。

2. 薬物代謝酵素P450/トランスポーターに関するデータベース「ADME Database」

「ADME Database」は、クロアチアのレンディック博士^(注1)が、文献から収集したヒトの薬物動態関連たんぱく質・薬物の情報^(注2)データベースです。薬物の吸収、分布、代謝、排泄に関わるチトクロームP450^(注3)、その他の薬物代謝酵素と薬物、トランスポーター^(注4)情報を収載しています。

3. 薬理活性・薬物動態・毒性スクリーニング統合Webシステム「ADMEWORKSシリーズ」

「ADMEWORKSシリーズ」は、化学物質や薬物などの安全性と体内における変化を、コンピュータ上で評価するためのシステムです。製薬企業における新薬開発にだけ用いられるのではなく、動物実験代替法への関心が高まっていることもあり、化学メーカーや化粧品メーカーでもご利用いただいております。

商標について

- 記載されている製品名などの固有名詞は、各社の商標または登録商標です。

用語説明

注1 レンディック博士:

レンディック博士は、薬物動態分野の著名な研究者です。

注2 薬物動態関連たんぱく質・薬物の情報:

投与された薬物が作用発現部位に到達する過程における、吸収、分布、代謝、排泄などに関連するたんぱく質情報です。

注3 チトクロームP450:

薬物を体外に排泄されやすい形に代謝する酵素です。

注4 トランスポータ:

薬物を輸送するタンパク質です。

関連リンク

- 薬物相互作用シミュレーションソフト「DDI Simulator」
- 薬物代謝酵素P450/トランスポーターに関するデータベース「ADME Database」
- 薬理活性・薬物動態・毒性スクリーニング統合Webシステム「ADMEWORKSシリーズ」

本件に関するお問い合わせ

お問い合わせ

富士通株式会社 ソーシャルデザイン事業本部 デジタルラボ事業部

 [お電話・メールでのお問合せ（富士通サイトへ）](#)

プレスリリースに記載された製品の価格、仕様、サービス内容などは、発表日現在のものです。その後予告なしに変更されることがあります。あらかじめご了承ください。

[コンテンツ利用条件](#)

[個人情報保護ポリシーについて](#)

[商標について](#)

[お問い合わせ](#)

[富士通ホームへ](#)

Copyright 1994 - 2021 FUJITSU



[ホーム](#) > [お知らせ](#) > [プレスリリース](#) > [プレスリリース \(2019年\)](#) >

「iCAD SX」をベースに自動設計システムを構築 効率化により設計スピードが格段に向上

PRESS RELEASE

2019年10月17日

株式会社富士通九州システムズ

「iCAD SX」をベースに自動設計システムを構築 効率化により設計スピードが格段に向上

国内唯一のクリーンエアシステムの専門メーカーである日本エアーテック株式会社（本社：東京都台東区、代表取締役社長 平沢 真也氏、以下、日本エアーテック様）。同社は、2014年に株式会社富士通九州システムズ（以下、FJQS）から「iCAD SX」と「iCAD/SML」を導入し、エアシャワー、パスボックスなどの製品を中心に3次元設計を取り入れました。

さらに、3次元設計を浸透させるため、自動設計システムの構築に着手し、2019年春に主力製品の1つを対象としたシステムが完成。従来、約1日を費やしていた設計作業を大幅に短縮できる見込みで、今後は、本システムの本格運用および他の製品ラインアップへの横展開を進めていく計画です。

背景と導入効果

日本エアーテック様は、独自の技術を基盤にクリーンルーム、クリーンベンチ、バイオハザードシステム等の設計製造、販売を行っています。同社では、20年以上にわたり2次元CADを使用してきまし

た。しかし、図面一枚一枚のどの加工がどこに該当するのか把握が困難になってきたことから、設計者、加工業者、工場の各工程でロスが発生。こうした状況を改善するため、2014年にFJQSから「iCAD SX」と「iCAD/SML」を導入しました。

さらに、3次元CADでの設計を浸透させるため、主力製品の1つを対象にFJQSと構築したiCAD SXをベースとする自動設計システムは、一通りのパラメータを入力するだけで、ある程度まで製品の全体モデルを作成できます。設計者は、全体を確認しながら細かな部分を造り込むだけで済むようになりました。従来、約1日を費やしていた設計作業が、最短では20～30分程度に短縮できるなど、大幅な省力化につながる見込みです。

今後の展開

今後、日本エアーテック様は、高い汎用性を持つ自動設計システムを他製品へも横展開していく計画です。より多くの設計に自動設計システムを取り入れることで、会社全体の生産性向上に貢献することを期待しています。

また、半導体工場などで使用されるサーマルクリーンチャンバーの設計において、3次元を活用した解析システムの導入を検討されています。

本製品の特長

「iCAD SX」は、機械・装置設計の製品形状や設計プロセスに最適化した2次元／3次元CADシステムです。図面の描きやすさ、豊富なコマンド、高速処理を特長としており、膨大な部品を扱う設計でも軽快に動作します。


「iCAD/SML」は、iCAD SX上で板金部品のモデリング機能を提供する設計支援システムです。板金部品とそれ以外の部品を同一の環境で扱うことができるため、部品の干渉チェックなどによって、板金設計の作業効率を向上することができます。

この「iCAD SX」および「iCAD/SML」をベースとした自動設計システムは、iCADの基本機能を利用することで開発コストを抑えるとともに、他製品への適応という横展開が容易に行える汎用システムになっています。

商標について

- 記載されている製品名などの固有名詞は、各社の商標または登録商標です。


関連リンク

- 日本エアーテック株式会社 様導入事例
- 機械装置向け3次元CAD FUJITSU Manufacturing Industry Solution iCAD SX （富士通サイト）
- 3次元板金設計支援システム ICAD/SML

本件に関するお問い合わせ

お電話によるお問い合わせ

エンジニアリングソリューション本部 エンジニアリング営業部

 03-6424-9942

受付時間 9時～17時（土曜・日曜・祝日・当社指定の休業日を除く）

メールでのお問い合わせ

PLMソリューションに関するお問い合わせ

 入力フォーム

当社はセキュリティ保護の観点からSSL技術を使用しております

プレスリリースに記載された製品の価格、仕様、サービス内容などは、発表日現在のものです。その後予告なしに変更されることがあります。あらかじめご了承ください。

[コンテンツ利用条件](#)

[個人情報保護ポリシーについて](#)

[商標について](#)

[お問い合わせ](#)

[富士通ホームへ](#)

Copyright 1994 - 2021 FUJITSU



[ホーム](#) > [お知らせ](#) > [プレスリリース](#) > [プレスリリース（2019年）](#) >

創薬支援インフォマティクスシステム構築事業成果の商用化について

PRESS RELEASE

2019年10月15日

国立研究開発法人 医薬基盤・健康・栄養研究所

国立研究開発法人理化学研究所

学校法人 明治薬科大学

株式会社 富士通九州システムズ

創薬支援インフォマティクスシステム構築事業成果の商用化について ～肝毒性に関する予測機能の追加～

9月30日、国立研究開発法人 医薬基盤・健康・栄養研究所（医薬健栄研、理事長 米田 悦啓）、国立研究開発法人理化学研究所（理研、理事長 松本 紘）、学校法人 明治薬科大学（明治薬科大学、学長 石井 啓太郎）及び株式会社 富士通九州システムズ（富士通九州、代表取締役社長 石井 雄一郎）は、2019年3月15日に医薬健栄研、理研及び富士通九州の三者で決定した、薬物動態と毒性を中心としたインシリコの統合解析プラットフォーム（データベース、モデリング機能、予測機能から成るシステム）の構築及びその商用化に明治薬科大学が加わることに合意し、新たに四者で覚書を締結いたしました。

医薬健栄研と理研が、国内製薬企業7社からの協力を得て、構築を進めている薬物動態と心毒性に関する予測機能に加え、明治薬科大学が開発した化合物の構造から肝毒性を予測する機能を富士通九州のシステムに搭載いたします。本システムの特長として、研究者がデザインした化合物の化学構造情報をソフトウェアに入力すれば、その化合物の薬物動態、心毒性、及び肝毒性の予測を出力する機能を備えています。また、独自の予測モデルを作成する機能を備えており、医薬品創製の研究初期におけ

る精度の高い候補化合物のふるい分けや、構造最適化段階における分子設計の大きな効率化が期待できます。本システムは2020年度初旬のリリースを目指します。

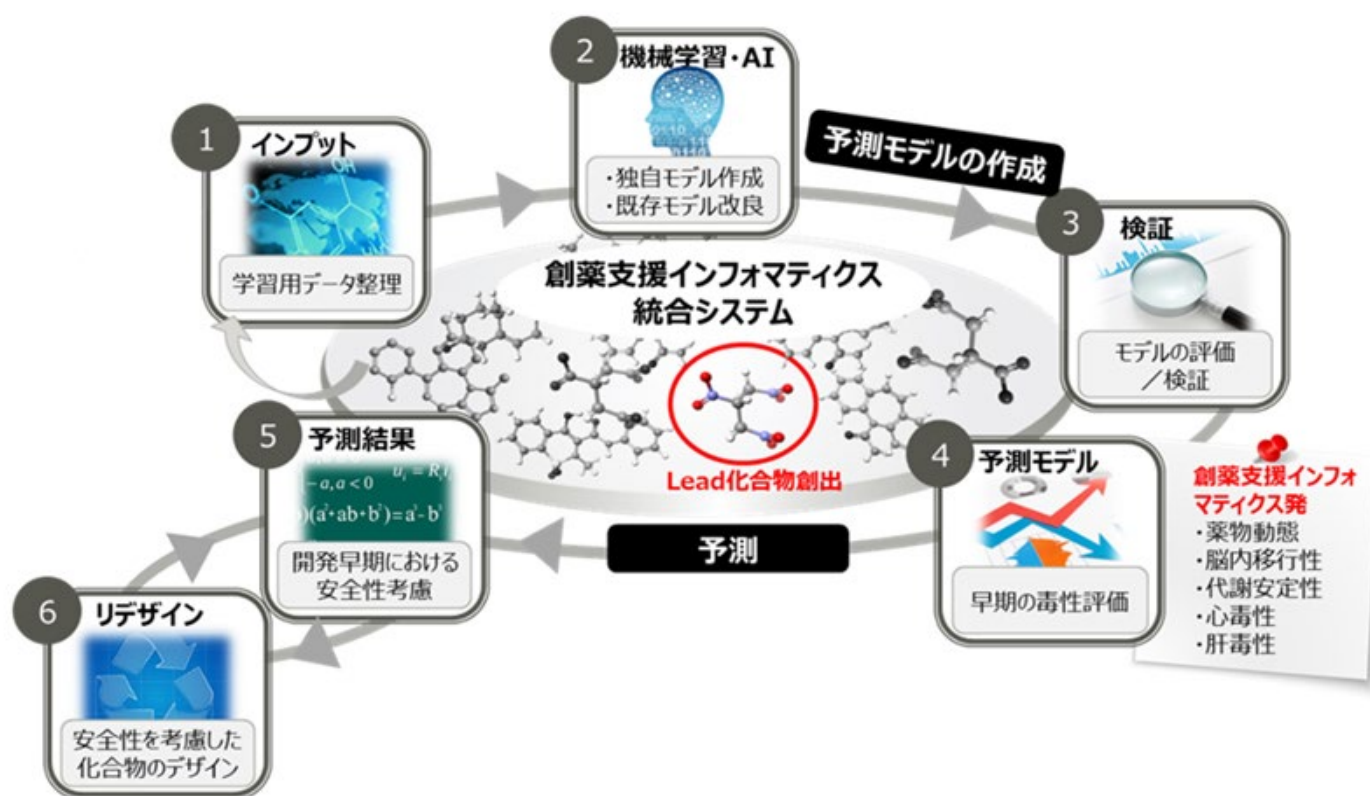
本インシリコ統合解析プラットフォームは、国立研究開発法人日本医療研究開発機構（AMED、理事長 末松 誠）が、「オールジャパンでの医薬品創出プロジェクト」の一環として、創薬支援ネットワーク^(注1)による支援機能を強化するために、2015年度から5か年の計画で実施している「創薬支援推進事業—創薬支援インフォマティクスシステム構築—」^(注2)における研究成果の一部を活用するものです。

注1 「創薬支援ネットワーク」は、大学等の優れた基礎研究の成果を医薬品として実用化に導くため、AMED創薬戦略部が本部機能を担い、理研、医薬健康研、産業技術総合研究所等との連携により、革新的医薬品の創出に向けた研究開発等を支援しています。

（参照： <https://www.amed.go.jp/program/list/06/network.html>）

注2 「創薬支援推進事業—創薬支援インフォマティクスシステム構築—」は、医薬品や化合物に関する情報を格納した統合型データベースを構築し、新規化合物の代謝、毒性等を予測する多元的構造活性相関の手法を開発し、創薬支援に活用することを目的としています。

（参照： https://www.amed.go.jp/program/list/06/03/001_02-02.html）



インシリコの統合解析プラットフォーム（商用版）概要図

学習データ作成機能、予測モデル作成機能、リデザイン機能など、商用版独自の機能を搭載しています。ユーザフレンドリーなインターフェースの搭載により、メディシナルケミストでも予測モデルを作成・改良することが可能です。商用版独自モデルから創薬支援推進事業発の予測モデル^(注3)まで、様々な予測が可能です。

注3 「創薬支援推進事業—創薬支援インフォマティクスシステム構築—」の研究成果である薬物動態・心毒性・肝毒性モデル

商標について

- 記載されている製品名などの固有名詞は、各社の商標または登録商標です。

報道関係からのお問い合わせ先

- **国立研究開発法人 医薬基盤・健康・栄養研究所**

国立研究開発法人 医薬基盤・健康・栄養研究所 戦略企画部 戦略企画課 〒567-0085 大阪府茨木市彩都あさぎ7-6-8

Tel : 072-641-9832 Fax : 072-641-9821

E-mail : kikaku@nibiohn.go.jp

- **国立研究開発法人 理化学研究所**

国立研究開発法人 理化学研究所 広報室 報道担当

Tel : 048-467-9272 Fax : 048-462-4715

E-mail : ex-press@riken.jp

- **学校法人 明治薬科大学**

学校法人 明治薬科大学 総務部 広報課

産学連携・研究支援室

Tel : 042-495-8615 Fax : 042-495-8612

E-mail : koho@my-pharm.ac.jp

- **株式会社 富士通九州システムズ**

株式会社 富士通九州システムズ

未来社会ソリューション本部 ソーシャルICTソリューション部

Tel : 092-260-6230 Fax : 092-411-6839

E-mail : fjqs-ccs@cs.jp.fujitsu.com

プレスリリースに記載された製品の価格、仕様、サービス内容などは、発表日現在のものです。その後予告なしに変更されることがあります。あらかじめご了承ください。

[コンテンツ利用条件](#)

[個人情報保護ポリシーについて](#)

[商標について](#)

[お問い合わせ](#)

[富士通ホームへ](#)

Copyright 1994 - 2021 FUJITSU



ホーム > お知らせ > プレスリリース > プレスリリース（2019年） >

CBI学会へ薬理活性・薬物動態・毒性スクリーニング統合Webシステムを出展

PRESS RELEASE

2019年10月10日

株式会社富士通九州システムズ

CBI学会へ薬理活性・薬物動態・毒性スクリーニング統合Webシステムを出展

当社は、10月22日（火曜日）から24日（木曜日）にかけて開催されるCBI学会^(注1)2019年大会において、薬理活性・薬物動態・毒性スクリーニング統合Webシステムを出展します。

本年のCBI学会は、「構造生物学と情報科学の真の融合を目指して～AI時代の新創薬化学～」を年会テーマとして開催されます。

ブースでは、薬の毒性・薬物動態予測をおこなう「ADMEWORKSシリーズ」、薬物併用時の薬物相互作用を予測する「DDI Simulator」のほか、薬物動態関連たんぱく質・薬物の相互作用情報を文献から収載した「ADME Database」を出展します。プレスリリースを見て事前にご連絡いただいた方には、個別相談会も実施しております。是非、当社ブースまでご来臨賜りますよう、お願い申し上げます。

CBI学会2019年大会


- 期間：2019年10月22日（火曜日）～10月24日（木曜日）

- URL：[CBI学会2019年大会](#) 

当社出展期間

- 10月22日（火曜日）10時～19時30分
- 10月23日（水曜日）10時～19時
- 10月24日（木曜日）10時～15時

会場

- タワーホール船堀 1階 展示ホール ブース番号25
〒134-0091 東京都江戸川区船堀4-1-1
- URL：<http://www.towerhall.jp/>（[タワーホール船堀](#) | [ホーム](#)） 

当社出展ソリューション

1. 薬理活性・薬物動態・毒性スクリーニング統合Webシステム「**ADMEWORKSシリーズ**」
「ADMEWORKSシリーズ」は、化学物質や薬物などの安全性と体内における変化を、コンピュータ上で評価するためのシステムです。製薬企業における新薬開発にだけ用いられるのではなく、動物実験代替法への関心が高まっていることもあり、化学メーカーや化粧品メーカーでもご利用いただいております。インハウスデータを使用した予測モデルの構築も可能です。
2. **PhysChem/ADME/Tox予測・評価ソフト「ACD/Percepta」**
「ACD/Percepta」は、各種物性、薬物のADME(吸収、分布、代謝、排泄)、および毒性をコンピュータ上で評価するソフトウェアです。吸収に関する物性、分布容積、たんぱく結合、代謝部位、血中濃度推移等のADME特性、急性毒性、遺伝毒性などを、化合物の構造から得られる情報をもとに予測します。
3. 薬物相互作用シミュレーションソフト「**DDI Simulator**」
「DDI Simulator」は、医薬品開発過程において必要とされる薬物の併用投与時に薬効・副作用発現の変動を引き起こしうる薬物動態学的相互作用の程度を、薬物動態パラメータの情報に基づき予測するためのソフトウェアです。被相互作用薬の挙動を、生理学的薬物速度論モデルを用いたシミュレーションにより定量的かつ高精度に予測します。

4. 薬物代謝酵素P450/トランスポーターに関するデータベース「ADME Database」

「ADME Database」は、クロアチアのレンディック博士^(注2)が、文献から収集したヒトの薬物動態関連たんぱく質・薬物の情報^(注3)データベースです。薬物の吸収、分布、代謝、排泄に関わるチトクロームP450^(注4)、その他の薬物代謝酵素と薬物トランスポーター^(注5)情報を収載しています。

商標について

- 記載されている製品名などの固有名詞は、各社の商標または登録商標です。

用語説明

注1 CBI学会:

化学（Chemistry）、生物学（Biology）、情報計算学（Informatics）という3つの学問分野に関わる先端的な研究開発の基盤構築をめざす非営利の学術任意団体です。

注2 レンディック博士:

レンディック博士は、薬物動態分野の著名な研究者です。

注3 薬物動態関連たんぱく質・薬物の情報:

投与された薬物が作用発現部位に到達する過程における、吸収、分布、代謝、排泄などに関連するたんぱく質情報です。

注4 チトクロームP450:

薬物を体外に排泄されやすい形に代謝する酵素です。

注5 トランスポータ:

薬物を輸送するたんぱく質です。

関連リンク

➤ 薬理活性・薬物動態・毒性スクリーニング統合Webシステム「ADMEWORKSシリーズ」

PhysChem/ADME/Tox予測・評価ソフト「ACD/Percepta」

➤ 薬物相互作用シミュレーションソフト「DDI Simulator」

➤ 薬物代謝酵素P450/トランスポーターに関するデータベース「ADME Database」

本件に関するお問い合わせ

お問い合わせ

富士通株式会社 ソーシャルデザイン事業本部 デジタルラボ事業部



お電話・メールでのお問合せ（富士通サイトへ）

プレスリリースに記載された製品の価格、仕様、サービス内容などは、発表日現在のものです。その後予告なしに変更されることがあります。あらかじめご了承ください。

[コンテンツ利用条件](#)

[個人情報保護ポリシーについて](#)

[商標について](#)

[お問い合わせ](#)

[富士通ホームへ](#)

Copyright 1994 - 2021 FUJITSU



[ホーム](#) > [お知らせ](#) > [プレスリリース](#) > [プレスリリース（2019年）](#) >

[メディア業界向け財務・管理会計、人事・給与システム「@MEDIA II」リリース](#)

PRESS RELEASE

2019年10月1日

株式会社富士通九州システムズ

メディア業界向け財務・管理会計、人事・給与システム「@MEDIA II」リリース ～定型業務自動化によるお客様の業務効率化の実現と働き方改革に 貢献～

当社は、メディア業界向け財務・管理会計、人事・給与パッケージシステム「@MEDIA」のバージョンアップ版として「@MEDIA II」を2019年10月にリリースいたします。

「@MEDIA II」は、従来の「@MEDIA」の機能を継承しながら、定型伝票の自動作成や、法令順守チェック強化など様々な追加機能を実装することで、現場・管理部門の業務効率化を実現し、お客様の働き方改革に貢献します。

リリースに先駆け、2019年9月から販売活動を開始しています。

当社では、1995年から民間放送局の財務・管理会計、人事・給与業務を支援する管理系業務パッケージ「ONAIR」および「@MEDIA」を提供してきました。

現在、民間放送局をはじめとするメディア業界においても、現場・管理部門業務のさらなる業務効率化と働き方改革が重要な経営課題の1つとなっています。

今回のバージョンアップにより、お客様の業務効率化と働き方改革の推進に貢献いたします。

販売価格、および出荷時期

製品名	パッケージ価格（税抜）	出荷時期
財務・管理会計システム △Fine@MEDIA II	お問合せ先にご連絡下さい	2019年10月～
人事・給与システム △Hour@MEDIA II	お問合せ先にご連絡下さい	2019年10月～

本製品の特長

- 働き方改革への貢献
 - 伝票作成業務の削減を可能に
毎月、毎年作成する定型的な会計伝票を自動作成する機能を追加しました。本機能により、会計伝票作成業務を約30%削減(当社調査値)することが可能となりました。
 - 社員自身による労務管理を支援
全社員の年次有給休暇・法定外時間の見える化や、時間外超過・年次有給休暇未取得の警告メールを自動通知することにより、現場・管理部門のチェック業務の分散化が可能です。
- メディア業界固有の機能を継承
「ONAIR」「@MEDIA」で実装しているメディア業界固有の機能を継承しています。また、これまでの導入で培ったノウハウは、ソリューションや部品として提供いたします。
- WEBアプリケーション基盤の刷新
これまでのInternet Explorerに加え、お客様のニーズが多くあったGoogle Chromeブラウザが利用できるようになりました。また、最新のUI/UXデザインを採用しています。

製品体系

メディア業界向け 財務・管理会計パッケージ

製品名

Fine@MEDIA II

特長

- 定期的に起票する伝票を、自動作成することが可能です。【新規】
- 銀行の入金データを基に、債権の入金・消込伝票を作成することが可能です。【新規】
- 報酬源泉、仮払精算、謝品管理、番組予実といった特徴的な業務をカバーしています。
- 連結会計システムやBIツールとの連携のためのインターフェースを実装しています。

メディア業界向け 人事・給与パッケージ

製品名

Hour@MEDIA II

特長

- 法定外労働時間や年休5日の見える化とメール警告機能を実装しています。【新規】
- 現場起票の申請書をワークフローで回送・承認できます。（各種テンプレートあり）
- シフト勤務・裁量・フレックスに対応した就業管理機能を実装しています。
- プロジェクト単位にタイムチャージができ、人件費管理ができます。

動作環境

[APサーバ/DBサーバ]

Microsoft Windows Server 2016以上

[クライアント]

Microsoft Windows 10が動作するPC/AT互換機

[ブラウザ]

GoogleChrome76（推奨）、Microsoft Edge44、InternetExplorer11

[データベース]

EDB Postgres11.4

[提供形態]

自社導入（オンプレミス）、クラウドセンター利用（PaaSサービス）

関連リンク

- メディア向け財務・管理会計ソリューション Fine@MEDIA紹介サイト
- メディア向け人事・給与ソリューション Hour@MEDIA紹介サイト


商標について

- 記載されている製品名などの固有名詞は、各社の商標または登録商標です。

本件に関するお問い合わせ

お電話によるお問い合わせ

社会ソリューション本部 第三社会基盤ソリューション部 放送グループ

 092-260-6217

受付時間 9時～17時（土曜・日曜・祝日・当社指定の休業日を除く）

プレスリリースに記載された製品の価格、仕様、サービス内容などは、発表日現在のものです。その後予告なしに変更されることがあります。あらかじめご了承ください。

コンテンツ利用条件

個人情報保護ポリシーについて

商標について

[お問い合わせ](#)

[富士通ホームへ](#)

Copyright 1994 - 2021 FUJITSU



ホーム > お知らせ > プレスリリース > プレスリリース (2019年) >

緑十字展2019にスマート安全帯ソリューションを共同出展

PRESS RELEASE

2019年10月1日

株式会社富士通九州システムズ


緑十字展2019にスマート安全帯ソリューションを 共同出展

当社は、10月23日（水曜日）から25日（金曜日）にかけて開催される緑十字展^(注1)において、藤井電工株式会社（本社：兵庫県加東市、代表取締役：藤井信孝、以下「藤井電工」）の展示ブースで高所作業者の安全管理をサポートするスマート安全帯ソリューションを共同出展いたします。

緑十字展は「働く人の安心づくりフェア」in 京都をテーマに、職場の安全衛生を普及・促進し、労働災害の防止、働く人の心身両面にわたって健康で快適な職場環境づくりに関する安全と健康の最新情報と技術をご紹介します、わが国最大の展示会です。また、全国の事業場の安全衛生関係者等が一堂に会する「全国産業安全衛生大会」と併催しており、事業場の労働災害防止活動に広く活用されています。

藤井電工ブースでは、実際にスマート安全帯^(注2)を着用した展示員によるアラート実演、管理者向けダッシュボード画面などを体験していただけます。是非、ご来臨賜りますよう、お願い申し上げます。

緑十字展2019

-
- 期間：2019年10月23日（水曜日）～10月25日（金曜日）
 - URL：[緑十字展2019](#) 

会場

- 京都パルスプラザ（京都市伏見区竹田鳥羽殿町5）

共同出展ソリューション

- スマート安全帯ソリューション

スマート安全帯ソリューションは、高所作業者が着用したスマート安全帯の使用状況をクラウド上で収集・管理し、危険状態にあることを管理者にアラート通知します。作業現場だけでなく遠隔地でも作業者の状態を把握することで安全管理をサポートするソリューションです。スマート安全帯ソリューションを活用することで、従来、人の注意力に頼ってきた安全管理に対し、ICTによる作業部門の見える化と作業員の安全確保を実現するとともに、墜落や転落による重篤な労働災害の未然防止、安全教育での活用等、新たな価値を提供します。

商標について

- 記載されている製品名などの固有名詞は、各社の商標または登録商標です。

注釈


注1 緑十字展:

中央労働災害防止協会(JISHA)が主催する全国産業安全衛生の展示会

注2 スマート安全帯:

藤井電工製のBluetooth Low Energy(BLE)モジュール・センサ付き安全帯（イプロンII）


関連リンク

＞ [スマート安全帯ソリューション](#) 

本件に関するお問い合わせ

お電話によるお問い合わせ

エンジニアリングソリューション本部 デジタルシミュレーション部

 092-260-6225

受付時間 9時～17時（土曜・日曜・祝日・当社指定の休業日を除く）

メールでのお問い合わせ

スマート安全帯ソリューションに関するお問い合わせ

 [入力フォーム](#)

当社はセキュリティ保護の観点からSSL技術を使用しております

プレスリリースに記載された製品の価格、仕様、サービス内容などは、発表日現在のものです。その後予告なしに変更されることがあります。あらかじめご了承ください。

[コンテンツ利用条件](#)

[個人情報保護ポリシーについて](#)

[商標について](#)

[お問い合わせ](#)

[富士通ホームへ](#)

Copyright 1994 - 2021 FUJITSU



[ホーム](#) > [お知らせ](#) > [プレスリリース](#) > [プレスリリース（2019年）](#) >

「ICAD/SML」が歩留まりを高め、使いやすさ、豊富な機能、スピードで生産性を向上

PRESS RELEASE

2019年9月30日

株式会社富士通九州システムズ

「ICAD/SML」が歩留まりを高め、使いやすさ、豊富な機能、スピードで生産性を向上

ステンレス鈑金・加工のプロフェッショナル集団である株式会社宏起工業様（本社：埼玉県さいたま市、代表取締役 土井孝夫氏、以下、宏起工業様）。同社は、1985年に富士通九州システムズ（以下、FJQS）から2次元版の「iCAD SX」と「ICAD/SML」を導入。ステンレスの鈑金加工に特化した技術とCAD/CAMシステムを融合し、独自のステンレス鈑金加工システムを実現してきました。

今後も、「iCAD SX」および3次元板金設計支援システム「ICAD/SML」を活用することで、3D時代に向けても積極的にチャレンジしていく方針です。

背景と導入効果

宏起工業様は、ステンレス鈑金・加工技術を強みに、食品加工設備、空調設備、環境試験機、理化学機器、医療関連機器、厨房設備など、幅広い業種の鈑金加工を手掛けています。同社において、汎用的なCADソフトや加工機械の付属ソフトでは、高い歩留まりが望めなかったことから、1985年にUNIX OS（EWS）版のiCAD SXとICAD/SMLを導入しました。iCAD SXがPCに移植された後も2次元主体で

フルに活用することで生産性向上を実現してきました。

iCAD SXを長年使い続けてきた同社が、高く評価するのは操作性です。汎用的なCADソフトや加工機械の付属ソフトに比べて、iCAD SXは図面の描きやすさ、スピード、そして機能が充実しており、部品点数が増えても動作が軽快なため設計者にストレスを与えないと評価されています。

今後の展開

最近では、3Dプリンタなどをはじめ、板金業界にも3Dを取り入れようという動きが出てきたことから、宏起工業様でも2018年にFJQSから3次元のiCAD SXと板金部品の3次元モデリングを可能にするiCAD/SMLを導入。お客様から渡された3Dデータの展開に3次元のiCAD SXを使用したり、3Dモデルを展開図にして加工機のNCデータにするためにiCAD/SMLを活用しています。

今後は、2次元に軸足を置きながらも、3次元技術の習得に取り組み、新しい加工技術への対応を積極的に進めていく方針です。

本製品の特長


「iCAD SX」は、機械・装置設計の製品形状や設計プロセスに最適化した2次元／3次元CADシステムです。図面の描きやすさ、豊富なコマンド、高速処理を特長としており、膨大な部品を扱う設計でも軽快に動作します。

「iCAD/SML」は、iCAD SX上で板金部品のモデリング機能を提供する設計支援システムです。板金部品とそれ以外の部品を同一の環境で扱うことができるため、部品の干渉チェックなどによって、板金設計の作業効率を向上することができます。

商標について

- 記載されている製品名などの固有名詞は、各社の商標または登録商標です。


関連リンク

- ＞ 株式会社宏起工業 様導入事例
- ＞ 機械装置向け3次元CAD FUJITSU Manufacturing Industry Solution iCAD SX （富士通サイト）
- ＞ 3次元板金設計支援システム ICAD/SML

本件に関するお問い合わせ

お電話によるお問い合わせ

エンジニアリングソリューション本部 エンジニアリング営業部

 03-6424-9942

受付時間 9時～17時（土曜・日曜・祝日・当社指定の休業日を除く）

メールでのお問い合わせ

PLMソリューションに関するお問い合わせ

 入力フォーム

当社はセキュリティ保護の観点からSSL技術を使用しております

プレスリリースに記載された製品の価格、仕様、サービス内容などは、発表日現在のものです。その後予告なしに変更されることがあります。あらかじめご了承ください。

[個人情報保護ポリシーについて](#)

[商標について](#)

[お問い合わせ](#)

[富士通ホームへ](#)

Copyright 1994 - 2021 FUJITSU



ホーム > お知らせ > プレスリリース > プレスリリース（2019年） >

第80回応用物理学会秋季学術講演会へ分子シミュレーションソフトを出展

PRESS RELEASE

2019年9月4日

株式会社富士通九州システムズ

第80回応用物理学会秋季学術講演会へ分子シミュレーションソフトを出展

当社は、9月18日（水曜日）から9月21日（土曜日）にかけて開催される第80回応用物理学会秋季学術講演会に、分子シミュレーションソフトを出展します。


当社ブースでは、計算化学の統合プラットフォーム「SCIGRESS」を展示します。

「SCIGRESS」は、原子・分子レベルの微細な挙動や性質を解析するシミュレーション・ソフトウェアです。低分子、高分子、結晶、アモルファス^(注1)など多岐にわたるモデリング機能や、分子軌道法^(注2)、分子動力学法^(注3)、密度汎関数法^(注4)など様々な計算化学の手法を搭載し、新材料、新素材の研究開発を支援します。

プレスリリースを見て事前にご連絡いただいた方には、個別相談会も実施しております。是非、当社ブースまでご来臨賜りますよう、お願い申し上げます。

第80回応用物理学会秋季学術講演会


- 期間：2019年9月18日（水曜日）～ 9月21日（土曜日）

- URL：[第80回応用物理学会 秋季学術講演会サイト](#) 

当社出展期間

- 9月 18日（水曜日）～ 9月20日（金曜日） 9時30分～18時
- 9月 21日（土曜日） 9時30分～12時

会場

- 北海道大学札幌キャンパス第2体育館（PB会場）小間No.Ba-15
〒060-0808 北海道札幌市北区北8条西5
- URL：[会場・アクセス | 第80回応用物理学会 秋季学術講演会](#) 

当社出展ソリューション

- **計算化学統合プラットフォーム「SCIGRESS」**
「SCIGRESS」は、容易な分子モデリング機能、多様な計算機能、強力な解析機能を操作性の高いGUI環境から操作できる分子シミュレーションソフトです。多くの計算手法（分子力学法、分子動力学法、分子軌道法、密度汎関数法）や解析機能を包含し、幅広い研究に活用していただけます。
「GAMESS」、「LAMMPS」、「QUANTUM ESPRESSO」、「PHASE」、「Gaussian」といった富士通製以外のアプリケーションとの連携も共通のGUIを介して円滑に行なうことが可能です。

商標について

- 記載されている製品名などの固有名詞は、各社の商標または登録商標です。

用語説明

注1 **アモルファス:**

原子配列が不規則で結晶構造を持たない物質の状態。

注2 **分子軌道法:**

分子の中の電子状態を解明するのに用いられる手法。

注3 **分子動力学法:**

ゆらいでいる分子の動きを追跡することで物質の性質を求める手法。

注4 **密度汎関数法:**

電子系のエネルギーなどの物性を電子密度から計算する理論に基づく電子状態計算法。

関連リンク

➤ [FUJITSU Technical Computing Solution SCIGRESS（サイグレス）](#)  [（富士通サイト）](#)

本件に関するお問い合わせ

お問い合わせ

富士通株式会社 ソーシャルデザイン事業本部 デジタルラボ事業部



お電話・メールでのお問合せ（富士通サイトへ）

プレスリリースに記載された製品の価格、仕様、サービス内容などは、発表日現在のものです。その後予告なしに変更されることがあります。あらかじめご了承ください。

[個人情報保護ポリシーについて](#)

[商標について](#)

[お問い合わせ](#)

[富士通ホームへ](#)

Copyright 1994 - 2021 FUJITSU



ホーム > お知らせ > プレスリリース > プレスリリース (2019年) >
ケミカルマテリアルJapan 2019へクラウド型SDS作成支援サービス「ezSDS」を出展

PRESS RELEASE

2019年9月4日

株式会社富士通九州システムズ

ケミカルマテリアルJapan 2019へクラウド型SDS作成支援サービス「ezSDS」を出展


当社は、9月18日（水曜日）～9月19日（木曜日）に開催される『ケミカルマテリアルJapan 2019』に、日本ケミカルデータベース株式会社（JCDB）と共同開発したクラウド型SDS^{（注1）}作成支援サービス「ezSDS」を出展します。

『ケミカルマテリアルJapan 2019』で実施される『化学物質管理ミーティング』は、化学物質を適正に管理するためのシステムや最新情報を提供する事業者と化学物質管理で悩みを抱える事業者の双方を結びつける国内唯一の情報交流展であり、（株）化学工業日報社の主催で開催されます。


当日は、共同開発したJCDB社によるプレゼンテーション「東南アジア最新法規情報とJCDB製品のご紹介」を予定しております。

ケミカルマテリアルJapan2019

- 会期：2019年9月18日（水曜日）～9月19日（木曜日） 9時～17時

- URL：[トップページ](#)|[ケミカルマテリアルJapan](#) 

会場

- パシフィコ横浜 ホールC・D 小間 M-20
(横浜市西区みなとみらい1-1-1)
- URL：[アクセスマップ](#)|[ケミカルマテリアルJapan](#) 

プレゼンテーション

- プレゼンター：JCDB社
- テーマ：「東南アジア最新法規情報とJCDB製品のご紹介」
- 日時：9月18日（水曜日）14時～、9月19日（木曜日）14時～

ezSDSの特長

1. クラウド型による低価格を実現
「クラウド型でSDS作成機能を提供しており、投資費用を最小限に抑えることができます。また、運用費用削減へ貢献できます。
2. 最新の「化学物質データベース」の情報を搭載
豊富な化学品情報を独自で持つJCDB社と協業し、最新の「化学物質データベース」を搭載しています。また、陳腐化を防ぐため、定期メンテナンスを実施しております。
3. 外国語（英語）変換機能を搭載
外国語変換機能により、国内向けSDSの英語版が作成可能です。化学製品輸出入時の参考情報として、英訳したSDSを活用できます。
4. **GHS分類ツールの対応**
経済産業省が公開しているGHS混合物分類判定システム（GHS分類ツール）に準拠した機能を搭載しています。（注意書き絞り込み機能 他）
5. 専用サポート体制による安心な運用支援
ご契約者様専用のezSDSサポート窓口を用意しております。製品操作からSDS作成に関するお問い合わせ

合わせ全般について、JCDB社と連携したサポート体制で運用を支援いたします。

商標について

- 記載されている製品名などの固有名詞は、各社の商標または登録商標です。

用語説明

注1 SDS:

Safety Data Sheetの略称。安全データシート。化学品の有害性等に関する情報シートで化学品の取引時に提供し、使用者の安全な取扱いに活用します。

関連リンク

➤ クラウド型SDS作成支援ツール ezSDS

本件に関するお問い合わせ

お電話でのお問い合わせ

官公庁ソリューション本部
テクニカルサポートセンター 担当：井上



096-287-2157

受付時間 9時～17時（土曜・日曜・祝日・当社指定の休業日を除く）

メールでのお問い合わせ

ezSDS

に関するお問い合わせ

 fjqs-ezsds@cs.jp.fujitsu.com

プレスリリースに記載された製品の価格、仕様、サービス内容などは、発表日現在のものです。その後予告なしに変更されることがあります。あらかじめご了承ください。

[コンテンツ利用条件](#)

[個人情報保護ポリシーについて](#)

[商標について](#)

[お問い合わせ](#)

[富士通ホームへ](#)

Copyright 1994 - 2021 FUJITSU



ホーム > お知らせ > プレスリリース > プレスリリース（2019年） >

スポーツスクール事業者様向けクラウドサービス「スマホdeコーチ」新サービスメニューを提供開始

PRESS RELEASE

2019年9月2日

株式会社富士通九州システムズ

スポーツスクール事業者様向けクラウドサービス 「スマホdeコーチ」新サービスメニューを提供開始

2017年4月から提供しているスポーツスクール事業者様向けクラウドサービス「スマホdeコーチ」に新しいサービスメニューを追加し、9月2日（月曜日）から提供を開始します。

お客様のニーズに合わせて、「プレミアム」「スタンダード」「フリー（広告表示あり）」の3つのサービスメニューをご用意しました。また、すべてのサービスメニューについて、最長6ヶ月間の無料トライアル^(注1)が可能となっております。これを機会にぜひお気軽にご利用ください。

製品名

- スマホdeコーチ（すまほでこーち）

サービスメニュー概要

お客様のニーズにお応えできるよう、既存のサービスに加えて新たに2つのサービスメニューを追加いたしました。

- プレミアム（2017年4月提供済）
スマホdeコーチのすべての機能がご利用いただけます。
- スタンダード（今回追加）
プレミアムより低価格でご利用いただけます。動画撮影時間（再生時間）およびコンテンツ（画像、動画）保存期間がプレミアムより短くなっています。
- フリー（今回追加）
スマホdeコーチの画面に広告が表示されます。サービス利用料が一切発生しない、無料でご利用いただけるメニューになります。表示される広告はスポーツスクール事業者様で指定、選択することはできません。

各サービスメニュー比較表

機能	サービスメニュー		
	プレミアム	スタンダード	フリー
広告表示	－	－	あり
コーチングメッセージ	○	○	○
スクール映像	○	○	○
お知らせ	○	○	○
出欠管理	○	○	○
アンケート	○	○	○
日記	○	○	○
問合せ	○	○	○

サブアカウント	○	○	○
動画撮影（再生）時間	5分	3分	1分
コンテンツ（画像、動画）保存期間	最長3年間	最長1年間	最長3ヶ月間
ダッシュボード	○	×	×
価格（スクール生一人あたり）	500円/月	250円/月	0円/月

提供時期

2019年9月2日（月曜日）から

商標について

- 記載されている製品名などの固有名詞は、各社の商標または登録商標です。

注釈


注1 無料トライアル：
トライアル利用終了時に正式ご契約されるか否かご検討いただきます。トライアル後に正式利用契約をいただいた場合は、トライアル環境をそのままご利用可能です。ただし、インターネット通信料等はお客様のご負担となります。

関連リンク

本件に関するお問い合わせ

お電話によるお問い合わせ

セキュリティ&ソーシングソリューション本部
ソーシングソリューション部

 097-534-9413

受付時間 9時～17時（土曜・日曜・祝日・当社指定の休業日を除く）

メールでのお問い合わせ

スマホdeコーチに関するお問い合わせ

 [入力フォーム](#)

当社はセキュリティ保護の観点からSSL技術を使用しております

プレスリリースに記載された製品の価格、仕様、サービス内容などは、発表日現在のものです。その後予告なしに変更されることがあります。あらかじめご了承ください。

[コンテンツ利用条件](#)

[個人情報保護ポリシーについて](#)

[商標について](#)

[お問い合わせ](#)

[富士通ホームへ](#)

Copyright 1994 - 2021 FUJITSU



[ホーム](#) > [お知らせ](#) > [プレスリリース](#) > [プレスリリース（2019年）](#) >

クラウド型スマホアプリの導入でスクール運営の課題を解決

PRESS RELEASE

2019年8月28日

株式会社富士通九州システムズ

クラウド型スマホアプリの導入でスクール運営の課題を解決

当社は、Jリーグ（日本プロサッカーリーグ）所属の大分トリニータ様が運営する大分トリニータサッカースクールにスポーツスクール事業者様向けクラウドサービス「スマホdeコーチ」を提供いたしました。

スクール運営の効率化、スクール生や保護者とのコミュニケーション活発化に加え、練習内容を動画で振り返れることで、スクール生のスキルアップ、さらにはコーチの指導スキル底上げにも貢献しています。

導入の背景

「大分トリニータサッカースクール」では、年少から小学6年生までを対象とした各クラスを大分県内8か所で開設しています。現在、約370名のスクール生が所属しており、欠席や雨天時のスクール中止を保護者、コーチに伝達するなどの事務作業の負荷が大きく、また急な変更に対応しきれない面に悩みを抱えていました。また、指導の現場では、スクール当日に直接話をする以外に、スクール生や保護者とコーチがコミュニケーションを図る機会がなく、次の練習日までの間をつなぐ方法を模索し

ていました。

導入効果

「スマホdeコーチ」の導入により、スクール生一人ひとりのレッスン予定カレンダーに休校が反映され、レッスン日振替の連絡、各スクール生がどのレッスンに振り替えられたかのチェックが容易になりました。一方で、スクール生からの欠席、早退、遅刻の連絡もアプリ上で一括管理。レッスン直前での欠席などにも対応できるため、事務作業が大幅に効率化されています。

このアプリではレッスンの様子を動画で共有できます。そのため、仕事でレッスンを見学できない保護者もスクール内容の把握が容易に可能で、休日に動画を見ながら親子で練習するなど、家族のコミュニケーションツールとしても活用され、スクール生のスキルアップに対する効果も大きなものです。さらに、各スクール生が日頃の練習内容などを書き込む「スポーツ日記」機能を利用することで、コーチと目標を共有でき、練習に取り組むモチベーションがアップすることから、スクールとスクール生、保護者それぞれのコミュニケーションが活発化しています。また、動画の共有は、スクール生だけでなくコーチにとっても有益で、離れた場所で行われている全スクールの練習を見ることが可能となり、コーチ同士で練習プログラムの組み方を参考にして、指導のバリエーションや質の向上へと役立てています。

本製品の特長

練習風景を動画で共有できるうえ、出欠確認やお知らせ配信機能で、事務作業の効率化、保護者への確実な情報伝達を実現します。SaaS型サービスなので、各スクールの要望に応じて追加された機能は、標準版として他のスクールのアプリでも使用できます。また、サーバの設置が不要で、月額使用料のみで利用可能です。初期投資の必要がなく、手軽に導入できるという点も特長です。

商標について

- 記載されている製品名などの固有名詞は、各社の商標または登録商標です。


関連リンク

- ＞ 大分トリニータサッカースクール（株式会社大分フットボールクラブ）様導入事例
- ＞ スマホdeコーチ

本件に関するお問い合わせ

お電話によるお問い合わせ

セキュリティ&ソーシングソリューション本部
ソーシングソリューション部

 097-534-9413

受付時間 9時～17時（土曜・日曜・祝日・当社指定の休業日を除く）

メールでのお問い合わせ

スマホdeコーチに関するお問い合わせ

 入力フォーム

当社はセキュリティ保護の観点からSSL技術を使用しております

プレスリリースに記載された製品の価格、仕様、サービス内容などは、発表日現在のものです。その後予告なしに変更されることがあります。あらかじめご了承ください。

コンテンツ利用条件

個人情報保護ポリシーについて

[商標について](#)

[お問い合わせ](#)

[富士通ホームへ](#)

Copyright 1994 - 2021 FUJITSU

[ホーム](#) > [お知らせ](#) > [プレスリリース](#) > [プレスリリース（2019年）](#) >[WeWork Ginza Sixでミートアップイベント開催！共創活動を積極推進](#)

PRESS RELEASE

2019年8月27日

株式会社富士通九州システムズ

WeWork Ginza Sixでミートアップイベント開催！ 共創活動を積極推進

当社は、2019年7月2日（火曜日）にWeWork Ginza Sixにおいてミートアップイベントを開催いたしました。

イベントでは、WeWork Ginza Six内の入居企業に当社の活動をアピールし、交流を深めました。今後もWeWork Ginza Sixを起点とした共創活動を積極的に推進してまいります。

イベント詳細情報

タイトル

Q's Party^{1st} season

富士通九州システムズが～Ginza Sixで～WeWorkと～出会った～

日時

2019年7月2日（火曜日）18時～20時30分

開催場所

Ginza Six 13F WeWorkコミュニティスペース

内容

- 当社ご紹介（会社概要、新規取組み、OSS事例、Pictone）
- ミートアップ（名刺交換、歓談）

参加者数

約50名 ※関係者含む

イベント終了後、参加者より「大変盛り上がったイベントだった」「連携に向けて打合せを実施したい」など高評価のコメントを頂き、入居企業との連携に向けた取組みを開始いたしました。





当社は、事業戦略の1つに『No.1分野の確立』を掲げており、新規ビジネス創出プロセス変革の一環として、世界最大級のメンバー数を誇るコミュニティ型ワークスペースを提供するWeWorkのGinza Sixオフィスに2019年3月から入居しています。

当社におけるWeWork Ginza Six活用方針

新規ビジネス創出の新たなリファレンスモデル作りの場として活用する

1. 共創パートナー発掘
イベント参加・開催、コミュニティマネージャーによるマッチング等を活用し、共創パートナーを発掘
2. アイデア創出
入居メンバーとの日常的なコミュニケーションやアイデアソンを通じて、WeWork Ginza Six発のアイデアを創出



入居以来、当社の共創推進担当者がオフィスに常駐し、多業種の人々との交流を通じながら、新規サービスの開発を進めております。声優志望者向けアフレコ練習ソリューション『Pictone(ピクトーン)』もその1つであり、外部企業と連携してお客様のニーズに応える開発に取り組んでいます。

今後の活動

当社は、共創の場としてWeWork Ginza Sixに加えて、社内にFUJITSU KYUSHU SYSTEMS INCUBATION CENTER（DIY工房）を保有しているほか、福岡市主催の創業支援施設FUKUOKA GROWTH NEXTにもスポンサー企業として参画しております。会社の枠を超えたコミュニケーション空間を最大限に活用し、共創活動を推進してまいります。

WeWorkについて

The We Companyが提供するコミュニティ型ワークスペース




- 2010年アメリカで創業（本社：ニューヨーク市）
- 世界100都市に500ヶ所以上の拠点、26万人以上の会員
- 最大限のインパクトを生むスペース：フォーチュン 500 企業の約 3 割だけでなく、草の根の非営利

団体などからも幅広く集まった WeWork の多様性溢れるメンバーが、企業の垣根を超えて互いに刺激しあうことで、イノベーションがより推進され、コミュニティ意識が深まっています。

- コミュニティ：世界中にいる他のメンバーと繋がり、バーチャルで協働できるデジタルアプリ、新たなコネクションが生まれるイベント（公式および非公式）

（写真・文章引用：[WeWork | オフィスやワークスペースのソリューション](#)）

関連リンク

- [WeWork（紹介サイト）](#) 
- [Pictone（ティザーサイト）](#) 
- [FUJITSU KYUSYU SYSTEMS INCUBATION CENTER（紹介サイト）](#)
- [FUKUOKA GROWTH NEXT（紹介サイト）](#) 

商標について

- 記載されている製品名などの固有名詞は、各社の商標または登録商標です。

本件に関するお問い合わせ

お電話でのお問い合わせ

事業戦略本部 経営戦略室



092-260-6203

受付時間 9時～17時（土曜・日曜・祝日・当社指定の休業日を除く）

メールでのお問い合わせ

当社へのお問い合わせ



入力フォーム

当社はセキュリティ保護の観点からSSL技術を使用しております

プレスリリースに記載された製品の価格、仕様、サービス内容などは、発表日現在のものです。その後予告なしに変更されることがあります。あらかじめご了承ください。

コンテンツ利用条件

個人情報保護ポリシーについて

商標について

お問い合わせ

富士通ホームへ

Copyright 1994 - 2021 FUJITSU



ホーム > お知らせ > プレスリリース > プレスリリース（2019年） >

富士通九州システムズのセキュリティサービスが「情報セキュリティサービス基準適合サービスリスト」に登録

PRESS RELEASE

2019年8月6日

株式会社富士通九州システムズ

富士通九州システムズのセキュリティサービスが 「情報セキュリティサービス基準適合サービスリ スト」に登録

当社のセキュリティサービスが、独立行政法人情報処理推進機構（以下：IPA）が公開する「情報セキュリティサービス基準適合サービスリスト」に登録されました。

2018年2月に経済産業省が公開した「情報セキュリティサービス基準」^{（注1）}への適合が、審査登録機関である特定非営利活動法人 日本セキュリティ監査協会（以下：JASA）によって認められたものです。

当社は、今後もセキュリティ診断や監視サービス等により、お客様の安心・安全なビジネスの発展に寄与します。


当社登録サービス

脆弱性診断サービス



018-0067-20

[サービス登録番号：018-0067-20]


- 脆弱性マネジメントサービス
- JASA登録サービス一覧ページ（脆弱性診断サービス） 

セキュリティ監視・運用サービス



018-0067-40

[サービス登録番号：018-0067-40]



- セキュリティ監視サービス
- JASA登録サービス一覧ページ（セキュリティ監視・運用サービス） 

注釈

注1 情報セキュリティサービス基準：

一定の技術要件及び品質管理要件を満たし、品質の維持・向上に努めている情報セキュリティサービスを明らかにするための基準です。

関連リンク

- 情報セキュリティサービス基準及び情報セキュリティサービスに関する審査登録機関基準を策定しました（経済産業省）
<https://www.meti.go.jp/press/2017/02/20180228002/20180228002.html>
- 情報セキュリティサービス基準適合サービスリストの公開及び情報セキュリティサービスの提供状況の調査における審査登録機関の募集について（独立行政法人情報処理推進機構（IPA）） 
- 情報セキュリティサービス基準審査登録制度について（特定非営利活動法人 日本セキュリティ監査協会（JASA）） 


商標について

- 記載されている製品名などの固有名詞は、各社の商標または登録商標です。

本件に関するお問い合わせ

お電話でのお問い合わせ

セキュリティ&ソーシングソリューション本部
サイバーセキュリティセンター

 097-534-8119

受付時間 9時～17時（土曜・日曜・祝日・当社指定の休業日を除く）

メールでのお問い合わせ

セキュリティサービスに関するお問い合わせ

 fjqs-secservice@cs.jp.fujitsu.com

プレスリリースに記載された製品の価格、仕様、サービス内容などは、発表日現在のものです。その後予告なしに変更されることがあります。あらかじめご了承ください。

[コンテンツ利用条件](#)

[個人情報保護ポリシーについて](#)

[商標について](#)

[お問い合わせ](#)

[富士通ホームへ](#)



[ホーム](#) > [お知らせ](#) > [プレスリリース](#) > [プレスリリース（2019年）](#) >

BIツール「Naviイントラエース」に機能追加し、販売開始

PRESS RELEASE

2019年8月1日

株式会社富士通九州システムズ

BIツール「Naviイントラエース」に機能追加し、 販売開始

～ドラッグ＆ドロップ操作のみで簡単にダッシュボードを作成～

当社は、ブラウザ上で簡単操作、クイックレスポンスで動作するBI（Business-Intelligence）ツール「Naviイントラエース V7.0」を、8月1日から販売開始します。

本製品では、いつでも、簡単な操作で利用者自ら必要なダッシュボードを作成できる機能（プライベートBI機能）を追加しています。当社は、本製品をBIツールの中核と位置付け、積極的に販売いたします。

当社は、お客様に快適なBIツールご利用環境の提供を目指し、「Naviイントラエース」を販売しています。これまで1,200社を超えるお客様にご利用いただいております。

BIツールには様々なニーズがあり、特に利用者が必要な情報をダッシュボードとして表現、分析できる環境が求められています。こうした動向をふまえ「Naviイントラエース V7.0」では、ドラッグ＆ドロップ操作のみで『自分なり』のダッシュボードを即座に作成できる『プライベートBI機能』を追加いたしました。本機能の追加により、さらにお客様の利便性を向上し、BIツールの活用効果アップを目指します。

販売目標

国内において今後3年間で、300システムの販売を計画。

本製品の特長

1. プライベートBI機能の追加
利用者自身で、ダッシュボードを簡単に作成、分析できるプライベートBI機能を追加しました。従来の定型ダッシュボードと併せて、ダッシュボードの活用範囲がさらに広がります。
2. ワンクリック操作、クイックレスポンス
ホームページ感覚で画面上の気になる箇所をクリックするだけで、様々な分析が行なえます。夜間バッチ等で必要なデータを事前に抜き出しておくため、実行時のレスポンスが向上しています。
3. ビジュアルな表現
データの種類に応じて、帳票、グラフ、地図、ダッシュボードなど多数の表現方法があり、より効果的な分析や資料の作成にご活用いただけます。

動作環境

[サーバ]	Microsoft Windows 2012/2016 Server環境のサーバ
[クライアント]	Microsoft Windows 8.1/10 が動作するPC/AT互換機

関連リンク

➤ 「Naviイントラエース」紹介サイト


商標について

- 記載されている製品名などの固有名詞は、各社の商標または登録商標です。

本件に関するお問い合わせ

お電話でのお問い合わせ

未来社会ソリューション本部 アナリティクスソリューション部

 097-534-0402

受付時間 9時～17時（土曜・日曜・祝日・当社指定の休業日を除く）

メールでのお問い合わせ

Naviイントラエースに関するお問い合わせ

 入力フォーム

当社はセキュリティ保護の観点からSSL技術を使用しております

プレスリリースに記載された製品の価格、仕様、サービス内容などは、発表日現在のものです。その後予告なしに変更されることがあります。あらかじめご了承ください。

コンテンツ利用条件

個人情報保護ポリシーについて

商標について

お問い合わせ

[富士通ホームへ](#)

Copyright 1994 - 2021 FUJITSU



ホーム > お知らせ > プレスリリース > プレスリリース（2019年） >

決済中継サービスで加盟店におけるカード情報非保持化に対応した新サービスを提供開始

PRESS RELEASE

2019年7月26日

株式会社富士通九州システムズ

決済中継サービスで加盟店におけるカード情報非保持化に対応した新サービスを提供開始

当社は、従来から提供している決済中継サービス「Card-SaaS」（以下、本サービス）のサービスメニューに「カード番号保管サービス」を追加し、提供を開始しました。

カード番号保管サービスでは、加盟店様システムで利用しているクレジットカード番号を別の値（以下、トークン）に置換することで、現行運用を大きく変更することなくカード情報の非保持化を実現します。

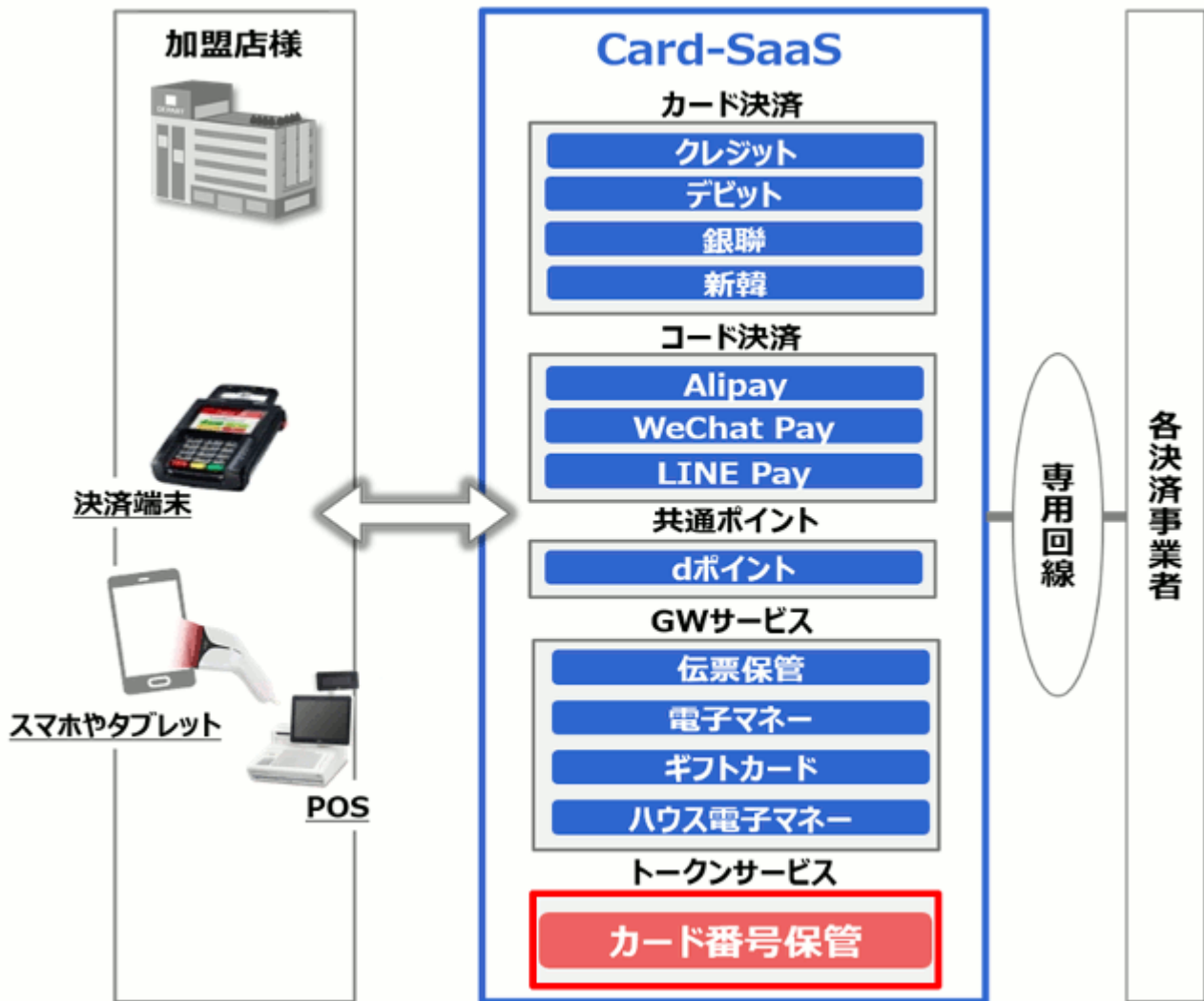
背景・概要

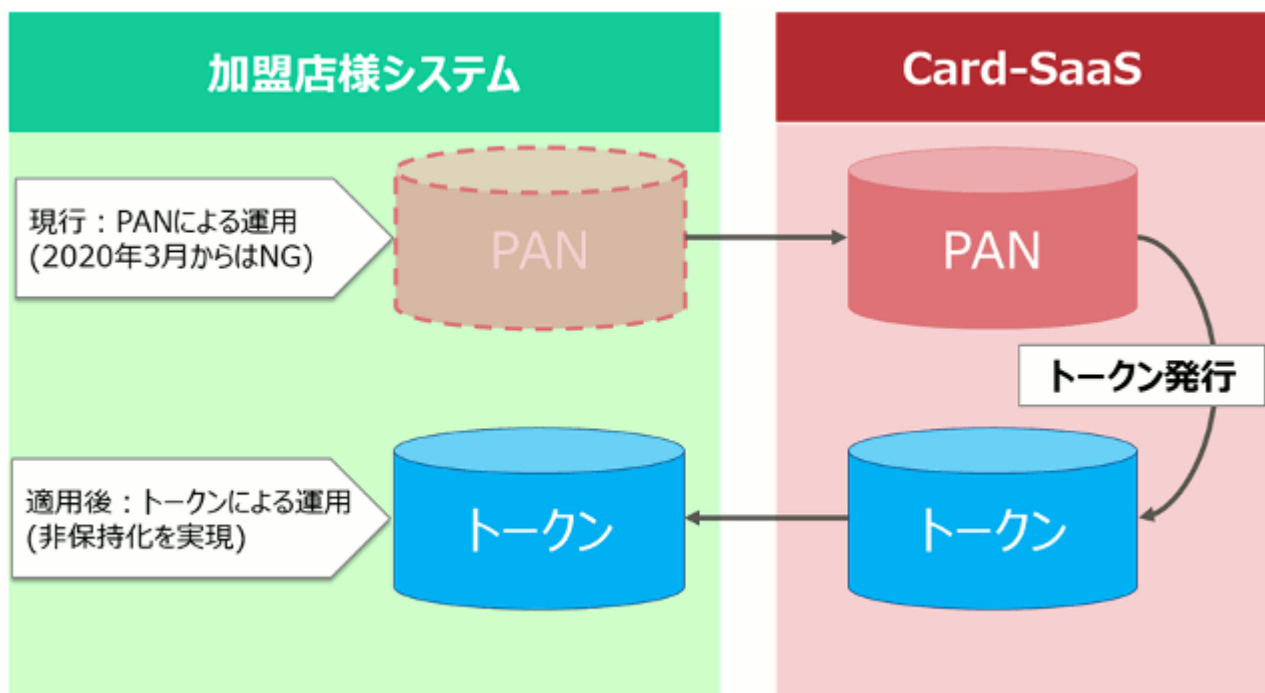
近年、決済業界では2020年に向けたクレジットカード取引における政府のセキュリティ対策方針「実行計画」^{（注1）}が発表され、2020年3月以降、原則として加盟店様システムでのポイント業務運用などにおけるクレジットカード番号（以下、PAN）の管理および使用ができなくなります。

前述の状況をふまえ、本サービスでは、機密データをトークンに置換することで、機密データを保護する技術である「トークナイゼーション」を利用した「カード番号保管サービス」の提供を開始しま

した。

本サービス内で、加盟店様よりお預かりしたPANに1対1で紐づくユニークなトークンを発行し、加盟店様へ提供します。加盟店様における各処理にはトークンをご利用いただくことで、カード情報の非保持化を実現します。





カード番号保管サービスの機能説明

1. トークン発行機能

加盟店様からお預かりしたPANに対して、個々のPANに紐づくトークンを発行します。本サービスは、クレジット業界セキュリティ国際基準“PCI DSS”認定済の高度なセキュリティ運用により、お預かりした情報を安全に保管します。

2. マスター連携機能

カード会社様からのPANマスター情報を本サービスのカード番号保管データベースに取り込みます。データベースに取り込んだデータからトークンマスター情報を作成し、加盟店様の環境や、必要に応じてポイントセンター様、カード会社様の環境へ送信します。当該機能によりPANからトークンへの置換が可能になり、現行運用の維持にご活用いただけます。

3. トークン照会機能

決済端末で暗号化されたPANを基に、PANに紐づくトークンを照会いただけるオンライン機能です。現行システムでのPANによる運用（ポイント業務運用等）をトークンによる運用へ変更するためにご活用いただけます。また、本サービスが提供するWeb画面機能にて、トークン照会の履歴から条件に該当するものを検索することも可能です。

サービス名称

Card-SaaS クレジット決済中継

クレジット、カード番号保管サービス

Card-SaaS 決済中継（即時引落とし型）

デビット、銀聯、新

韓、Alipay、WeChatPay、LINE Pay

「Card-SaaS」は、富士通^(注2)が提供するパーソナルデータ利活用プラットフォーム「FUJITSU Retail Solution CHANNEL Value」の決済中継サービスとしても提供をしております。

本サービスの特長

1. 小売企業向けの業務支援機能

小売業に精通している当社だからこそできるお客様の運用を意識した様々な業務支援機能を提供します。

- カード会社別（店舗別）の売上照会、リアルタイムの取引照会 等

2. 各加盟店要件に合わせたカスタマイズが可能

お客様の要件に合わせてカスタマイズが行なえる柔軟性の高いソリューションサービスを提供します。

3. 加盟店運用のセキュリティ対策ノウハウ

本サービスは、PCI DSS認証を取得しており、加盟店運用を意識したセキュリティ対策の支援が可能です。

動作環境

[決済中継機能]

- 本サービス仕様に基づくTCP/IP接続

[ファイル連携機能]

- HULFT8

[WEB帳票機能]

- Internet Explorer 11 まで
- Adobe Acrobat Reader DC 2015.008.20082 まで

注釈

注1 実行計画：

クレジットカード取引におけるセキュリティ対策の強化に向けた実行計画
(2017年3月に策定され、2019年3月に改訂)

注2 富士通：

富士通株式会社（代表取締役社長：時田 隆仁、所在地：東京都港区）

関連リンク

➤ 「Card-SaaS クラウド型クレジット決済サービス」紹介サイト


商標について

- 記載されている製品名などの固有名詞は、各社の商標または登録商標です。

本件に関するお問い合わせ

お電話でのお問い合わせ


産業流通ソリューション本部
第一流通ソリューション部 Card-SaaS 担当

 092-707-5640

受付時間 9時～17時（土曜・日曜・祝日・当社指定の休業日を除く）

メールでのお問い合わせ

Card-SaaSに関するお問い合わせ

 入力フォーム

当社はセキュリティ保護の観点からSSL技術を使用しております

プレスリリースに記載された製品の価格、仕様、サービス内容などは、発表日現在のものです。その後予告なしに変更されることがあります。あらかじめご了承ください。

コンテンツ利用条件

個人情報保護ポリシーについて

商標について

お問い合わせ

富士通ホームへ

[ホーム](#) > [お知らせ](#) > [プレスリリース](#) > [プレスリリース（2019年）](#) >[アナログメーター認識システムに機能追加し販売開始](#)

PRESS RELEASE

2019年7月10日

株式会社富士通九州システムズ

アナログメーター認識システムに機能追加し販売 開始

～ドラム式メーターとフロートメーターに対応～

当社は、アナログメーター認識システム「Fujitsu Software Imagepower Analog Meter Recognizer V02L03」の販売を7月11日から開始いたします。

本製品は、アナログメーターの読み取りを自動化し、人手による監視作業の負荷を軽減するソフトウェアです。最新版では、読み取り対象のメーターに「ドラム式メーター」と「フロートメーター」の2種類を追加いたしました。

当社は、今後もお客様と社会への貢献を目指した製品を提供してまいります。

Fujitsu Software Imagepower Analog Meter Recognizer V02L03の特長

1. メーター種類の拡張

お客様よりご要望の多かった以下のメーター種類に対応しました。

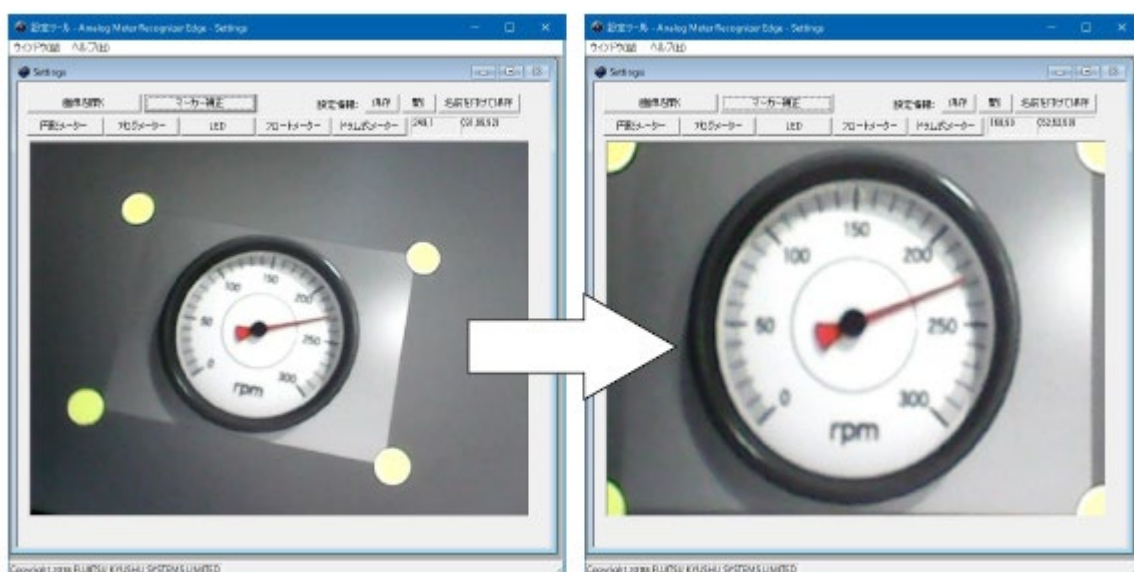
- ドラム式メーター（特許出願中）
- フロートメーター

対応しているメーター種類



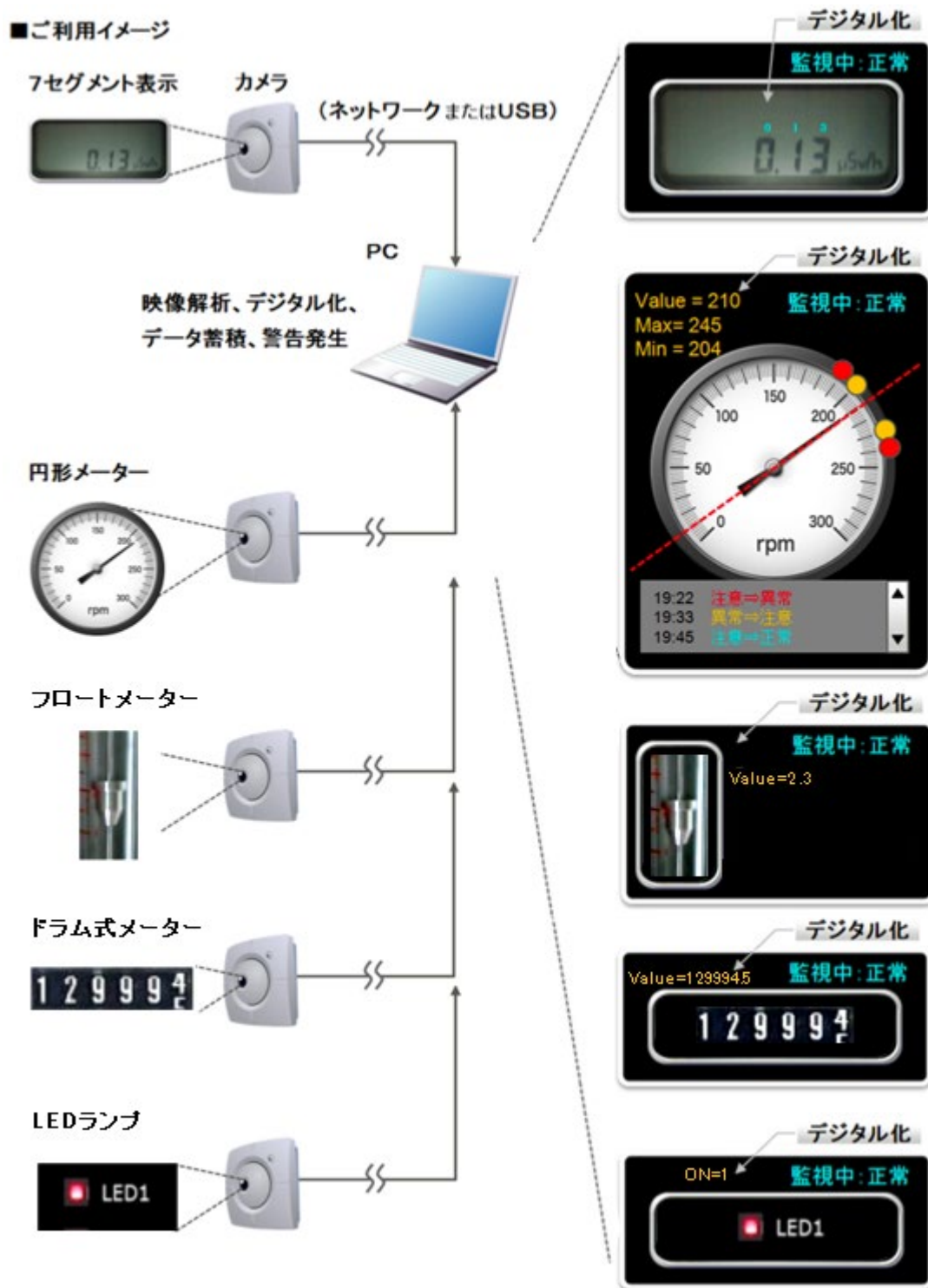
1. その他の機能強化

- 円形メーターとLEDの設定画面に、認識プレビュー機能を追加しました。
- 読み取りの前処理として「マーカー補正機能」を追加しました。メーターの撮影中にカメラの向きが多少変わっても、適切な認識が継続できるようにカメラ映像を補正する機能です。（特許登録済）



製品の概要

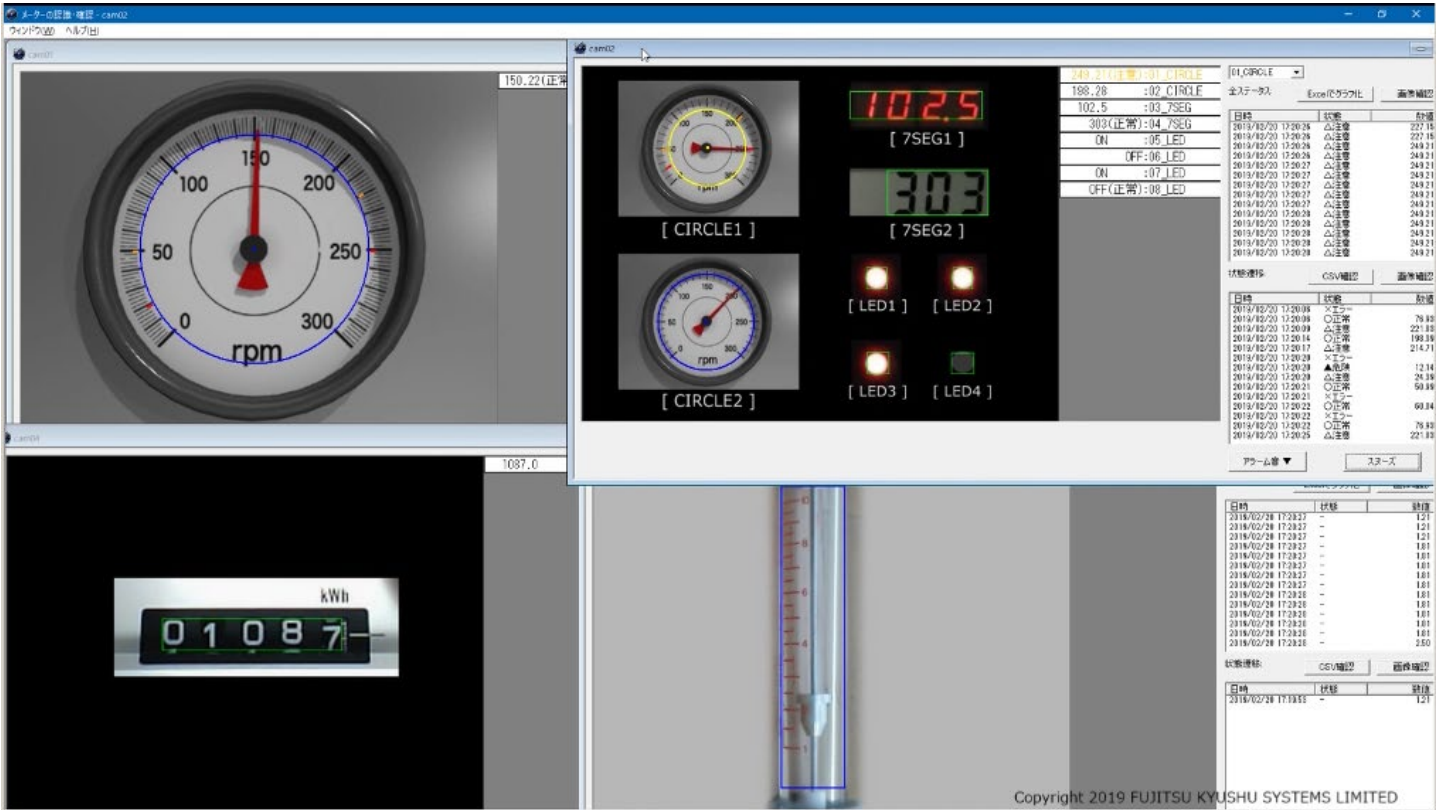
- アナログメーターで計測した値をデジタル化できます。デジタル化された値は、リアルタイムでパソコンに常時蓄積されます。
- 対象のメーターが遠隔地に点在する場合でも、計測値はすべて1か所の拠点で把握できます。
- 計測値に対し、「注意」「危険」のしきい値が設定できます。しきい値を超えるとアラームが鳴るよう設定できますので、人が常時、メーターを監視する必要がありません。万一、電力量や温度などの計測対象に異常が発生したときに、迅速な初動対応が可能になります。



- 複数メーターライセンス版では、1台のパソコンで4台のネットワークカメラが制御できます。カメラ1台あたり最大20個のメーターが読み取れます。円形メーターと7セグメントメーター、ドラム式メーターとフロートメーターとLEDランプなど、メーター種類を組み合わせでの認識が可能です。

(下図運用例の右上に示す画面を参照)

カメラ4台の運用例（右上のカメラでは円形メーター、7セグメントメーター、LEDランプを同時に認識）



- 既設のアナログメーターをデジタル式に交換したい場合、条件に応じて、代替手段としてAnalog Meter Recognizerが利用できます。

販売価格

製品		価格（税抜）(注1)	
メディアパック(注2)		1万円	
ライセン ス(注3)	1メー ター タイ プ	1ライセンス 20万円	10ライセンス 130万円
	複数メ ーター タイ プ	1ライセンス 130万円	5ライセンス 400万円

注1 価格には、ネットワークカメラやパソコンなど機器の価格は含まれません。

注2 製品購入の際は、「メディアパック」と呼ばれるインストール媒体のみの商品が必要です。
使用権はメディアパックに付属しておりませんので、必要なライセンス商品をそれぞれ購入してください。

注3 ライセンスは買い切りです。インストール先のコンピュータ台数分の購入が必要です。

販売目標

2021年度までに100システムの販売を計画しています。

動作環境

オペレーティング システム：Microsoft Windows 7 32bit/64bit以降

商標について

- 記載されている製品名などの固有名詞は、各社の商標または登録商標です。


関連リンク

- アナログメーター認識ソフトウェア
- 株式会社 富士通研究所 導入事例
- Analog Meter Recognizer FAQ

本件に関するお問い合わせ

お電話でのお問い合わせ

未来社会ソリューション本部 デジタルサービス開発部

 097-534-9426

受付時間 9時～17時（土曜・日曜・祝日・当社指定の休業日を除く）

メールでのお問い合わせ

当社へのお問い合わせ

 **入力フォーム**

当社はセキュリティ保護の観点からSSL技術を使用しております

プレスリリースに記載された製品の価格、仕様、サービス内容などは、発表日現在のものです。その後予告なしに変更されることがあります。あらかじめご了承ください。

[コンテンツ利用条件](#)

[個人情報保護ポリシーについて](#)

[商標について](#)

[お問い合わせ](#)

[富士通ホームへ](#)

Copyright 1994 - 2021 FUJITSU



[ホーム](#) > [お知らせ](#) > [プレスリリース](#) > [プレスリリース \(2019年\)](#) >
[消費税率の引上げに向けたホテルシステム製品・サービスのエンハンス機能リリース](#)

PRESS RELEASE

2019年6月28日

株式会社富士通九州システムズ

消費税率の引上げに向けたホテルシステム製品・ サービスのエンハンス機能リリース ～軽減税率適用に向けた区分請求書保存方式をベースとした機能強化～

当社は、今後の消費税率の引上げに向け、宿泊業向け特化ソリューションである『GLOVIA smart ホテル』、『GLOVIA smart 旅館』に対して、区分請求書等保存方式に基づき、軽減税率に対応したエンハンス機能のリリースをおこないます。

パッケージ製品をご購入いただき、標準機能でご利用中のお客様、およびクラウドサービスである『GLOVIA smart ホテルSaaS』をご利用中のお客様を対象とし、2019年8月から順次リリース作業を進めてまいります。

東京オリンピック・パラリンピックや大阪万博等、宿泊業界が活性化しています。引き続き、業種特化製品・サービスとしてスピーディな法令対応に努め、宿泊施設様の安心・安全な運用を支援してまいります。

当社がご提供するGLOVIAのホテルシステム（PMS）・旅館システムは、ホテルや旅館の宿泊部門に必要な宿泊予約、フロントレセプション、フロント会計の機能から、顧客管理機能、売掛管理機能ま

でが備わったシステムです。現在800ホテルを超えるお客様にご活用いただいております。

現在、2019年10月の消費税率の引き上げに伴い、宿泊業界では「軽減税率対応」「経過措置対応」へのシステム対応が強く望まれています。特に「軽減税率対応」が必要なお客様においては、法制度に合わせた運用対応が必要であり、システム対応による業務負荷軽減、効率化のニーズが高まっています。

これをふまえ、当社では、軽減税率適用に向けて、『区分請求書保存方式』をベースとし、機能強化をおこないました。

ご請求明細書
Amount Description

GLOVIA smart

ホテル富士通N1(宿泊)

TEL 092-707-5644

FAX 092-411-3223

ありがとうございました。またのご利用をお待ち申し上げております。

客室番号 Room No.	お名前 Name Of the Guest	人数 Pers	ご利用日 Date
707	Mr. 富士通 太郎 様	2	17.06.27 - 17.06.29(2泊)

日付 Date	摘要 Description	料金 Charges	お支払 Payment	備考 Remarks
06.27	室料	12,500		
06.28	室料	12,500		
06.29	前受金(現金)		CA 4,500	
06.29	前受金(クレジット)		CC 5,000	
06.29	前受金(クーポン)		CP 3,000	
06.29	新聞	150		
06.29	お土産 ※	2,000		
06.29	レストラン利用	3,500		
06.29	チェックアウト精算(現金)		CA 18,150	

軽減税率の対象品目があった場合は、
明細摘要欄に「*」表記。

小計 Sub Total	30,650	30,650	
※は軽減税率対象品目	(内消費税 Con.Tax ¥2,268) (10%対象 ¥2,108) (8%対象 ¥160)	ご請求額 Balance Due	3,000
		ご返金額 Refund	

誠に勝手ながらサービス料10%の料金を加算させていただきます。

(2009) 今回ポイント 0P

ご署名
Signature

会社名
Firm

富士通 太郎

税率ごとに合計した税込対価
の額を表示します。

No. 201706290025
発行日 2019.03.06
00000 CA 1
富士通九州
http://www.fujitsu.com
(1/1)

No. 201706290025
2019.03.06

上記正に領収致しました

但、クレジット分 ¥5,000 を含みます クレジット払い

(内消費税 Con.Tax ¥2,268)
(10%対象 ¥2,108)
(8%対象 ¥160)

ホテル富士通N1(宿泊)

〒812-0007 福岡県福岡市博多区東比恵
TEL 092-707-5644 FAX 092-411-3223

GLOVIA smart

展開計画

2019年8月中旬から順次、オンプレミス型、SaaS型のお客様へのリリース作業を実施いたします。

※標準機能提供自体は無償となりますが、リリース作業はお客様ごとに別途有償となりますので、ご注意願います。

税制対応の概要

1. 科目マスタの設定

本システムでは、科目ごとに税率を分けて登録ができるため、軽減税率対象と対象外の品目については、科目を分けて登録いただくようお願いいたします。

2. プランマスタの設定

プランの場合も、システム上は内訳科目ごとにマスタ設定に従い、消費税が計算されます。ただし、請求書には、プランの場合は1明細で表示するため、軽減税率対象品目である旨を内訳明細ごとに表示することができません。


3. 請求書への表示項目の追加

ご請求明細書に、「軽減税率の対象品目である旨」、「税率ごとに合計した税込対価の額」を表示するよう対応いたします。

商標について

- 記載されている製品名などの固有名詞は、各社の商標または登録商標です。


関連リンク

➤ ホテルシステム（PMS） 

本件に関するお問い合わせ

お電話によるお問い合わせ

産業流通ソリューション本部 ホテルソリューション部 松本、塚本

 092-707-5644

受付時間 9時～17時（土曜・日曜・祝日・当社指定の休業日を除く）

メールでのお問い合わせ

GLOVIA smart ホテルに関するお問い合わせ

 **入力フォーム**

当社はセキュリティ保護の観点からSSL技術を使用しております

プレスリリースに記載された製品の価格、仕様、サービス内容などは、発表日現在のものです。その後予告なしに変更されることがあります。あらかじめご了承ください。

[コンテンツ利用条件](#)

[個人情報保護ポリシーについて](#)

[商標について](#)

[お問い合わせ](#)

[富士通ホームへ](#)

Copyright 1994 - 2021 FUJITSU



[ホーム](#) > [お知らせ](#) > [プレスリリース](#) > [プレスリリース（2019年）](#) > [\(株\)富士通九州システムズ 役員人事について](#)

PRESS RELEASE

2019年6月27日

株式会社富士通九州システムズ

(株)富士通九州システムズ 役員人事について

本日6月27日の第38回定時株主総会において、役員体制を下記のとおりといたしましたのでお知らせいたします。

記

取締役・監査役体制

代表取締役社長〔重任〕

石井 雄一郎

監査役〔重任〕

常富 安彦

以上

本件に関するお問い合わせ

お電話でのお問い合わせ

総務人事本部 総務部



092-260-6200

受付時間 9時～17時（土曜・日曜・祝日・当社指定の休業日を除く）

メールでのお問い合わせ

当社へのお問い合わせ



入力フォーム

当社はセキュリティ保護の観点からSSL技術を使用しております

プレスリリースに記載された製品の価格、仕様、サービス内容などは、発表日現在のものです。その後予告なしに変更されることがあります。あらかじめご了承ください。

コンテンツ利用条件

個人情報保護ポリシーについて

商標について

お問い合わせ

富士通ホームへ

Copyright 1994 - 2021 FUJITSU



[ホーム](#) > [お知らせ](#) > [プレスリリース](#) > [プレスリリース（2019年）](#) > [解析ソリューション体験セミナーを開催](#)

PRESS RELEASE

2019年6月19日

株式会社富士通九州システムズ

解析ソリューション体験セミナーを開催 ～設計者が簡単に使える解析ソリューションのご提案～

当社は、2019年7月に「解析ソリューション体験セミナー」を開催いたします。

本セミナーでは、構造・流体・樹脂流動の解析ソリューションを無料で体験することができます。構造・熱解析ソフトウェア「Jupiter-Designer for iCAD」、熱流体解析ソフトウェア「Autodesk CFD」、樹脂流動解析ソフトウェア「Autodesk Moldflow」は、いずれも利用者が容易に短時間で結果を得られるツールとなっています。

是非この機会に体験いただき、設計および生産業務の高度化の参考にしていただければと存じます。

解析ソリューション体験セミナー

- 構造・熱解析ソフトウェア「Jupiter-Designer for iCAD」

日時：2019年7月5日（金曜日）13時30分～17時

会場：富士通関西システムラボラトリ 第5応接会議室（大阪）

日時：2019年7月11日（木曜日）13時30分～17時

会場：富士通九州システムズ 東京オフィス 応接会議室1（東京）

- 樹脂流動解析ソフトウェア「Autodesk Moldflow」
日時：2019年7月10日（水曜日）13時30分～17時
会場：富士通九州システムズ 東京オフィス 応接会議室 1（東京）
- 熱流体解析ソフトウェア「Autodesk CFD」
日時：2019年7月17日（水曜日）13時30分～17時
会場：富士通九州システムズ 東京オフィス 応接会議室 1（東京）

定員

- 5名（先着順、無料）

対象

- 特に前提条件はありません。

お申し込み

本セミナーは、予約制になっております。参加を希望される場合は、次のURLから申込みください。
URL：[解析ソリューション体験セミナーのご案内](#)

商標について

- 記載されている製品名などの固有名詞は、各社の商標または登録商標です。

本件に関するお問い合わせ

お電話によるお問い合わせ

エンジニアリングソリューション本部 HPCソリューション部 吉野、永栄



092-260-6224

受付時間 9時～17時（土曜・日曜・祝日・当社指定の休業日を除く）

メールでのお問い合わせ

CAE関連ソリューションに関するお問い合わせ



fjqs-cae-sales@cs.jp.fujitsu.com

当社はセキュリティ保護の観点からSSL技術を使用しております

プレスリリースに記載された製品の価格、仕様、サービス内容などは、発表日現在のものです。その後予告なしに変更されることがあります。あらかじめご了承ください。

[コンテンツ利用条件](#)

[個人情報保護ポリシーについて](#)

[商標について](#)

[お問い合わせ](#)

[富士通ホームへ](#)



ホーム > お知らせ > プレスリリース > プレスリリース（2019年） > 日本毒性学会へ毒性・薬物動態予測ソフトを出展

PRESS RELEASE

2019年6月13日

株式会社富士通九州システムズ


日本毒性学会へ毒性・薬物動態予測ソフトを出展

当社は、6月26日（水曜日）から6月28日（金曜日）にかけて開催される第46回日本毒性学会学術年会に毒性・薬物動態予測ソフトウェアを出展します。

本年の日本毒性学会学術年会では、「生命を守り、持続可能な環境・社会・産業の基盤となる毒性学」をテーマに、講演、シンポジウム、ワークショップ、ポスター発表などが開催されます。

当社ブースでは、化合物の毒性・薬物動態予測をおこなう「ADMEWORKSシリーズ」、薬物動態関連たんぱく質・薬物の相互作用情報を文献から収載した「ADME Database」、および薬物併用時の相互作用を予測する「DDI Simulator」を出展します。プレスリリースを見て事前にご連絡いただけた方には、個別相談会も実施しております。是非、当社ブースまでご来臨賜りますよう、お願い申し上げます。


第46回日本毒性学会学術年会

- 期間：2019年6月26日（水曜日）～6月28日（金曜日）
- URL：[日本毒性学会](#) 

当社出展期間

- 6月 26日（水曜日） 9時30分～17時45分
- 6月 27日（木曜日） 9時～17時55分
- 6月 28日（金曜日） 9時～15時

会場

- アスティとくしま 1F 多目的ホール 小間No.12
〒770-8055 徳島市山城町東浜傍示1-1
- URL：[アスティとくしま](#) 

当社出展ソリューション

1. 毒性/薬物動態インシリコ予測システム「ADMEWORKSシリーズ」

「ADMEWORKSシリーズ」は、化学物質や薬物などの安全性と体内における変化を、コンピューター上で評価するためのシステムです。製薬企業における新薬開発にだけ用いられるのではなく、動物実験代替法への関心が高まっていることもあり、化学メーカーや化粧品メーカーでもご利用いただいております。搭載しているAMES変異原性予測モデルは、ICH M7ガイドラインにおけるin silico予測にも対応しています。

2. 薬物代謝酵素P450/トランスポーターに関するデータベース「ADME Database」

「ADME Database」は、クロアチアのレンディック博士^(注1)が文献から収集した、ヒトの薬物動態関連たんぱく質・薬物の情報^(注2)データベースです。薬物の吸収、分布、代謝、排泄に関わるチトクロームP450^(注3)、その他の薬物代謝酵素と薬物、トランスポーター^(注4)情報を収載しています。

3. 薬物相互作用予測ソフトウェア「DDI Simulator」

「DDI Simulator」は、薬物の併用投与時に薬効・副作用発現の変動を引き起こしうる薬物相互作用の程度を、体内動態パラメーターの情報に基づき、基質薬物の挙動について生理学的モデルを用いて予測するソフトウェアです。薬物相互作用の影響を考慮した投与スケジュールの最適化にもご利用いただけます。

商標について

- 記載されている製品名などの固有名詞は、各社の商標または登録商標です。

用語説明

- 注1 レンディック博士:
レンディック博士は、薬物動態分野の著名な研究者です。
- 注2 薬物動態関連たんぱく質・薬物の情報:
投与された薬物が作用発現部位に到達する過程における、吸収、分布、代謝、排泄などに関連するたんぱく質情報です。
- 注3 チトクロームP450:
薬物を体外に排泄されやすい形に代謝する酵素です。
- 注4 トランスポーター:
薬物を輸送するたんぱく質です。

関連リンク

- 毒性/薬物動態インシリコ予測システム「ADMEWORKSシリーズ」
- 薬物代謝酵素P450/トランスポーターに関するデータベース「ADME Database」
- 薬物相互作用予測ソフトウェア「DDI Simulator」

本件に関するお問い合わせ

お問い合わせ

富士通株式会社 ソーシャルデザイン事業本部 デジタルラボ事業部



お電話・メールでのお問合せ（富士通サイトへ）

プレスリリースに記載された製品の価格、仕様、サービス内容などは、発表日現在のものです。その後予告なしに変更されることがあります。あらかじめご了承ください。

[コンテンツ利用条件](#)

[個人情報保護ポリシーについて](#)

[商標について](#)

[お問い合わせ](#)

[富士通ホームへ](#)

Copyright 1994 - 2021 FUJITSU



[ホーム](#) > [お知らせ](#) > [プレスリリース](#) > [プレスリリース \(2019年\)](#) >

DDI Simulator V2.6 新バージョン体験セミナー開催のご案内

PRESS RELEASE

2019年6月10日

株式会社富士通九州システムズ

DDI Simulator V2.6 新バージョン体験セミナー開催のご案内 ～肝臓OATPs阻害モデル搭載～

当社は、7月18日（木曜日）からDDI Simulator V2.6を販売開始いたします。

本製品は、医薬品開発過程において必要とされる薬物の併用投与時に薬効・副作用発現の変動を引き起こしうる薬物動態学的相互作用^(注1)の程度を、薬物動態パラメータの情報に基づき予測するためのソフトウェアです。被相互作用薬の挙動を、生理学的薬物速度論モデル^(注2)を用いたシミュレーションにより定量的かつ高精度に予測します。

今回のバージョンアップでは、最近の文献に基づき、相互作用時の内在性基質^(注3)の血中濃度変動の予測も含め、肝臓OATPs^(注4)を介した薬物相互作用の程度をより精緻に予測可能なモデルを搭載しました。

販売開始にともない、7月18日(木曜日)に「DDI Simulator V2.6 新バージョン体験セミナー～肝臓OATPs阻害モデル搭載～」を東京地区で開催いたします。

本セミナーでは国立大学法人東京大学 大学院薬学系研究科 講師 前田 和哉様によるご講演および「DDI Simulator V2.6」を使用したハンズオンセミナーをおこないます。ご多忙の折とは存じますが、皆様のご参加を心よりお待ち申し上げます。

製品名

DDI Simulator V2.6

新機能

内在性基質の予測にも対応した肝臓OATPs阻害モデルの追加：
肝臓における膜透過や腸肝循環^(注5)を考慮するとともに、肝臓を5つのコンパートメントに分割したモデル(5-liver model)の導入により、薬物のクリアランスの大小に影響を受けにくい数理モデルを適用することで、肝臓OATPsを介した薬物相互作用や、それにとまなう内在性基質の濃度変動を予測します。

販売開始

2019年7月18日(木曜日) から

販売価格

年間利用価格：2,500,000円～（税別）

DDI Simulator® V2.6 新バージョン体験セミナーについて

- 開催日時：2019年7月18日（木曜日）13時～16時30分（受付 12時40～）
- 開催場所：秋葉原UDX 南ウィング6階 UDXカンファレンス RoomE (Type120)

会場地図：[UDXカンファレンス | 秋葉原の研修・セミナー向け貸会議室なら秋葉原UDX](#) 

- 定員：30名（参加費無料）

- 申込方法について

申込締切日：2019年7月11日（木曜日）

参加希望の方は、以下のURLよりお申込みください。

申込URL：[DDI Simulator V2.6 新バージョン体験セミナーお申込み](#)

- スケジュール

13:00～13:05

開催のご挨拶

13:05～13:55

ご講演「肝取り込みトランスポーターOATPsを介した薬物相互作用の定量的評価のキーポイント」

国立大学法人東京大学 大学院薬学系研究科 講師 前田 和哉様

13:55～14:35

ご紹介「DDI Simulator V2.6の製品概要と新機能」

株式会社富士通九州システムズ

14:35～14:55

休憩

14:55～16:30

ハンズオンセミナー

- ・ DDI Simulator V2.6基本機能
- ・ 肝臓OATPsを介した薬物相互作用の予測
- ・ 代謝酵素の阻害/誘導の予測

商標について

- 記載されている製品名などの固有名詞は、各社の商標または登録商標です。

用語説明

注1 薬物動態学的相互作用：

複数種類の薬物が投与される時、投与薬物の一部が、体内の薬物代謝・排泄能力の変動を引き起こした結果として、被相互作用薬の体内動態が変動し、場合によっては薬物の効果・副作用が増強もしくは減弱すること。

注2 生理学的薬物速度論モデル：

薬物が、消化管から吸収された後、血液によって各組織に運ばれて分布し、代謝・排泄により体内から消失する一連の過程を、生理解剖学的・生化学的な実体をとまなうパラメータ・コンパートメントを用いて記述しようとするモデル。

注3 内在性基質：

トランスポーター基質となりうる内在性の化合物。基質薬を投与することなく、トランスポーターを介した薬物

相互作用予測をするためのバイオマーカーとして注目されている。

注4 肝臓OATPs:

肝臓において多岐にわたるトランスポーターのうち、主にアニオン性薬物の取り込みに関与するトランスポーター(organic anion transporting polypeptide)

注5 腸肝循環:

肝臓から胆汁を介して消化管中に排泄された薬物が、再び消化管から吸収されて体内に戻る一連の過程。

関連リンク

＞ 薬物相互作用予測ソフトウェア「DDI Simulator」

本件に関するお問い合わせ

お問い合わせ

富士通株式会社 ソーシャルデザイン事業本部 デジタルラボ事業部



お電話・メールでのお問合せ（富士通サイトへ）

プレスリリースに記載された製品の価格、仕様、サービス内容などは、発表日現在のものです。その後予告なしに変更されることがあります。あらかじめご了承ください。

コンテンツ利用条件

個人情報保護ポリシーについて

[商標について](#)

[お問い合わせ](#)

[富士通ホームへ](#)

Copyright 1994 - 2021 FUJITSU



[ホーム](#) > [お知らせ](#) > [プレスリリース](#) > [プレスリリース（2019年）](#) >

業務効率化や安全運転支援に寄与する新型運行管理システムを導入

PRESS RELEASE

2019年6月5日

株式会社富士通九州システムズ

業務効率化や安全運転支援に寄与する新型運行管理システムを導入

当社は、このたび株式会社JA物流かごしま様（本社：鹿児島市、代表取締役社長 妹尾 洋介氏）の運行管理システム更新において、クラウド型の新運行管理システムへの移行を実施しました。

今回のシステム移行により、従来のカード記録型運行管理システムでは難しかったリアルタイムでの動態管理を実現しました。業務の効率化に加え、緊急の配車依頼に対するサービス向上、ドライバーの安全運転支援を図ることにもつながっています。

導入の背景

株式会社JA物流かごしま様では、各車両の車載ステーション内のカードに運行データを記録するカード記録型運行管理システムを用いていましたが、各車両が帰庫してカードを読み込むまで運行内容をチェックできないため、乗務員や管理者の作業負荷が大きいことが課題でした。また同時に、各車両の現在地や輸送中の車両温度をリアルタイムで把握できないため、緊急の配送依頼、ドライバー仮眠中の温度異常に迅速に対応することが難しいという問題も抱えていました。

導入効果と今後の展開

新システムでは、管理者のパソコンからリアルタイムでドライバーの位置状態が把握できるため、急なオーダーが入った際、スムーズにお客様の問い合わせに回答することが可能になりました。配車係が1台1台ドライバーに連絡して確認する必要があった従来のシステムに比べて大幅な業務の効率化を実現し、お客様対応レベルの向上にも寄与しています。また、ドライバーの労働時間をはじめとする稼働実績が一元管理できるようになり、かつシステム上で自動計算されるため、労務管理の負荷が著しく軽減されるという効果も大きなものです。今後は、労働時間と給与計算システムとの連携など、さらなる業務効率化も見込まれています。また、温度センサーをシステムに連携させることで、車内の温度異常に速やかに対応できるようになり、徹底した温度管理による輸送品質の保証といった面でも、新システムは効果を発揮しています。

今回のシステムでは、急ブレーキや速度超過など高度な運転分析を随時確認できるという点も特長のひとつです。ドライバーが帰庫してすぐに、その日の運転映像を見ながら納得度の高い指導をすることができるよう、安全運転レベルの向上が見込めます。今後は、アルコールチェッカーと管理システムの連携も計画されています。


本製品の特長

さまざまな情報をリアルタイムで一元管理でき、パッケージ型のシステムをカスタマイズすることで、より細かなニーズに対応することも可能です。従来のカード記録型車載ステーションと基本的な使い方が同じなので、ドライバーも管理者もスムーズにシステム移行することができます。また、スマホアプリをインストールすることで、協力会社についても同じ画面上で管理することができます。

商標について

- 記載されている製品名などの固有名詞は、各社の商標または登録商標です。

関連リンク

- 株式会社JA物流かごしま 様導入事例
- SaaS型新運行管理システム「Logifit TM - NexTR」 

本件に関するお問い合わせ

お電話によるお問い合わせ

産業流通ソリューション本部 物流輸送ソリューション部



092-707-5642

受付時間 9時～17時（土曜・日曜・祝日・当社指定の休業日を除く）

プレスリリースに記載された製品の価格、仕様、サービス内容などは、発表日現在のものです。その後予告なしに変更されることがあります。あらかじめご了承ください。

[コンテンツ利用条件](#)

[個人情報保護ポリシーについて](#)

[商標について](#)

[お問い合わせ](#)

[富士通ホームへ](#)



[ホーム](#) > [お知らせ](#) > [プレスリリース](#) > [プレスリリース（2019年）](#) > [日本薬学会へ薬物相互作用予測ソフトを出展](#)

PRESS RELEASE

2019年5月15日

株式会社富士通九州システムズ


日本TDM学会へ薬物相互作用予測ソフトを出展

当社は、5月25日（土曜日）から5月26日（日曜日）にかけて開催される第36回日本TDM学会・学術大会に薬物相互作用予測ソフトウェアを出展します。

本会では、「TDM Revisited: Looking Towards the Future」をテーマに、講演、シンポジウム、ワークショップ、ポスター発表などが開催されます。

当社ブースでは、薬物治療の最適化技術の一つとして薬物併用時の薬物相互作用を予測する「DDI Simulator」、薬物代謝酵素・トランスポーター・薬物の相互作用情報を文献から収載した「ADME Database」、および薬の毒性・薬物動態予測をおこなう「ADMEWORKSシリーズ」を出展いたします。プレスリリースを見て事前にご連絡いただいた方には、個別相談会も実施しております。是非、当社ブースまでご来臨賜りますよう、お願い申し上げます。


第36回日本TDM学会・学術大会

- 期間：2019年5月25日（土曜日）～5月26日（日曜日）
- URL：[第36回日本TDM学会学術大会](#) 

当社出展期間

- 5月 25日（土曜日） 9時～18時
- 5月 26日（日曜日） 9時～16時

会場

- コングレスクエア日本橋 小間No.3
〒103-0027 東京都中央区日本橋1丁目3-13 東京建物日本橋ビル
- URL：[アクセス | コングレスクエア日本橋](#) 

当社出展ソリューション

1. 薬物相互作用予測ソフトウェア「DDI Simulator」

「DDI Simulator」は、薬物の併用投与時に薬効・副作用発現の変動を引き起こしうる薬物相互作用の程度を、体内動態パラメーターの情報に基づき、基質薬物の挙動について生理学的モデルを用いて予測するソフトウェアです。薬物相互作用の影響を考慮した投与スケジュールの最適化にもご利用いただけます。

2. 薬物代謝酵素P450/トランスポーターに関するデータベース「ADME Database」

「ADME Database」は、クロアチアのレンディック博士^(注1)が文献から収集した、ヒトの薬物動態関連たんぱく質・薬物の情報^(注2)データベースです。薬物の吸収、分布、代謝、排泄に関わるチトクロームP450^(注3)、その他の薬物代謝酵素と薬物、トランスポーター^(注4)情報を収載しています。

3. 毒性/薬物動態インシリコ予測システム「ADMEWORKSシリーズ」

「ADMEWORKSシリーズ」は、化学物質や薬物などの安全性と体内における変化を、コンピューター上で評価するためのシステムです。製薬企業における新薬開発にだけ用いられるのではなく、動物実験代替法への関心が高まっていることもあり、化学メーカーや化粧品メーカーでもご利用いただいております。

商標について

- 記載されている製品名などの固有名詞は、各社の商標または登録商標です。

用語説明

注1 レンディック博士:

レンディック博士は、薬物動態分野の著名な研究者です。

注2 薬物動態関連たんぱく質・薬物の情報:

投与された薬物が作用発現部位に到達する過程における、吸収、分布、代謝、排泄などに関連するたんぱく質情報です。

注3 チトクロームP450:

薬物を体外に排泄されやすい形に代謝する酵素です。

注4 トランスポーター:

薬物を輸送するたんぱく質です。

関連リンク

- 薬物相互作用予測ソフトウェア「DDI Simulator」
- 薬物代謝酵素P450/トランスポーターに関するデータベース「ADME Database」
- 毒性/薬物動態インシリコ予測システム「ADMEWORKSシリーズ」

本件に関するお問い合わせ

お問い合わせ

富士通株式会社 ソーシャルデザイン事業本部 デジタルラボ事業部



お電話・メールでのお問合せ（富士通サイトへ）

プレスリリースに記載された製品の価格、仕様、サービス内容などは、発表日現在のものです。その後予告なしに変更されることがあります。あらかじめご了承ください。

コンテンツ利用条件

個人情報保護ポリシーについて

商標について

お問い合わせ

富士通ホームへ



[ホーム](#) > [お知らせ](#) > [プレスリリース](#) > [プレスリリース \(2019年\)](#) >

[JECA FAIR 2019 ～第67回電設工業展～に「スマート安全帯ソリューション」を出展](#)

PRESS RELEASE

2019年5月10日

株式会社富士通九州システムズ


JECA FAIR 2019 ～第67回電設工業展～に「スマート安全帯ソリューション」を出展

当社は、5月22日（水曜日）から24日（金曜日）にかけて開催される JECA FAIR 2019 ～第67回電設工業展～^(注1)において、藤井電工株式会社（本社：兵庫県加東市、代表取締役：藤井信孝、以下「藤井電工」）の展示ブースで「スマート安全帯ソリューション」を共同出展いたします。


電設工業展は、電気設備に関する資機材、工具・計測器、ソフト、システム等の新製品をはじめ、施工技術や施工実績、アカデミックの紹介、電気設備業界の魅力や働き方を紹介する各種イベントなど、あらゆる情報を発信する国内最大の電気設備総合展示会です。

藤井電工ブースでは、実際にスマート安全帯^(注2)を着用した展示員によるアラート実演、管理者向けダッシュボード画面操作などを体験していただけます。是非、ご来臨賜りますよう、お願い申し上げます。

JECA FAIR 2019 ～第67回電設工業展～

- 期間：2019年5月22日（水曜日）～5月24日（金曜日）
- URL：[JECA FAIR 2019 ～ 第67回電設工業展 ～](#) 

会場

- 東京ビッグサイト 西1・2ホール（東京都江東区有明3-11-1）
〒261-8550 千葉県美浜区中瀬2-1
- URL：[交通アクセス・駐車場 | 東京ビッグサイト（東京国際展示場）](#) 

当社出展ソリューション

- スマート安全帯ソリューション
スマート安全帯ソリューションは、高所作業者が着用したスマート安全帯の使用状況をクラウド上で収集・管理し、危険状態にあることを管理者にアラート通知します。作業現場だけでなく、遠隔地でも作業者の状態を把握することで安全管理をサポートするソリューションです。スマート安全帯ソリューションを活用することで、従来、人の注意力に頼ってきた安全管理に対し、ICTによる作業部門の見える化と作業員の安全確保を実現するとともに、墜落や転落による重篤な労働災害の未然防止、安全教育での活用等、新たな価値を提供します。

商標について


- 記載されている製品名などの固有名詞は、各社の商標または登録商標です。

注釈

注1 JECA FAIR 2019 ～第67回電設工業展～：
一般社団法人 日本電設工業協会が主催する展示会

注2 スマート安全帯：
藤井電工製のBluetooth Low Energy(BLE)モジュール・センサ付き安全帯（イブロンII）


関連リンク

[スマート安全帯ソリューション](#) 

本件に関するお問い合わせ

お電話でのお問い合わせ

エンジニアリングソリューション本部 デジタルシミュレーション部

 092-260-6223

受付時間 9時～17時（土曜・日曜・祝日・当社指定の休業日を除く）

プレスリリースに記載された製品の価格、仕様、サービス内容などは、発表日現在のものです。その後予告なしに変更されることがあります。あらかじめご了承ください。

[コンテンツ利用条件](#)

[個人情報保護ポリシーについて](#)

[商標について](#)

[お問い合わせ](#)

[富士通ホームへ](#)



ホーム > お知らせ > プレスリリース > プレスリリース（2019年） > (株)富士通九州システムズ 役員人事について

PRESS RELEASE

2019年4月1日

株式会社富士通九州システムズ

(株)富士通九州システムズ 役員人事について

当社は、2019年4月1日の臨時株主総会において役員体制を下記のとおりといたします。

つきましては、役員一同新たな陣容をもちまして業務に精励いたす所存でございますので、何卒倍旧のご支援とお引き立てを賜りますようお願い申し上げます。

記

4月1日付

代表取締役社長	石井 雄一郎	
監査役	常富 安彦	
執行役員常務	愛川 美文	（事業部門，主として社会インフラビジネス担当）
執行役員常務（昇任）	淡浪 日出夫	（コーポレート，主として事業戦略本部ならびに新ビジネス創出・グローバル担当）
執行役員	大島 昭	（セキュリティ＆ソーシングソリューション本部担当）
執行役員	高濱 浩司	（エンタープライズビジネス，ならびに未来社会ソリューション本部担当）
執行役員	鶴川 直秀	（総務人事本部ならびに品質保証本部担当）

※2019年4月1日より取締役会を廃止し、取締役は代表取締役社長1名といたします。

取締役 木脇 秀己, 砂田 敬之, 岡本 行雄, 愛川 美文および 顧問 小田 均は、退任いたしました。また、矢野 伸二は、取締役執行役員常務を退任し、シニアフェローに就任いたしました。

以上

本件に関するお問い合わせ

お電話でのお問い合わせ

総務人事本部 総務部



092-260-6200

受付時間 9時～17時（土曜・日曜・祝日・当社指定の休業日を除く）

メールでのお問い合わせ

当社へのお問い合わせ



入力フォーム

当社はセキュリティ保護の観点からSSL技術を使用しております

プレスリリースに記載された製品の価格、仕様、サービス内容などは、発表日現在のものです。その後予告なしに変更されることがあります。あらかじめご了承ください。

[コンテンツ利用条件](#)

[個人情報保護ポリシーについて](#)

[商標について](#)

[お問い合わせ](#)

[富士通ホームへ](#)

Copyright 1994 - 2021 FUJITSU



[ホーム](#) > [お知らせ](#) > [プレスリリース](#) > [プレスリリース（2019年）](#) > [最新のサイバー犯罪に対応する人材を育成](#)

PRESS RELEASE

2019年3月29日

株式会社富士通九州システムズ

最新のサイバー犯罪に対応する人材を育成 ～カスタマイズされた階層別の研修で、県警全体での底上げを図る～

当社は、このたび長崎県警察本部様において、増加するサイバー犯罪に対応し得る人材を育成するための「サイバーセキュリティ人材育成研修」を実施しました。

今回の研修は、当社でおこなっている警察機関向けのサイバー犯罪対策研修をベースにしつつ、長崎県警察本部様のニーズを踏まえて階層別（初級・中級・上級）に全4コースを実施。警察職員全体でサイバーセキュリティに対する知識、スキルの底上げを図る内容になっています。

これまでの課題

長崎県警察本部様では、サイバー犯罪発生件数の増加や手口の高度化に対応すべく、外部講習への参加など、過去にもサイバーセキュリティに対応し得る人材育成に努めていました。しかし、1回完結型の研修では最新の情報や技術を継続的に学ぶことができない、東京などの遠方で講習がおこなわれるため参加者が数名に限られ県警全体での知識の底上げにつながりにくい、といった課題を抱えていました。

研修後の効果

今回の研修では、サイバー犯罪の捜査に役立つ上級者向けの実践的な研修に加え、コンピュータやネットワーク、そしてサイバー犯罪捜査における基礎を学ぶための初級コースを設置。さらに中級コースは、サイバー攻撃やサイバー犯罪発生時の事後対応で必要となるデジタルフォレンジックに関する内容と、サイバー攻撃の手口や対策に関する知識を養う内容の2コースに分けて、計4コースを実施しました。これによって、サイバー犯罪の捜査にあたる人間だけがサイバーセキュリティに精通するのではなく、さまざまな部門の警察職員が現在のサイバーセキュリティに関する危機的状況を認識し、専門知識を修得。初心者から上級者までそれぞれのレベルでスキルアップを図ることができました。

研修プログラムは、4コースとも1～3日完結のコンパクトな内容にまとめてコストを削減。外部講習への職員派遣と同程度の予算で、数十名規模の研修が実現しました。また、初級～上級すべてのコースにおいてプログラム内に実機演習を導入しています。ウイルスに感染した実機を用いた演習などで、座学だけでは困難な実践的スキルの修得へとつながりました。

本研修の特長

2002年から実施している警察機関向けのサイバーセキュリティ対策研修、さらに自治体や民間企業へと研修先が広がるなかでノウハウを蓄積していることが大きな強みです。ベースとなる教材をニーズに応じてカスタマイズしつつ、低コストで提供することが可能。さらに、情報の最新化を随時図って内容を見直すことで、進化し続けるサイバーセキュリティスキルの修得に対応しています。

商標について

- 記載されている製品名などの固有名詞は、各社の商標または登録商標です。


関連リンク

- [長崎県警察本部 様導入事例](#)

本件に関するお問い合わせ

お電話によるお問い合わせ

セキュリティ&ソーシングソリューション本部 教育ソリューション部

 092-707-5634

受付時間 9時～17時（土曜・日曜・祝日・当社指定の休業日を除く）

プレスリリースに記載された製品の価格、仕様、サービス内容などは、発表日現在のものです。その後予告なしに変更されることがあります。あらかじめご了承ください。

コンテンツ利用条件

個人情報保護ポリシーについて

商標について

お問い合わせ

富士通ホームへ



ホーム > お知らせ > プレスリリース > プレスリリース (2019年) >

放送業界の特殊な会計処理と多様な業務フローにフィットする新システム・ATLASを構築

PRESS RELEASE

2019年3月28日

株式会社富士通九州システムズ

放送業界の特殊な会計処理と多様な業務フローに フィットする新システム・ATLASを構築 ～朝日放送テレビ様にメディア業界向け財務・管理会計システム 「Fine@MEDIA」を提供～

近畿広域圏を放送エリアに、ANNネットワークの在阪局として全国放送の番組制作も手がける朝日放送テレビ株式会社様（本社：大阪市福島区福島1-1-30、代表取締役社長 山本 晋也氏）。同社は、老朽化した経理システムを刷新するため、当社のメディア業界向け財務・管理会計システム「Fine@MEDIA」をベースに、新経理システム・ATLAS（Asahi Total Accounting System）を構築されました。

当社は、今後、朝日放送グループ様のグループ経営を高度化するシステム基盤の確立、および管理会計のさらなる強化など、総合コンテンツ事業グループへの進化を支えるパートナーとして、より良いご提案とサポートを続けてまいります。

背景と導入効果

2つと同じものがないテレビ番組制作は手づくりで、原価の考え方や会計処理の仕方など、一般的な経理システムは業務実態に合いません。また、個々の番組で異なる広告収入、数多くの出演者の出演料の支払いなど、収支管理や伝票処理は複雑で、標準化できない業務が多いのも特徴です。

長年使い続けた経理システムが老朽化し、機能追加の繰り返しで業務フローとシステムが複雑化していました。当社は、「Fine@MEDIA」をツールとして活用し、申請書や決裁承認などの業務フローの検証と「見える化」を提案。伝票の数や種類、承認印を必要最低限に減らし、申請・承認フローを社員に公開し透明化するなど、現場にフィットする業務と収支・会計管理のフローの3S化（シンプル、スリム、スピーディー）を実現しました。

また、2018年4月に朝日放送グループホールディングスが発足したことにともない、ホールディングス本体と、分社化した朝日放送テレビ様（テレビ放送事業）、朝日放送ラジオ様（ラジオ放送事業）の新システムによる3社同時稼働も推進。勘定科目など絶対的な共通項である統一マスタの構築と一元管理、また、各社の取引実態に合わせたフレキシブルなマスタ運用を可能にしました。また、3社間の受発注管理など、分社化で生じる3社の請求・支払いを効率的におこなうことができる機能を構築、安定稼働を続けています。

今後の展開

今後は、管理会計を強化する新機能を搭載した新システムを運用フェーズへと移行、各事業の収支の明確化及び分析、グループ経営基盤としての機能のブラッシュアップを継続していく予定です。

新経理システム・ATLASの名は、「朝日放送グループ全体の経理システム」を体現しています。グループマネジメントに不可欠なシステム基盤となって、朝日放送グループの未来図を描き出していきます。

本製品の特長

「Fine@MEDIA」は、放送局や新聞社など放送・メディア業界の財務・管理会計に最適な各業務機能（予算・伝票・固定資産・会計情報・債権管理システム）を搭載。経営資源の見える化と活用、業務効率化やフロー改善など、多様な経営課題を解決するオールインワン 業務パッケージシステムです。人事・給与システム「Hour@MEDIA」とともに、数多くの導入実績があります。なお、民間放送業界の基幹業務システムである「営業放送システム」との連携実績も豊富です。

商標について

- 記載されている製品名などの固有名詞は、各社の商標または登録商標です。


関連リンク

- 朝日放送テレビ株式会社 様導入事例
- メディア向け財務・管理会計ソリューション Fine@MEDIA

本件に関するお問い合わせ

お電話によるお問い合わせ

社会ソリューション本部 第三社会基盤ソリューション部 放送グループ

 092-260-6217

受付時間 9時～17時（土曜・日曜・祝日・当社指定の休業日を除く）

プレスリリースに記載された製品の価格、仕様、サービス内容などは、発表日現在のものです。その後予告なしに変更されることがあります。あらかじめご了承ください。

コンテンツ利用条件

個人情報保護ポリシーについて

[商標について](#)

[お問い合わせ](#)

[富士通ホームへ](#)

Copyright 1994 - 2021 FUJITSU



[ホーム](#) > [お知らせ](#) > [プレスリリース](#) > [プレスリリース \(2019年\)](#) >

JEMS国内工場での導入実践に基づく、プリント基板実装ラインのM2Mシステム導入サービスを開始

PRESS RELEASE

2019年3月26日

株式会社FUJI

株式会社富士通九州システムズ

ジャパン・イーエム・ソリューションズ株式会社

JEMS国内工場での導入実践に基づく、プリント基板実装ラインのM2Mシステム導入サービスを開始

株式会社FUJI（本社：愛知県知立市、代表取締役社長：曾我信之、以下FUJI）、オムロン株式会社（本社：京都市下京区、代表取締役社長 CEO：山田義仁、以下オムロン）、株式会社富士通九州システムズ（本社：福岡県福岡市、代表取締役社長：石井 雄一郎、以下FJQS）、ジャパン・イーエム・ソリューションズ株式会社（本社：兵庫県加東市、代表取締役社長：高橋 英明、以下JEMS）は、JEMS社工場のプリント基板実装ラインにおいてマシンツーマシン(M2M)関連システム^(注1)を共同で開発し、2017年10月より稼働しております。各社は、この実践で蓄積された知見やノウハウを各社システムに取り込み、2019年4月から一般ユーザー向け導入サービスを開始いたします。

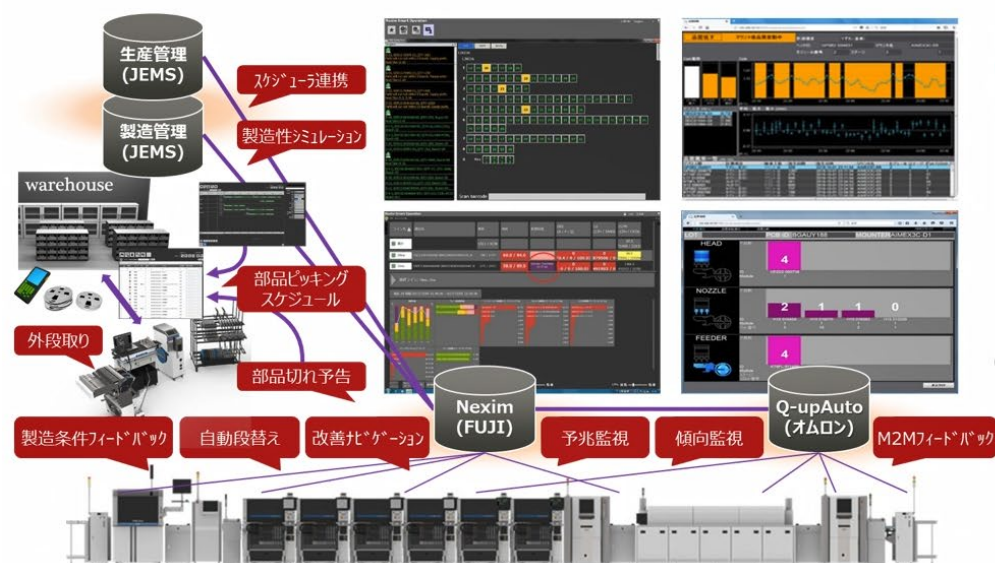
注1 マシンツーマシン(M2M) とは、ネットワークに繋がれた機器同士が人間を介在せずに相互に情報交換し、自動的に最適な制御が行われるシステムのことです。

JEMS社工場M2Mシステムの各社の役割について

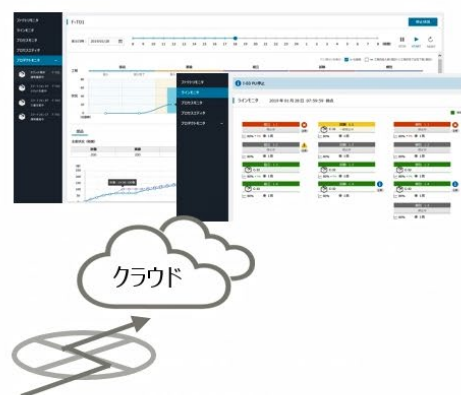
多種多様なプリント基板の実装を行っているJEMS 社工場のM2Mシステムにおいて、各社が行っている内容は以下の通りです。4社は共同で現場視点での要件抽出～改善を繰り返しながら、実装ラインを持つ企業が抱える「見える化・自動化・自律化」などの共通的な課題についての取組みを深化させ続けています。

- FUJI 『統合生産管理システム／Nexim』
JEMS生産管理/MESと連携し、精緻な自動段替え・部品供給・トレーサビリティに対応
- オムロン 『品質管理システム／Q-upAuto』
FUJI Neximと連携し、実装～リフロー後検査までの高度な品質分析・自動調整に対応
- FJQS 『次世代モノづくり支援サービス』
JEMS生産管理/MESと連携し、製品の流れを可視化、工程間の滞留（ボトルネック）探索に対応
- JEMS
各社システムを連携活用し、実践に基づくユーザ視点でM2M関連システムの改善に対応

プリント基板実装ラインのM2Mシステム



生産性のボトルネック探索と可視化



各社で提供可能な内容について

4社は今後以下の通り、プリント基板実装ライン保有企業のスマートファクトリー化の実現を支援していきます。

- FUJI

実装ラインの生産統合システム『Nexim』を核とし、生産スケジュールに基づき必要な電子部品をタイムリーに準備する部品管理システムや、ライン全体をM2Mで連携した自動段取り替えシステムなど、お客様の「ものづくりスタイル」に合わせたスマートファクトリーを提供いたします。

- オムロン

『Q-upAuto』を活用しプリント基板実装の“品質データ”と“生産設備の製造データ”の紐づけを行い、リアルタイム監視による不良発生原因の早期特定やそれによるフィードバックを実現。生産性／品質の向上に貢献するシステムを提供いたします。

- FJQS

本先行事例をもとに多品種少量生産で課題となる投入計画について最適化を実現するシミュレーション機能を提供致します。本機能は富士通株式会社が提供するものづくりデジタルプレイス「COLMINA」のシナリオとしても提供致します。最適化エンジンについては、株式会社富士通研究所が開発したOPTEMILISを採用しています。

- JEMS

実際のシステム導入効果など自らの工場をお見せすることで、現場視点でお客様の課題解決提案と改善をサポート致します。

ご興味をお持ちの方は各社窓口にお問い合わせください。

共同開発した4社について

- 株式会社F U J Iについて

株式会社F U J Iは、数多くの「世界初」「業界初」の技術を生み出し、電子部品実装ロボットおよび工作機械の開発・製造・販売・サービスを行い、PC・携帯電話・自動車・デジタル家電製品など多くの分野の発展に貢献しています。また近年では、介護ロボット・宅配ロッカーシステム・ロボットアームなど、新しい分野にも積極的にチャレンジしています。
詳細については、<https://www.fuji.co.jp/> □ をご参照ください。

- オムロン株式会社について

オムロン株式会社は、独自の「センシング＆コントロール+Think」技術の中核としたオートメーションのリーディングカンパニーとして、制御機器、電子部品、車載電装部品、社会インフラ、ヘルスケア、環境など多岐に渡る事業を展開しています。1933年に創業したオムロンは、いまでは全世界で約36,000名の社員を擁し、117か国で商品・サービスを提供しています。制御機器事業では、モノづくりを革新するオートメーション技術や製品群、顧客サポートの提供を通じ、豊かな社会づくりに貢献しています。
詳細については、<https://www.omron.co.jp/> □ をご参照ください。

- 株式会社富士通九州システムズについて

株式会社富士通九州システムズは、製造、流通、ロジスティクス、ライフサイエンス、金融、官公庁など業種ごとにお客様に最適なICTソリューションをご提供しております。製造業向けに設計から生産まで、次世代の開発設計・製造環境を構築していくための戦略的統合ソリューションを提供致します。また、お客様との共創を通じて、付加価値の高いサービスをスピーディに提供するため、SaaSサービスに力を入れて参ります。

詳細については、<http://www.fujitsu.com/jp/group/kyushu/>をご参照ください。

- ジャパン・イーエム・ソリューションズ株式会社について

ジャパン・イーエム・ソリューションズ株式会社は、富士通周辺機株式会社のユビキタス製品を主体とする各種ODM/EMS事業を、ポラリス・キャピタル・グループ株式会社が富士通株式会社より譲渡を受け、昨年4月より操業開始した新会社です。ジャパン・イーエム・ソリューションズは、年間約数百万台の携帯情報端末や各種の表示端末装置を始めとするODM/EMSにより長年培った、ものづくり力を有する国内EMS企業として、お客様の立場で、Engineering～ManufacturingまでMade in Japanによるワンストップの製造ソリューションをご提供します。

詳細については、<https://www.j-em-s.com/>  をご参照ください。

商標について

- 記載されている製品名などの固有名詞は、各社の商標または登録商標です。

本件に関するお問い合わせ窓口

- 『統合生産管理システム／Nexim』および 電子部品実装ロボット等に関して：
株式会社F U J I 営業技術部 Email: fsfcontact@fuji.co.jp
 - 『次世代品質管理システム／Q-upAuto』および 電子部品実装検査機等に関して：
オムロン株式会社 検査システム事業部 西部営業課 TEL:06-6347-5840
 - 『次世代モノづくり支援サービス』に関して：
株式会社富士通九州システムズ デジタルシミュレーション部 Email: fjqs-engiot-sales@cs.fujitsu.com
 - 実践工場（JEMS）の見学および製造ソリューション等に関して：
ジャパン・イーエム・ソリューションズ株式会社 営業推進部 Email: sales@j-em-s.com
-

プレスリリースに記載された製品の価格、仕様、サービス内容などは、発表日現在のものです。その後予告なしに変更されることがあります。あらかじめご了承ください。

[コンテンツ利用条件](#)

[個人情報保護ポリシーについて](#)

[商標について](#)

[お問い合わせ](#)

[富士通ホームへ](#)



ホーム > お知らせ > プレスリリース > プレスリリース (2019年) >

「Autodesk CFD」で空気や熱など、目に見えない対象の動きを解析

PRESS RELEASE

2019年3月26日

株式会社富士通九州システムズ

「Autodesk CFD」で空気や熱など、目に見えない 対象の動きを解析

～開発スピードが向上し、顧客からの信頼とビジネスの拡大に貢献

～

半導体の製造に最適な環境を作り出すための装置を開発、販売する株式会社ラスコ様（本社：埼玉県加須市、代表取締役 橋口拓郎氏、以下 ラスコ様）。同社では、設計で蓄積してきた富士通の3次元CADシステム「iCAD MX」、「iCAD SX」の3次元データを活用するため、富士通九州システムズ（以下、FJQS）から熱流体解析ソフトウェア「Autodesk CFD」を導入しました。

解析を通じて空気の流れという目に見えない対象の動きが可視化されたことで、開発スピードが向上し、パターンテストや試作機を作成する頻度も半分程度に削減。試作レスでの開発も可能になりました。また、顧客に対して設計の根拠を示せるようになり、信頼向上にも貢献しています。

背景と導入効果

超精密工作機械、半導体、FPD（フラットパネルディスプレイ）、医薬品産業機器等では、生産品質や効率向上を図るために一定の温度に保たれた空気や水を供給できる高効率・高精度な熱源機が不可欠です。それを可能にするラスコ様の環境チャンバーは、温度・湿度・振動の精密制御によって温度変化が発生しない高効率・高精度な加工環境を実現しています。

同社では、富士通の3次元CADソフトウェア「iCAD MX」と超高速3次元CADソフトウェア「iCAD SX」を導入し、3次元設計への転換を進めてきました。そうして蓄積した3次元データを活用するため2004年に導入したのが、FJQSが提供する熱流体解析ソフトウェア「Autodesk CFD（当時はCFdesign）」です。

外部の専門企業に業務委託していた熱流体解析を「Autodesk CFD」で内製化し、大幅なコスト削減が実現。パターンテストや試作機を作成する頻度は半分程度にまで減少し、試作レスでの開発が可能になるなど、製品開発のスピードが大きく向上しました。また、空気の渦を巻く動きといった見えないものが可視化されたことで、設計者がお客様に設計の根拠を明確に説明できるようになり、信頼の向上とビジネスの拡大にも貢献しています。

今後の展開

ラスコ様では、「Autodesk CFD」の解析結果を理想像として、それに近づける設計をしていくような方向へと転換を進めています。さらに今後は、液体の解析や他の熱を発生させる要素の解析も手掛けるなど、企業方針である「かたちにしていく力」を強みに、世界にまだ無いものを造ることの追求に「Autodesk CFD」を活用していく方針です。



本製品の特長

流体解析の専門家によって利用されてきたCFD（数値流体力学：Computational Fluid Dynamics）を一般の設計者でも簡単に利用できるよう、全く新規に開発された熱流体問題の設計ツールです。多くの3次元CAD対応版が提供されており、また、3次元モデリングカーネルとダイレクトに統合されているため、データの変換なしで、直接、熱および流体の解析をおこなうことができます。

商標について

- 記載されている製品名などの固有名詞は、各社の商標または登録商標です。


関連リンク

- 株式会社ラスコ 様導入事例
- 熱流体解析ソフトウェア Autodesk CFD
- 機械装置向け3次元CAD FUJITSU Manufacturing Industry Solution iCAD SX  （富士通サイト）
- 2次元/3次元 Hybrid設計CAD FUJITSU Manufacturing Industry Solution iCAD MX  （富士通サイト）

本件に関するお問い合わせ

お電話によるお問い合わせ

エンジニアリングソリューション本部 HPCソリューション部

 092-260-6224

受付時間 9時～17時（土曜・日曜・祝日・当社指定の休業日を除く）

メールでのお問い合わせ

PLMソリューションに関するお問い合わせ

 入力フォーム

当社はセキュリティ保護の観点からSSL技術を使用しております

プレスリリースに記載された製品の価格、仕様、サービス内容などは、発表日現在のものです。その

後予告なしに変更されることがあります。あらかじめご了承ください。

コンテンツ利用条件

個人情報保護ポリシーについて

商標について

お問い合わせ

富士通ホームへ



[ホーム](#) > [お知らせ](#) > [プレスリリース](#) > [プレスリリース（2019年）](#) >

[データ利活用サービス構築基盤「ShunPlatform」を販売開始](#)

PRESS RELEASE

2019年3月25日

株式会社富士通九州システムズ

データ利活用サービス構築基盤「ShunPlatform」 を販売開始

～高速かつ自在なデータ合成・加工機能でデジタルビジネスを促進

～

当社は、データ利活用サービス構築基盤「ShunPlatform」を、2019年3月25日から販売を開始いたします。

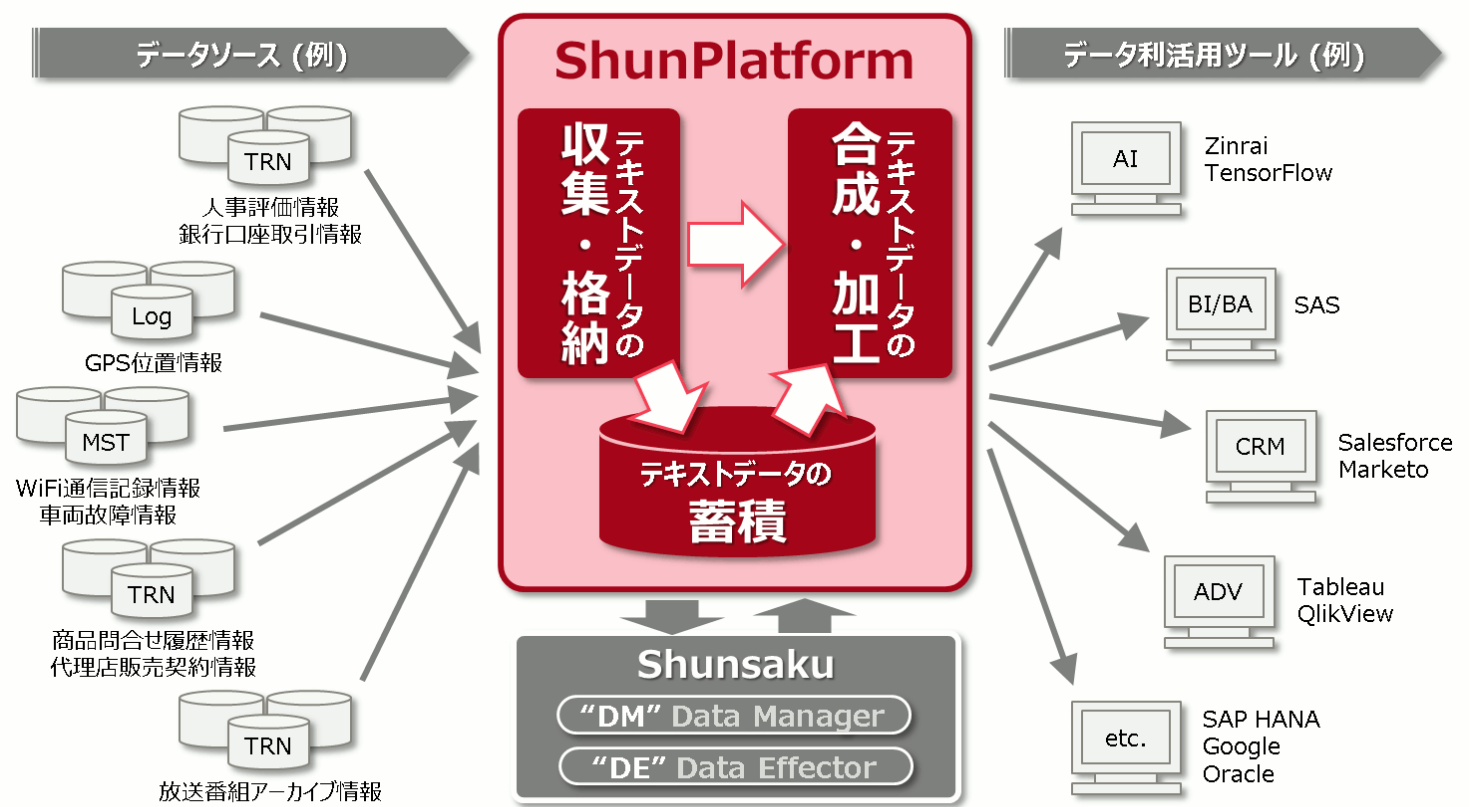
本製品は、クラウド・オンプレミス環境でテキストデータをそのまま格納し、必要に応じて手軽に利活用できるサービス構築への適用を目的としたフレームワークです。高速かつ自在なデータ合成・加工機能により、お客様のデジタルビジネスを促進します。

官公庁および金融分野のお客様をファーストターゲットとして販売活動を展開します。今後、AIデータクレンジングの機能を追加提供することで、製品ラインアップの充実を図り、2021年度末までに70本の販売を目指します。

当社では1999年より、富士通株式会社の「Interstage Shunsaku Data Manager」および「Interstage Data Effector」（以下、Shunsaku）をベースとした、情報統合・活用分野でのシステム受託開発および自社パッケージ製品販売をおこなっています。また、官公庁をはじめ、製造、流通、文教など様々

な業種での情報系システムの設計および開発に携わってまいりました。

近年、IoTやオープンデータを活用した様々なデジタルビジネスの実用化が進んでいますが、形式が不揃いで大量なデータの処理がビジネス遂行上の負担となっています。本製品では、非正規化データ処理に長けたShunsakuとの連携インタフェースを設け、様々なテキストデータを収集・格納し、合成・加工するシステム構築用フレームワークを提供します。



本製品は、データ利活用業務を実現するアジャイル開発基盤としてお使いいただけます。業務サービス・アプリがプログラムレスで開発でき、開発作業の効率化を実感できます。

販売価格、および出荷時期

製品名	販売価格（税抜）	出荷時期	備考
ShunPlatform Standard Edition	6,400,000円	2019年3月25日から	超高速データアクセス+大容量データ処理
ShunPlatform Light DE Edition	3,200,000円	2019年3月25日から	大容量データ処理

販売目標

今後3年間で70本の販売を計画しています。

本製品の特長

1. ありのままのデータ格納・蓄積

データソースで発生した非構造のテキストデータをそのまま扱えます。なお、製品として処理可能なデータサイズに制限はありません。データや利用要件に見合うハードリソースをご準備いただければ、多種類で膨大なデータでも処理可能です。

2. 自由自在なデータの合成・加工

蓄積されたデータに対して、インデックスレスで全文スキャン型の高速データ処理をおこないます。データ中のあらゆる項目に対して加工条件を設定できます。また、処理スピードの高速性からトライアンドエラーによるデータの加工業務にも適しています。

3. プログラムレスの業務開発

業務処理はプログラムレスで開発できます。実際にデータを処理に流し、その結果からパラメータをチューニングするなどして完成度を高めるアジャイル開発にも適しています。また、開発資産の流用によって、他業務の開発の効率化にも役立ちます。

動作環境

[サーバ]

- Windows Server 2016 / Windows Server 2012 / Windows Server 2012 R2
- Red Hat Enterprise Linux 7 / Red Hat Enterprise Linux 6


商標について

- 記載されている製品名などの固有名詞は、各社の商標または登録商標です。

本件に関するお問い合わせ

お電話でのお問い合わせ

官公庁ソリューション本部 政策推進ソリューション部 担当：大津

 03-6424-9818

受付時間 9時～17時（土曜・日曜・祝日・当社指定の休業日を除く）

メールでのお問い合わせ

ShunPlatformに関するお問い合わせ

 fjqs-shun@cs.jp.fujitsu.com

プレスリリースに記載された製品の価格、仕様、サービス内容などは、発表日現在のものです。その後予告なしに変更されることがあります。あらかじめご了承ください。

[コンテンツ利用条件](#)

[個人情報保護ポリシーについて](#)

[商標について](#)

[お問い合わせ](#)



[ホーム](#) > [お知らせ](#) > [プレスリリース](#) > [プレスリリース（2019年）](#) >

システム更改におけるデータ移行支援サービスを提供開始

PRESS RELEASE

2019年3月25日

株式会社富士通九州システムズ

システム更改におけるデータ移行支援サービスを 提供開始

～限られた時間内での安全かつ迅速なデータ移行を支援します～

当社は、株式会社インサイトテクノロジー社が販売する高速データレプリケーション「Attunity Replicate」を用いたデータ移行支援サービス「データ移行ソリューション」を2019年4月から提供開始します。

24時間、365日稼働し続けるICTシステムが求められる昨今、システム更改における業務停止時間を最小限にし、限られた時間内で膨大なデータを確実に移行させるニーズが高まっています。

本サービスは、データベース製品固有の知識と移行スキル・ノウハウを持ったデータベースエキスパートが「Attunity Replicate」を用い、限られた時間内での安全かつ迅速なデータ移行を支援します。

背景

システム更改における現行システムから新システムへの移行の際、最大の難関はデータ移行だと言われています。移行計画の策定に始まり、対象データの選定、方式設計、移行テスト、移行リハーサル、本番移行といったプロセスの中に数多くの作業が存在します。データ移行は、要件が多くなりがちであるにも関わらず、十分な費用やスケジュールが考慮されていないケースも多々見受けられます。

本サービスは、システム更改やクラウド上へのシステム移行をご検討されているお客様を対象に、計画の策定段階からデータ移行に関わる業務をITサービスとしてトータルにサポートするものです。

本サービスの特長

1. 計画策定から移行本番まで一貫したサポートを実施

データベースエキスパートが、データ移行計画策定から移行本番までの作業をサポートいたします。

データ移行プロセス一覧



- **ヒアリングアセスメントからデータ移行計画策定**
事前にチェックツールを用いて、お客様環境の調査、移行対象データの内容を把握し、移行の難易度の診断をおこないます。さらに、当社の移行ノウハウを集約したデータ移行計画のテンプレートを用いて、計画の策定をおこないます。
- **データ移行方式設計**
「Attunity Replicate」の設計ノウハウを基に、格納データに合わせた最適な移行方式を検討します。
- **データ移行環境構築・テスト**
稼働中の現行システムに対し、「Attunity Replicate」のチューニングにより、負荷をコントロールすることで、テスト期間中の業務影響を調整できます。
- **データ移行リハーサル**
業務アプリケーションやバッチ処理を意識したリハーサル計画を策定し、本番移行で発生しうる問題を事前に洗い出します。
- **データ移行本番**
システム切替におけるデータ移行の実施、切替当日の稼働確認に立会い、確実なデータ移行をサポートします。

2. 業務停止時間の大幅短縮

システム切替日まで更新がないデータは、事前に新システムDBに転送します。システム切替日まで更新に時間がかかるデータは「Attunity Replicate」を使い、データ同期をおこないます。（この同期された最新データは、新システムに移行される各種業務アプリケーションの開発用テストデータとして利用することも可能です。）システム切替当日は、最終データのみ反映することで、業務停止時間を大幅に短縮し、切替をおこなうことができます。

3. 現行データベースへの低負荷

「Attunity Replicate」は、現行データベースにソフトウェアやエージェントをインストールの必要がなく、中間に中継サーバを置いて処理が可能であるため、現行データベースへの移行作業で発生する負荷を低減することができます。また各種クラウド上でも利用可能です。

4. 移行データの正当性確認

データ移行リハーサルおよび本番移行後は、一般的に行われる正当性確認のみならず、個々のデータを比較いたします。個々のデータを比較することで、移行データの正当性をより確実にチェックし、安全性を担保します。

提供価格および提供時期

サービス名	提供価格（税抜）	提供時期
データ移行ソリューション	個別見積り	2019年4月1日から

※移行対象となるデータ量に応じて価格が変更になります。

Attunity Replicateについて

データベース、DWH、Hadoopなどの異なるソース／ターゲット間において、高速で簡単なリアルタイム・データ・レプリケーションを可能にするソリューションです。（株式会社インサイトテクノロジー社のHPより抜粋）

インサイトテクノロジー様からのエンドースメン

ト（推薦）

株式会社インサイトテクノロジーは、株式会社富士通九州システムズの「Attunity Replicate」を用いた「データ移行ソリューション」の販売開始を歓迎いたします。

多様化するシステムニーズに答えるために、システムを更改する必要性が増しています。しかし、システム移行の際にダウンタイムなしに新システムへデータ移行をおこなうことは非常に困難な作業として情報システム部門を悩ませています。

このたび富士通九州システムズ様がシステム更改時におけるデータ移行に関する作業をITサービスとしてトータルにご提供することは、多くの企業の情報システム部門の悩みを解決することにつながることを期待しております。

今後ともインサイトテクノロジーはお客様の課題解決にお役に立てるようにパートナー企業との関係強化を推進してまいります。

株式会社インサイトテクノロジー
取締役副社長兼COO：森田 俊哉

商標について

- 記載されている製品名などの固有名詞は、各社の商標または登録商標です。

本件に関するお問い合わせ

お電話でのお問い合わせ

官公庁ソリューション本部 第二アプリケーション開発部 山下、横井



03-6424-9818

受付時間 9時～17時（土曜・日曜・祝日・当社指定の休業日を除く）

メールでのお問い合わせ

当社へのお問い合わせ

 入力フォーム

当社はセキュリティ保護の観点からSSL技術を使用しております

プレスリリースに記載された製品の価格、仕様、サービス内容などは、発表日現在のものです。その後予告なしに変更されることがあります。あらかじめご了承ください。

コンテンツ利用条件

個人情報保護ポリシーについて

商標について

お問い合わせ

富士通ホームへ

Copyright 1994 - 2021 FUJITSU



[ホーム](#) > [お知らせ](#) > [プレスリリース](#) > [プレスリリース \(2019年\)](#) >

[ウインチで国内トップ企業の製品開発と海外展開を「iCAD SX」が支える](#)

PRESS RELEASE

2019年3月22日

株式会社富士通九州システムズ

ウインチで国内トップ企業の製品開発と海外展開 を「iCAD SX」が支える

～スピード開発が求められる中で、設計資産（図面）を活かして開
発効率を高める～

ウインチ専門メーカーとして国内トップシェアを誇るマックスプル工業株式会社様（本社：千葉県流山市、代表取締役社長 小野幸一氏、以下 マックスプル工業様）。同社は、設計作業の効率化を目的に、1994年に富士通九州システムズ（以下、FJQS）から「iCAD SX」を導入。以来、四半世紀に渡って活用されてきました。

過去の設計資産（図面）を活かすことが容易になり、設計作業自体もスピードアップ。スピード開発が求められるなかで、開発効率を高めていくためにも、今や「iCAD SX」は欠かせない存在であり、現在、海外展開を積極的に進めて、世界でもNo.1をめざして取り組む同社を支えています。

背景と導入効果

マックスプル工業様は、世界的にも珍しいウインチ専門メーカーで、国内シェア約70%を誇り、5年前からは海外展開も積極的に進め、現在、10カ国12拠点を展開しています。同社は、かつて手書きで図面を描いていた作業を効率化し、製品開発をスピードアップするための手段として1994年9月に「iCAD SX」を導入。以後、四半世紀に渡って「iCAD SX」を2次元主体で活用し、トップシェアを誇るウインチ製品の開発にフルに活用してきました。

ウインチは、10年、20年単位の長期スパンで使用されるユーザーが少なくないため、かなり古い時代の製品についての問い合わせ、改良、機能追加などの要望が寄せられます。そこで過去モデルの一部を流用して配置したり、過去データを参照するなど、設計資産（図面）の活用が不可欠です。

「iCAD SX」の導入で、過去データの参照が容易にできるようになり、設計作業が大幅に効率化しました。「iCAD SX」は2次元3次元両用設計で、装置や生産設備の設計に特化した製品のため、さまざまな設計に対応した汎用的な製品と比べて設計が容易で、圧倒的な高速処理が可能です。小ロット多品種、そしてスピード開発が求められるなかで、開発効率を高めていくにも、マックスプル工業様にとって、今や「iCAD SX」は欠かせない存在になっています。

今後の展開

今後、マックスプル工業様では、製品開発に解析を取り入れていくことを検討しています。新製品の開発において、シミュレーションをして製品性能を予測しターゲットを設定してから設計に入ること、これまで以上に高品質で低コストな製品づくりをめざしていく方針です。そして、日本のみならず、世界でもシェアNo.1をめざしています。

本製品の特長

「iCAD SX」は、機械・装置設計の製品形状や設計プロセスの特徴に着目して開発した3次元CADシステムです。2次元3次元両用設計となっており、搭載するエンジンは、他の3次元CADシステムに搭載されているエンジンと比べ200倍の高速処理性能をもち、100万部品の大規模な機械装置においても0.2秒で処理することが可能です。

商標について

- 記載されている製品名などの固有名詞は、各社の商標または登録商標です。

関連リンク

- [マックスプル工業株式会社 様導入事例](#)
- [機械装置向け3次元CAD FUJITSU Manufacturing Industry Solution iCAD SX](#)  [（富士通サイト）](#)

本件に関するお問い合わせ

お電話によるお問い合わせ

エンジニアリングソリューション本部 エンジニアリング営業部

 03-6424-9942

受付時間 9時～17時（土曜・日曜・祝日・当社指定の休業日を除く）

プレスリリースに記載された製品の価格、仕様、サービス内容などは、発表日現在のものです。その後予告なしに変更されることがあります。あらかじめご了承ください。

[コンテンツ利用条件](#)

[個人情報保護ポリシーについて](#)

[商標について](#)

[お問い合わせ](#)



[ホーム](#) > [お知らせ](#) > [プレスリリース](#) > [プレスリリース \(2019年\)](#) >

創薬支援インフォマティクスシステム構築事業成果の商用化について

PRESS RELEASE

2019年3月18日

国立研究開発法人 医薬基盤・健康・栄養研究所

国立研究開発法人理化学研究所

株式会社富士通九州システムズ

創薬支援インフォマティクスシステム構築事業成果の商用化について

3月15日、国立研究開発法人 医薬基盤・健康・栄養研究所（医薬健栄研、理事長 米田 悦啓）及び国立研究開発法人理化学研究所（理研、理事長 松本 紘）は、医薬品創製の研究初期における候補化合物のふるい分けや、構造最適化段階における分子設計を効率的におこなうために、薬物動態と毒性を中心としたインシリコの統合解析プラットフォーム（データベース、モデリング機能、予測機能から成るシステム）を構築し、株式会社 富士通九州システムズ（富士通九州、代表取締役社長 石井 雄一郎）で商用化することを決定し、三者で覚書を締結いたしました。

今後、医薬健栄研と理研が構築する薬物動態と心毒性に関する予測機能を富士通九州のシステムに搭載し、2020年度初旬のリリースを目指します。

本インシリコ統合解析プラットフォームは、国立研究開発法人日本医療研究開発機構（AMED、理事長 末松 誠）が、「オールジャパンでの医薬品創出プロジェクト」の一環として、創薬支援ネットワーク^(注1)による支援機能を強化するために、2015年度から5か年の計画で実施している「創薬支援推進事業—創薬支援インフォマティクスシステム構築—」^(注2)における研究成果の一部を活用するものです。

注1 「創薬支援ネットワーク」は、大学等の優れた基礎研究の成果を医薬品として実用化に導くため、AMED創薬戦略部が本部機能を担い、理研、医薬健康研、産業技術総合研究所等との連携により、革新的医薬品の創出に向けた研究開発等を支援しています。

(参照：<https://www.amed.go.jp/program/list/06/network.html>)

注2 創薬支援推進事業「創薬支援インフォマティクスシステム構築」は、医薬品や化合物に関する情報を格納した統合型データベースを構築し、新規化合物の代謝、毒性等を予測する多元的構造活性相関の手法を開発し、創薬支援に活用することを目的としています。

(参照：https://www.amed.go.jp/program/list/06/03/001_02-02.html)

商標について

- 記載されている製品名などの固有名詞は、各社の商標または登録商標です。

報道関係からのお問い合わせ先

- 国立研究開発法人 医薬基盤・健康・栄養研究所**

国立研究開発法人 医薬基盤・健康・栄養研究所 戦略企画部 戦略企画課

〒567-0085 大阪府茨木市彩都あさぎ7-6-8

Tel：072-641-9832 Fax：072-641-9821

E-mail：kikaku@nibiohn.go.jp

- 国立研究開発法人理化学研究所**

国立研究開発法人理化学研究所 広報室 報道担当

Tel：048-467-9272 Fax：048-462-4715

E-mail：ex-press@riken.jp

本件に関するお問い合わせ

お問い合わせ

富士通株式会社 ソーシャルデザイン事業本部 デジタルラボ事業部





お電話・メールでのお問合せ（富士通サイトへ）

プレスリリースに記載された製品の価格、仕様、サービス内容などは、発表日現在のものです。その後予告なしに変更されることがあります。あらかじめご了承ください。

[コンテンツ利用条件](#)

[個人情報保護ポリシーについて](#)

[商標について](#)

[お問い合わせ](#)

[富士通ホームへ](#)

Copyright 1994 - 2021 FUJITSU



ホーム > お知らせ > プレスリリース > プレスリリース (2019年) >

富士通決済サービス、キャッシュレス決済を強化し「WeChatPay」「LINE Pay」に対応

PRESS RELEASE

2019年3月15日

株式会社富士通九州システムズ

富士通決済サービス、キャッシュレス決済を強化し 「WeChatPay」「LINE Pay」に対応

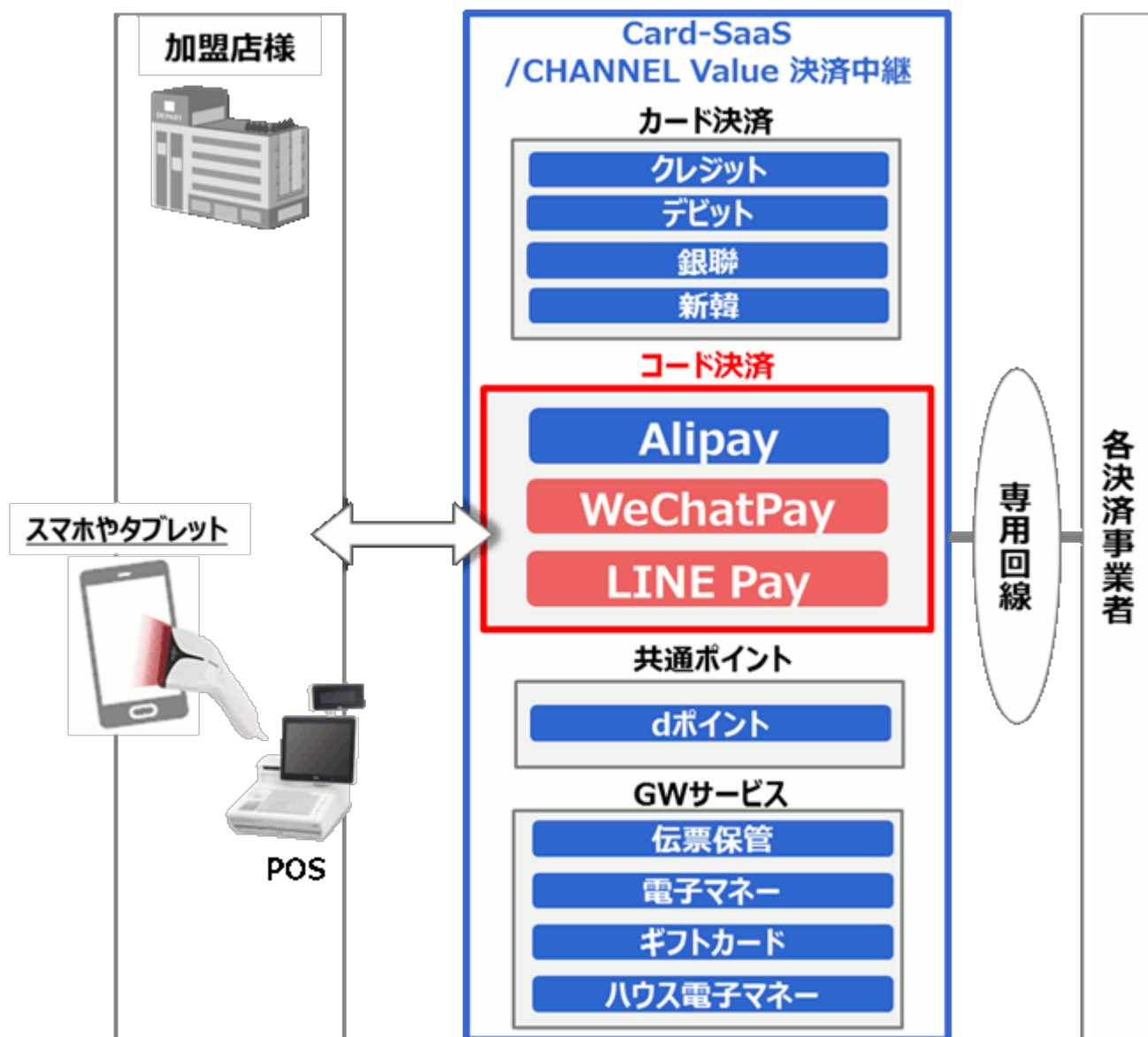
当社は、従来から提供している決済中継サービス「Card-SaaS/CHANNEL Value 決済中継」（以下、本サービス）のサービスメニューを拡充し、このたび、「WeChatPay」「LINE Pay」に対応しました。

政府のキャッシュレス^(注1)推進の流れを受け、国内でもQRコードやバーコードを用いて決済をおこなうコード決済を中心にキャッシュレス決済が浸透しています。本サービスでは、今後もキャッシュレス決済に順次対応し、加盟店様のキャッシュレス売上に貢献します。

背景・概要

近年、決済業界ではクレジットカードをはじめとしたキャッシュレス決済がトレンドとなっています。政府のキャッシュレス推進も影響し、なかでもコード決済は急速に普及しています。コード決済は中国インバウンド決済をきっかけに広がりましたが、現在では、国内発のコード決済も続々と登場しています。

本サービスでは、2017年9月から、コード決済メニューとして「Alipay」中継サービスを提供しておりますが、このたび、新たに「WeChatPay」、「LINE Pay」中継サービスの提供を開始しました。



新規サービスメニュー

1. 「WeChatPay」

「Alipay」同様、中国インバウンド系コード決済です。本サービスでは、「Alipay」と併用して利用することが可能であり、加盟店様のインバンド売上をより強力にサポートします。

2. 「LINE Pay」

国内最大規模のユーザ数を誇る「LINE」が提供する決済サービスです。本サービスでは、店舗のPOSで読み取ったコードをもとに「LINE Pay」決済を中継します。

今後の取り組み

キャッシュレスに関するサービスは今後益々増えていくと予想されます。当社では、コード決済をはじめ、業界の動向を意識した更なるサービスの拡充に努めてまいります。

サービス名称

Card-SaaS クレジット決済中継	決済種類：クレジットカード
Card-SaaS 決済中継（即時引落とし型）	決済種類：デビット、銀聯、新韓、Alipay、WeChatPay、LINE Pay
Card-SaaSは、富士通が提供する小売業向け情報利活用ビジネスプラットフォーム「FUJITSU Retail Solution CHANNEL Value」の決済オプションとしても提供をしております。	

本サービスの特長

1. 小売企業向けの業務支援機能
小売業に精通している当社だからこそできるお客様の運用を意識したさまざまな業務支援機能を提供いたします。
 - ・ カード会社別(店舗別)の売上照会、リアルタイムの取引照会 等
2. 各加盟店要件に合わせたカスタマイズが可能
お客様の要件に合わせてカスタマイズがおこなえる柔軟性の高いソリューションサービスを提供いたします。
3. 加盟店運用のセキュリティ対策ノウハウ
本サービスは、PCI-DSS認証を取得しており、加盟店運用を意識したセキュリティ対策の支援が可能です。

動作環境

[決済中継機能]	・ 本サービス仕様に基づくTCP/IP接続 HULFT8
----------	---------------------------------

[ファイル連携機能]

-

[WEB帳票機能]

- Internet Explorer 11 まで

- Adobe Acrobat Reader DC 2015.008.20082 まで

注釈

注1 キャッシュレス：

クレジットカードや電子マネーなど現金以外で支払いをおこなうこと。

関連リンク

> 「Card-SaaS クラウド型クレジット決済サービス」紹介サイト

商標について

- 記載されている製品名などの固有名詞は、各社の商標または登録商標です。

本件に関するお問い合わせ

お電話でのお問い合わせ

産業流通ソリューション本部
第一流通ソリューション部 Card-SaaS 担当



092-707-5640

受付時間 9時～17時（土曜・日曜・祝日・当社指定の休業日を除く）

メールでのお問い合わせ

Card-SaaSに関するお問い合わせ



入力フォーム

当社はセキュリティ保護の観点からSSL技術を使用しております

プレスリリースに記載された製品の価格、仕様、サービス内容などは、発表日現在のものです。その後予告なしに変更されることがあります。あらかじめご了承ください。

[コンテンツ利用条件](#)

[個人情報保護ポリシーについて](#)

[商標について](#)

[お問い合わせ](#)

[富士通ホームへ](#)

Copyright 1994 - 2021 FUJITSU



ホーム > お知らせ > プレスリリース > プレスリリース（2019年） >

富士通の新拠点にIoTの実践ソリューション「Internet of toilet」を導入

PRESS RELEASE

2019年3月13日

株式会社富士通九州システムズ

富士通の新拠点にIoTの実践ソリューション 「Internet of toilet」を導入

～トイレの混雑緩和・看守りに加え、従業員の健康管理にも役立て
る～

富士通株式会社が、ネットワーク事業の中核拠点と位置付ける富士通新川崎テクノロジースクエア。その開設に合わせて、新しい開発拠点にふさわしい新たなIoT実践の取り組みとなる設備として同社が導入したのが、当社が提案したトイレの混雑緩和・看守りサービス「Internet of toilet」です。

これによりトイレの混雑回避への貢献とともに、看守り機能が急病人の早期発見をアシスト。さらに、利用状況のデータを有効活用して従業員の健康管理等に役立てることをめざしています。

背景と導入効果

富士通新川崎テクノロジースクエアは、富士通のネットワーク事業の中核拠点です。当該拠点におい

て、働きやすい、安心安全な環境づくりを一手に担う総務・リスクマネジメント本部 新川崎テクノロジースクエア総務部では、新事業所の開設に合わせて、新しい開発拠点にふさわしい新たなIoT実践の取り組みとなる設備の導入を検討していました。

その時に当社が提案したのがトイレの混雑緩和・看守りサービス「Internet of toilet」です。トイレの看守り、混雑緩和は富士通の他事業所も含めた共通の課題であり、安心安全な環境づくりの一環として効果が期待され、かつユニークな取り組みにもなることから採用が決定し、開設に合わせて2017年6月に導入しました。

「Internet of toilet」の導入で、富士通新川崎テクノロジースクエアでは、一定の時間帯に個室トイレが混雑する事態はほとんど発生していません。また看守り機能によって、個室トイレ内で急病を発症した場合に発見の遅れを防止できるなど、利用者に安心感を提供しています。

今後の展開

「Internet of toilet」は、トイレの利用状況が見える化するための各種のレポートを用意しています。今後、新川崎テクノロジースクエア総務部では、蓄積する利用状況のデータ分析を進めていく方針です。アラームの頻度や発生場所・時間帯等の傾向から、従業員の体調や心の健康・ストレスの状況を推し測るためのツールとして活用するなど、健康維持・管理につなげていくことをめざしています。

本サービスの特長

「Internet of toilet」は、各フロアのトイレの空き状況を、自席のパソコンやスマートフォン、廊下に設置した表示灯で確認できるクラウド型サービスです。もうひとつの機能である看守り機能では、トイレの個室に設置されたドア開閉センサーと緊急通報ボタンで、防災センターに異常を通知します。自動音声で呼びかける機能により、自ら動けない急病人についても早期発見できる仕組みを備えています。

商標について

- 記載されている製品名などの固有名詞は、各社の商標または登録商標です。


関連リンク

➤ 富士通株式会社（富士通新川崎テクノロジースクエア）導入事例

本件に関するお問い合わせ

お電話でのお問い合わせ

未来社会ソリューション本部 デジタルサービス開発部

 092-260-6212

受付時間 9時～17時（土曜・日曜・祝日・当社指定の休業日を除く）

メールでのお問い合わせ

Internet of toiletに関するお問い合わせ

 入力フォーム

当社はセキュリティ保護の観点からSSL技術を使用しております

プレスリリースに記載された製品の価格、仕様、サービス内容などは、発表日現在のものです。その後予告なしに変更されることがあります。あらかじめご了承ください。

コンテンツ利用条件

個人情報保護ポリシーについて

[商標について](#)

[お問い合わせ](#)

[富士通ホームへ](#)

Copyright 1994 - 2021 FUJITSU



ホーム > お知らせ > プレスリリース > プレスリリース（2019年） > 日本薬学会へ薬物相互作用予測ソフトを出展

PRESS RELEASE

2019年3月11日

株式会社富士通九州システムズ


日本薬学会へ薬物相互作用予測ソフトを出展

当社は、3月20日（水曜日）から3月23日（土曜日）にかけて開催される日本薬学会第139年
会に薬物相互作用予測ソフトの出展をします。

本会では、「智の継承、そして発展」をテーマに、講演、シンポジウム、ワークショップ、ポ
スター発表などが開催されます。

当社ブースでは、薬物併用時の薬物相互作用を予測する「DDI Simulator」や薬物動態関連た
んぱく質・薬物の相互作用情報を文献から収載した「ADME Database」のほか、薬の毒性・
薬物動態予測をおこなう「ADMEWORKSシリーズ」を出展します。プレスリリースを見て事
前にご連絡いただいた方には、個別相談会も実施しております。是非、当社ブースまでご来臨
賜りますよう、お願い申し上げます。


日本薬学会第139年会

- 期間：2019年3月20日（水曜日）～3月23日（土曜日）
- URL：[日本薬学会第139年会](#) 

当社出展期間

- 3月 21日（木曜日）9時30分～16時20分
- 3月 22日（金曜日）9時30分～16時
- 3月 23日（土曜日）9時30分～16時

会場

- 幕張メッセ（国際展示場 8 ホール） 小間No.65
〒261-8550 千葉県美浜区中瀬2-1
- URL：[アクセスガイド](#) | [幕張メッセ](#) 

当社出展ソリューション

1. 薬物体内動態シミュレーションソフト「DDI Simulator」

「DDI Simulator」は、薬物の併用投与時に薬効・副作用発現の変動を引き起こしうる薬物相互作用の程度を、体内動態パラメーターの情報に基づき、基質薬物の挙動について生理学的モデルを用いたシミュレーションで予測するソフトウェアです。

2. 薬物代謝酵素P450/トランスポーターに関するデータベース「ADME Database」

「ADME Database」は、クロアチアのレンディック博士^(注1)が、文献から収集したヒトの薬物動態関連たんぱく質・薬物の情報^(注2)データベースです。薬物の吸収、分布、代謝、排泄に関わるチトクロームP450^(注3)、その他の薬物代謝酵素と薬物トランスポーター^(注4)情報を収載しています。

3. 毒性/薬物動態インシリコ予測システム「ADMEWORKSシリーズ」

「ADMEWORKSシリーズ」は、化学物質や薬物などの安全性と体内における変化を、コンピュータ上で評価するためのシステムです。製薬企業における新薬開発にだけ用いられるのではなく、動物実験代替法への関心が高まっていることもあり、化学メーカーや化粧品メーカーでもご利用いただいております。

商標について

- 記載されている製品名などの固有名詞は、各社の商標または登録商標です。

用語説明

注1 レンディック博士:

レンディック博士は、薬物動態分野の著名な研究者です。

注2 薬物動態関連たんぱく質・薬物の情報:

投与された薬物が作用発現部位に到達する過程における、吸収、分布、代謝、排泄などに関連するたんぱく質情報です。

注3 チトクロームP450:

薬物を体外に排泄されやすい形に代謝する酵素です。

注4 トランスポータ:

トランスポータ薬物を輸送するたんぱく質です。

関連リンク

- 薬物体内動態シミュレーションソフト「DDI Simulator」
- 薬物代謝酵素P450/トランスポータに関するデータベース「ADME Database」
- 毒性/薬物動態インシリコ予測システム「ADMEWORKSシリーズ」

本件に関するお問い合わせ

お問い合わせ

富士通株式会社 ソーシャルデザイン事業本部 デジタルラボ事業部



お電話・メールでのお問合せ（富士通サイトへ）

プレスリリースに記載された製品の価格、仕様、サービス内容などは、発表日現在のものです。その後予告なしに変更されることがあります。あらかじめご了承ください。

コンテンツ利用条件

個人情報保護ポリシーについて

商標について

お問い合わせ

富士通ホームへ



ホーム > お知らせ > プレスリリース > プレスリリース (2019年) >

デバイス／クラウドセキュリティMcAfee「MVISION」を販売開始

PRESS RELEASE

2019年1月21日

株式会社富士通ソーシャルサイエンスラボトリ

株式会社富士通九州システムズ

デバイス／クラウドセキュリティ McAfee「MVISION」を販売開始 ～ 富士通SSLとFJQSが連携し、エンドポイントおよびクラウドの セキュリティを一元管理 ～

株式会社富士通ソーシャルサイエンスラボトリ（本社：神奈川県川崎市、代表取締役社長：土肥 啓介、以下：富士通SSL）と株式会社富士通九州システムズ（本社：福岡県福岡市、代表取締役社長：石井 雄一郎、以下：FJQS）は、「MVISION」（McAfee Multi Vendor InSights & Intelligence Open Environment）を2019年1月21日に販売開始します。

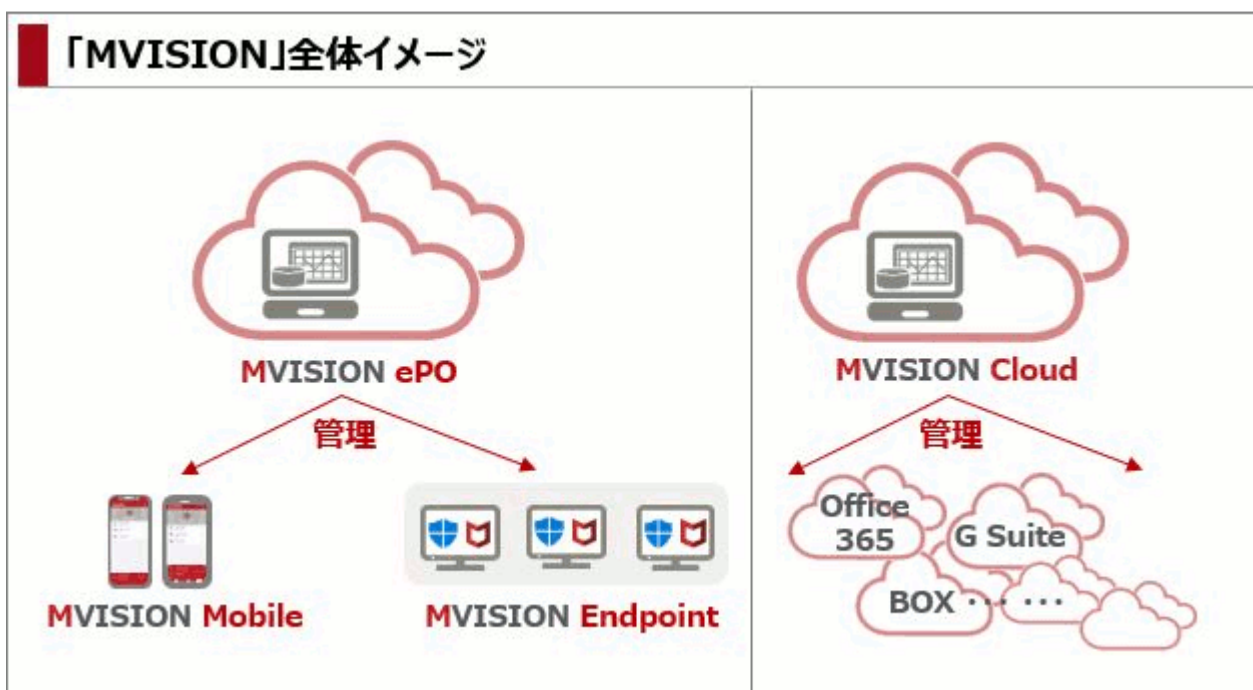
「MVISION」は、Windowsデバイスを守る「Endpoint」とiOS/Androidを守る「Mobile」、この2つを一元管理する統合管理サーバ「ePO」（ePolicy Orchestrator）、および、CASB（Cloud Access Security Broker）^{（注1）}でクラウド利用を一元管理する「Cloud」の4つで構成されるセキュリティソリューションです。

富士通SSLは、「Endpoint」、「Mobile」、「ePO」を、FJQSは「Cloud」を取り扱い、各社の得意分野とノウハウを活かし、お客様のご要件に合わせて共同で「MVISION」を提供します。両社は長年に渡り、強力なビジネスパートナーとして連携しており、セキュリティ診断や監視サービス等において数多くのお客様のセキュリティ強化を共に実現し、安心・安全をご支援しています。

企業では、働き方改革によるワークスタイルの多様化に伴い、今後BYOD^(注2)の導入がさらに加速すると予測されています。BYODの導入により、社員はノートパソコンやスマートフォン、タブレット、スマートウォッチなどのデバイスを利用シーンに合わせ柔軟に選択できるようになり、利便性が向上します。一方、企業では複雑化するデバイスの管理やクラウド利用へのセキュリティリスク対策とその運用コストが課題となっています。

「MVISION」は、「ePO」、「Endpoint」、「Mobile」でエンドポイントセキュリティを、「Cloud」でクラウド環境のセキュリティを包括的に管理するソリューションです。エンドポイントセキュリティについては、従来複数のコンソールで管理していたセキュリティ製品やアプリケーションを「ePO」で一元管理することで、効率的に安全なエンドポイント環境を実現します。Windows Defenderなどのサードパーティにも対応し、SaaS型コンソールのため、既存環境から容易に移行でき、短期導入が可能です。クラウドセキュリティについては、社内で利用されている全てのクラウドサービス（SaaS、IaaS、PaaS）の利用状況を可視化し、管理することで、リスクを低減することができます。また、アクティビティ監視やアノマリ検知、データ損失防止（DLP）や共有制限などの機能を備えており、さらなるセキュリティ強化が可能です。

富士通SSLとFJQSは「MVISION」の提供により、あらゆるワークスタイルにおけるデバイス／クラウド利用の安心安全を実現し、企業の働き方改革をセキュリティの面から支援してまいります。また今後、「マネージド・セキュリティサービス（MSS）」で、セキュリティプロフェッショナルによる「MVISION」の運用代行サービスも予定しています。



「MVISION」の特長

1. 「MVISION ePO」で効率的なデバイス管理を実現

SaaS型の統合管理サーバ「MVISION ePO」で、「MVISION Endpoint」、「MVISION Mobile」を一元管理します。McAfee製品をはじめWindows Defenderなどサードパーティのアプリケーションを含むエンドポイントのセキュリティ環境を単一コンソールで可視化し、リスク管理を行うことができます。SaaS型のため維持管理やサイジングが不要で、インフラコストも削減可能です。

2. 「MVISION Endpoint」でWindowsデバイスの強固なセキュリティを実現

McAfee Endpoint SecurityとWindows Defenderの組み合わせにより、Windows 10独自のセキュリティ機能を強化します。McAfee Endpoint Securityの機械学習機能、認証情報の盗撮監視機能、ロールバック機能で高度なファイルレスマルウェアの脅威も阻止し、強固なセキュリティを実現します。

3. 「MVISION Mobile」でiOSとAndroidの保護を実現

ユーザーの操作性を損なわずにiOS／Androidデバイスをリアルタイムに保護します。公共のアクセスポイント、モバイル通信など、ネットワーク接続方法に関係なく、常にモバイルデバイスを保護します。BYODのモバイルデバイスに対しても、プライバシーを侵害することなく常時安全な環境を保つことができます。富士通SSLは働き方改革を強力に推進しており、今般「MVISION Mobile」の社内実践をスタートし、順次導入を拡大していく予定です。

4. 「MVISION Cloud」でクラウドデータの保護も実現

全てのクラウドデータ、コンテキスト、ユーザーの動作を可視化し、クラウドと送受信される機密情報を保護します。クラウドサービス内のポリシー違反やセキュリティ脅威をリアルタイムで検出し、アクションを実行することで、常に安全なクラウド利用を実現します。なお「MVISION Cloud」は、分析やコンサルティング、運用をサポートする「クラウド利用監視サービス」として提供します。

参考価格（税別）

メニュー	ユーザーライセンス	年間総額	内容
MVISION Standard (MV1)	3,982円／年	5,973,000円／年	ePO (SaaS) + Endpoint
MVISION Plus (MV2)	8,124円／年	12,186,000円／年	ePO (SaaS、AWS、On-Premises)

※1500ユーザーの場合

※「MVISION Cloud」（「クラウド利用監視サービス」）についてはFJQSにお問い合わせください。

販売開始日

2019年1月21日

販売目標



3年で15億円

マカフィー株式会社様からのエンドースメント

この度、クラウドシステムやセキュリティ運用における豊富な実績をお持ちの富士通ソーシャルサイエンスラボ様と富士通九州システムズ様より、「MVISION」が提供されることを心より歓迎いたします。働き方の多様化が進み、新たな課題が顕在化する中、「MVISION」の提供により、エンドポイントだけでなくクラウド上においても、企業が重要な情報資産を保護し、安心安全な環境でビジネスを推進できるようになるものと確信しております。マカフィーは今後も「デバイスからクラウドまでを保護するサイバーセキュリティ企業」として、お客様のセキュリティ対策の強化に貢献してまいります。

マカフィー株式会社
代表取締役社長 山野 修

関連Webサイト

- 「MVISION」 ePO／Endpoint／Mobile  [富士通SSLサイト]
- 「MVISION」 Cloud（クラウド利用監視サービス） [FJQS]
- 「マネージド・セキュリティサービス（MSS）」  [富士通SSLサイト]

注釈

注1 **CASB**（Cloud Access Security Broker）：

複数のクラウドサービスに対してクラウドアクセスログ分析やセキュリティポリシーの適用、アクセスコントロールを実現する仕組み。

注2 **BYOD**（Bring Your Own Device）：

業務に私物のスマートフォンやノートパソコンなどのデバイスを使用すること。

商標について

- 記載されている製品名などの固有名詞は、各社の商標または登録商標です。

報道関係者お問い合わせ

- 株式会社富士通ソーシャルサイエンスラボラトリ
広報室
電話：044-739-1520（直通） E-mail：ssl-pro@cs.jp.fujitsu.com

製品／サービスお問い合わせ先

- 株式会社富士通ソーシャルサイエンスラボラトリ
商品お問合せ窓口
E-mail：ssl-pro@cs.jp.fujitsu.com
- 株式会社富士通九州システムズ

プレスリリースに記載された製品の価格、仕様、サービス内容などは、発表日現在のものです。その後予告なしに変更されることがあります。あらかじめご了承ください。

[コンテンツ利用条件](#)

[個人情報保護ポリシーについて](#)

[商標について](#)

[お問い合わせ](#)

[富士通ホームへ](#)



ホーム > お知らせ > プレスリリース > プレスリリース（2019年） >

Android端末で動作する「Analog Meter Recognizer Edge」を発売

PRESS RELEASE

2019年1月18日

株式会社富士通九州システムズ

Android端末で動作する「Analog Meter Recognizer Edge」を発売

～アナログメーター（円形、7セグ、フロート、ドラム式）、LEDランプをデジタル化～

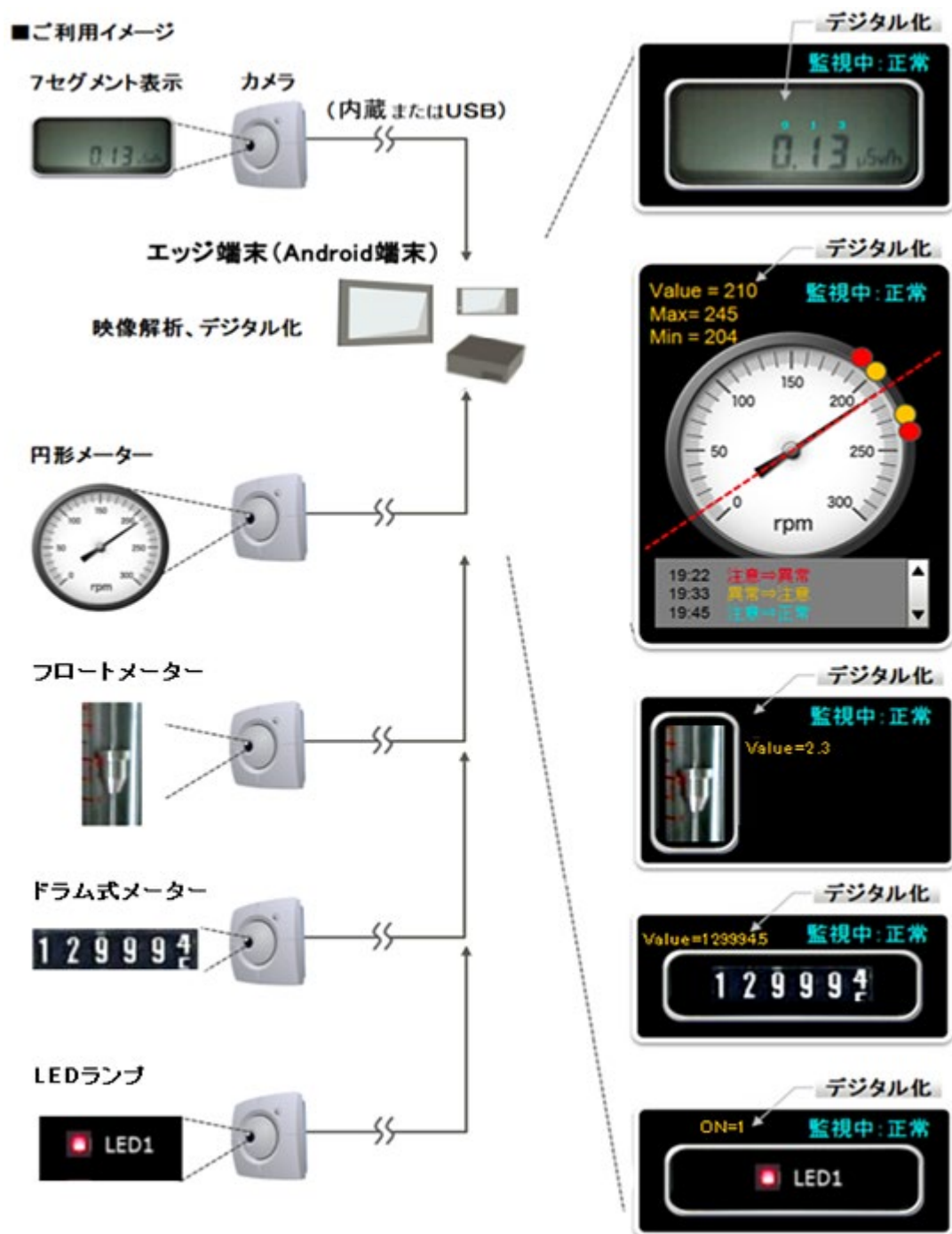
当社は、エッジ端末（Android端末）^{（注1）}で、アナログメーターを認識しデジタル化する「Analog Meter Recognizer Edge V1.0」を2018年12月27日から販売を開始しました。

本製品は、デジタル出力のないメーターの計測値を、画像認識技術によりデジタル化するソフトウェアです。当社では、すでに2011年からWindows版「Analog Meter Recognizer」を提供しており、このノウハウを生かして、お客様から要望を多くいただいたエッジ端末（Android端末）上で動作する本製品（エッジ版）を開発しました。併せて、対象のメーター種類についても、要望が多かったフロートメーター、ドラム式メーターを追加しています。

現状、データ送信機能のないメーターが設置されている現場では、定期的に作業員が巡回し、目視によるメーター数値の読み取りをおこなっています。異常値発生時には、現場で常時、メーター監視する必要があり作業員の負荷も大きくなります。本製品は既存のメーター・設備を変更することなく、映像解析用のエッジ端末（Android端末）を設置していただくことで、各種機器（円形メーター、7セグメント表示、フロートメーター、ドラム式メーター、LEDランプ）を画像認識し、計測値をデジタ

ル化できます。デジタル化することで「数値の遷移が取得できる」、「機器の可視化ができる」、「遠隔地のデータを取得できる」、「人の立ち入りが危ない場所にあるメーターをデジタル化できる」などのメリットがあります。また、測定値を他システムへ連携すれば、リアルタイム監視もできます。

エッジ版はWindows版と比べて、フロートメーター、ドラム式メーターも認識が可能となり、マーカ一補正機能（【本製品の特長】項参照）を備えています。さらに、Windows版よりも安価な価格を実現しました。



販売価格、および出荷時期

製品名	販売価格（税抜）	出荷時期
Analog Meter Recognizer Edge V1.0	50,000円	2018年12月27日から

販売目標

国内において今後3年間で、1000ライセンスの販売を計画。

本製品の特長

- 多彩なメーター種類に対応
Windows版「Analog Meter Recognizer V2.1(V02L02)」で対応している円形メーター、7セグメント表示機器、LEDランプに加え、フロートメーター、ドラム式メーターに対応しました。(注2)(注3)
- 精度よく認識するためのマーカー補正機能
認識対象の撮影距離や撮影角度に依存せず、精度よく認識するためのマーカー補正機能（特許出願中）があります。(注4)
- 計測値をリアルタイム監視
お客様が設定する監視間隔（認識間隔）でメーター測定値をShellスクリプト(注5)に連携できます。
また、カメラ映像に問題（遮蔽物などでメーターが見えなくなる、カメラがずれる、レンズがくもってメーターの針が見えなくなる等）が発生した場合や、設定されたしきい値を超えた場合は、スナップショット画像を保存します。しきい値の種類は、二段階（注意、危険）あります。

使用技術

- ロバストな針角度の算出技術（特許取得済）
- 明るさの変化に強く、液晶パネルの切替りの遅さに対応した判定技術（特許取得済）
-

- ドラム式メーターで整数末尾数字の回転状況から小数点以下数値の算出技術（特許出願済）
- 認識対象の撮影距離や撮影角度に依存せず、精度よく認識するためのマーカー補正に関する技術（特許出願済）

動作環境

[認識アプリケーション（Android端末）]

OS：	Android 4.2.2 以降
CPU：	ARM 系CPU(armeabi-v7a に対応したもの)
ストレージ：	300MB 以上

[設定ツール（Windows端末）]

OS：	Microsoft® Windows® 7以降（32 ビット版または64 ビット版）
CPU：	Intel® Core™2以降1.2GHz以上を推奨
メモリ：	1GB以上を推奨

注釈

注1 エッジ端末とは、サーバ側で処理を行わず、端末（現場）側で処理を行う機器の総称です。端末（現場）側で処理を行うため、通信負荷の低減とリアルタイム化に繋がります。今回は、Android端末（Android OSが動作しているエッジ端末）が対象です。

注2 100%の認識を保証するものではありません。また、認識性能は撮影条件に影響されます。

注3 本製品で接続できるカメラは1台、監視対象のメーターは1個です。

注4 対象メーターの四隅にカラーマーカーが必要です。

注5 Shellスクリプトは、お客様にて準備する必要があります。

関連リンク

> 「Analog Meter Recognizer Edge」紹介サイト

商標について

- 記載されている製品名などの固有名詞は、各社の商標または登録商標です。

本件に関するお問い合わせ

お電話でのお問い合わせ

未来社会ソリューション本部 デジタルサービス開発部



097-534-9426

受付時間 9時～17時（土曜・日曜・祝日・当社指定の休業日を除く）

メールでのお問い合わせ

当社へのお問い合わせ



入力フォーム

当社はセキュリティ保護の観点からSSL技術を使用しております

プレスリリースに記載された製品の価格、仕様、サービス内容などは、発表日現在のものです。その後予告なしに変更されることがあります。あらかじめご了承ください。

コンテンツ利用条件

個人情報保護ポリシーについて

[商標について](#)

[お問い合わせ](#)

[富士通ホームへ](#)

Copyright 1994 - 2021 FUJITSU



[ホーム](#) > [お知らせ](#) > [プレスリリース](#) > [プレスリリース \(2019年\)](#) >

ENEX2019第43回地球環境とエネルギーの調和展に、ヒートポンプ式給湯機制御システムを出展

PRESS RELEASE

2019年1月11日

株式会社富士通九州システムズ

ENEX2019第43回地球環境とエネルギーの調和展 に、ヒートポンプ式給湯機制御システムを出展 ～太陽光発電の余剰分を活用し、ご家庭の電気代節約に貢献～

当社は、1月30日（水曜日）から2月1日（金曜日）にかけて開催される「ENEX2019第43回地球環境とエネルギーの調和展」に、太陽光発電余剰吸収が可能なヒートポンプ式給湯機（以下HP給湯機）制御デモシステムを出展し、HP給湯機制御システムの機能や運用イメージをご紹介します。

当社は、固定価格買取制度による買取期間が満了する需要家様へサービスを検討されているアグリゲーター事業者様向けに、HP給湯機制御システムの構築に取り組んでいます。本HP給湯機制御システムは、太陽光発電の余剰分を活用し、夜間に沸き上げを行う場合と比較して節約が可能な時間帯はお湯を沸かすことで、家庭用HP給湯機をより割安な料金で使用することができるため、ご家庭の電気代節約に貢献します。是非、富士通ブースまでご来臨賜りますようお願い申し上げます。

ENEX2019 第43回地球環境とエネルギーの調和展

期間：

2019年1月30日（水曜日）～2月1日（金曜日）

URL：

[ENEX2019第43回地球環境とエネルギーの調和展](#) 

会場：

東京ビッグサイト東1・2ホール

〒135-0063 東京都江東区有明3-11-1

HP給湯機制御システムとは

家庭での電気、熱、ガスなどエネルギー利用を最適化するため、HP給湯機と、太陽光・蓄電池（他社サービス）を連動し、負荷制御します。高度なスケジューリングをおこなうための電力平準化アルゴリズム（特許出願中）を採用し、電力需要の変動に対応した経済的で安定した供給力の組合せで需要計画を作成・制御指令を出すシステムです。昨年度は夜間平滑化に特化した内容をご紹介いたしましたが、今年度は固定価格買取制度による買取期間が満了するお客様へ向けた、太陽光発電の余剰分を使用して沸き上げるための自動制御機能（特許出願中）を追加しました。本展示会では、デモプログラムにて太陽光発電余剰吸収機能の運用イメージをご紹介します。

商標について

- 記載されている製品名などの固有名詞は、各社の商標または登録商標です。

本件に関するお問い合わせ

お電話でのお問い合わせ



092-852-3065

受付時間 9時～17時（土曜・日曜・祝日・当社指定の休業日を除く）

メールでのお問い合わせ

当社へのお問い合わせ



入力フォーム

当社はセキュリティ保護の観点からSSL技術を使用しております

プレスリリースに記載された製品の価格、仕様、サービス内容などは、発表日現在のものです。その後予告なしに変更されることがあります。あらかじめご了承ください。

[コンテンツ利用条件](#)

[個人情報保護ポリシーについて](#)

[商標について](#)

[お問い合わせ](#)

[富士通ホームへ](#)